

第7期美幌町障がい福祉計画及び 第3期美幌町障がい児福祉計画

令和6年度(2024年度)～令和8年度(2026年度)



美 幌 町

は　じ　め　に

平成１９年３月に「美幌町障がい者計画」を、平成２９年３月には「誰もが安心して暮らせる、人にやさしいまちへ～みんなで護りあうまちを目指して～」を基本理念として、「第２期美幌町障がい者計画」を策定しました。

また、これまで６期にわたる「美幌町障がい福祉計画」の策定、平成３０年度からは「美幌町障がい児福祉計画」もあわせて策定し、障がい福祉サービスの提供及び体制の整備に取り組んできました。この計画は、障害者総合支援法に基づき国の指針や北海道の障がい福祉計画などと整合性を保ちながら、障がいのある人が自立した日常生活を営むことができるように、必要な障がい福祉サービスや相談支援並びに地域生活支援事業などが計画的に提供されるよう数値目標やサービス量の見込み、これらを確保するための方策を定めたものです。

今後、美幌町の目指す「誰もが安心して暮らせる、人にやさしいまちへ」の実現に向けて着実に計画を推進できるよう、町民の皆さまをはじめ、各福祉団体及び関係機関の皆様と手を携えて取り組んで参りたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、この計画の策定にあたりまして、ご審議いただきました「美幌町障害者自立支援協議会」の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただきました多くの町民の皆様に深く感謝申し上げます。

令和６年３月

美幌町長　平　野　浩　司

目 次

第1章 計画の基本的事項

1	計画策定の背景	1
2	計画の位置づけと法的根拠	1
3	計画の期間	2
4	計画の策定体制	2
5	その他	2

第2章 計画推進の基本的な考え方

1	計画推進の基本方針	3
2	令和8年度の目標値について	4

第3章 障がい福祉サービスの現状と見込量及び確保策

1	訪問系サービス	7
2	日中活動系サービス	9
3	居住系サービス	13
4	相談支援	15

第4章 地域生活支援事業の現状と見込量及び確保策

1	相談支援事業	17
2	成年後見制度利用支援事業	19
3	成年後見制度法人後見支援事業	20
4	意思疎通支援事業	21
5	日常生活用具給付等事業	22
6	移動支援事業	24
7	地域活動支援センター事業	25
8	日中一時支援事業	26
9	訪問入浴サービス事業	27

第5章 障がい児支援に係る方針

1	障がい児支援の提供体制の確保に関する基本的考え方	28
2	障がい児支援のための計画的な基盤整備	28
3	障がい児通所支援事業	28

第6章 計画の推進体制

1	重点的な取り組み・課題	30
2	計画の進行管理	31

資 料

1	アンケート調査結果について	
I	障がい福祉計画に関するアンケート	33
II	子ども発達支援センター通所児童アンケート	83
2	美幌町障害者自立支援協議会委員名簿	93
3	持続可能な開発目標（SDGs）について	95

第1章 計画の基本的事項

1 計画策定の背景

本町では、町の最上位計画である「美幌町総合計画」に基づいて、障がい者福祉分野の施策の取り組みを進めています。

また、障害者基本法に基づき、障がい者の自立と社会参加を推進するための指針、取り組むべき施策の基本的方向性を示す計画として、平成29年度より令和8年度までを計画期間として「第2期美幌町障がい者計画」を策定しています。

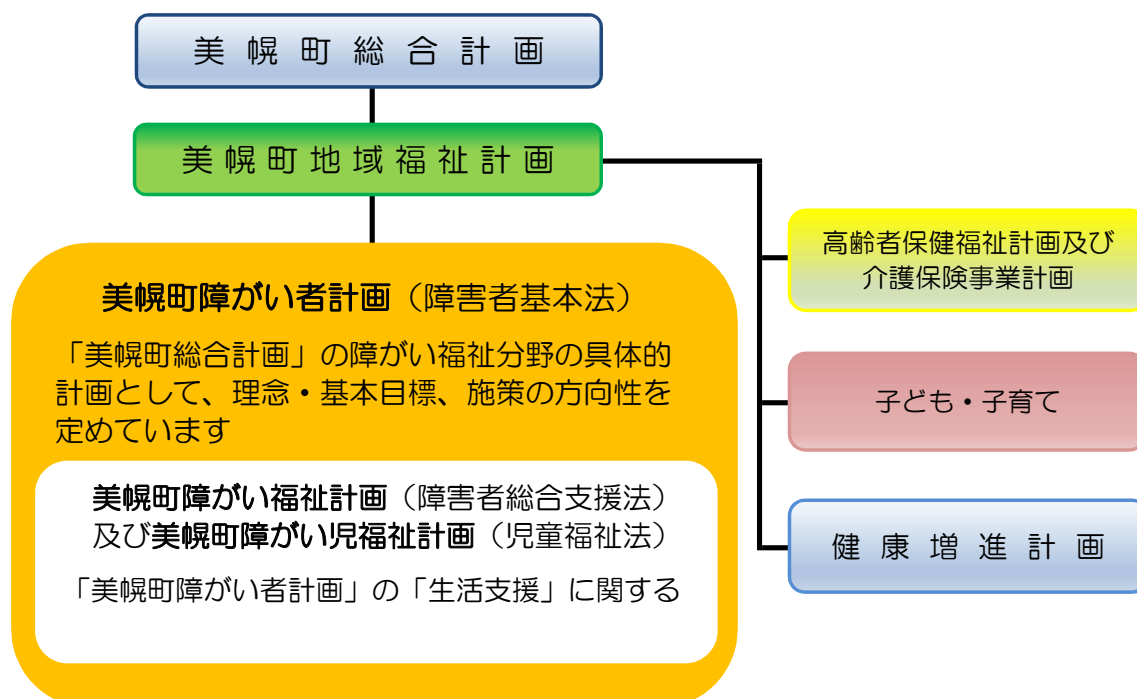
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」といいます。）において、国が定める基本指針に即して「市町村障害福祉計画」を定めるものとされており、また、児童福祉法において市町村は、国が定める基本指針に即して、「市町村障害児福祉計画」を定めるものとされています。

このことに伴い、本町では、令和3年度から令和5年度までを計画期間とした「第6期美幌町障がい福祉計画及び第2期美幌町障がい児福祉計画」を策定し、障がい福祉施策に取り組んでまいりましたが、期間満了を迎えることから、現状分析や国の基本指針を踏まえ、「第7期美幌町障がい福祉計画及び第3期美幌町障がい児福祉計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけと法的根拠

この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に規定する「市町村障害福祉計画」及び児童福祉法第33条の20第1項に規定する「市町村障害児福祉計画」として策定します。

また、障害者基本法第11条第3項に基づく「美幌町障がい者計画」の「生活支援」分野の実施計画として位置づけます。



3 計画の期間

この計画の期間は、令和6年度から令和8年度までとします。
ただし、第7期期間中に法の見直し等、計画の策定内容に大きく影響を及ぼす改正等があった場合は、必要に応じて計画の見直しを行います。

H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
美幌町総合計画														
第5期	第6期（H28～R8）											第7期（～R20）		
美幌町地域福祉計画														
第2期					第3期					（第4期）				
（H19～H28）美幌町障がい者計画														
第1期	第2期（H29～R8）											第3期（～R18）		
美幌町障がい福祉計画														
第4期			第5期			第6期			第7期			第8期		
			美幌町障がい児福祉計画											
			第1期			第2期			第3期			第4期		
北海道障がい者基本計画 第2期（H25～R5）									第1期ほっかいどう 障がい福祉プラン （R6～R11）					
					統合⇒									
北海道障がい福祉計画														
第4期			第5期			第6期								
			北海道障がい児福祉計画											
			第1期			第2期								

4 計画の策定体制

この計画は、障がい者福祉団体、障がい者福祉施設、障がい当事者、保健・医療、教育、雇用機関等により構成された「美幌町障害者自立支援協議会」において、計画内容の検討・協議を行いました。

5 その他

この計画は、障がい者福祉団体、障がい者福祉施設、障がい当事者、保健・医療、教育、雇用機関等により更生された「美幌町障害者自立支援協議会」において、計画内容の検討・協議を行いました。

第2章 計画推進の基本的な考え方

1 計画推進の基本方針

障害者総合支援法の理念である、すべての障がい者（児）等が、可能な限り身近な場所において必要な日常生活又は社会生活を営むための支援を受けられることにより社会参加の機会が確保されること、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域生活において他の人々と共生することを妨げられないこと及び障がい者（児）等にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、観念その他一切のものの除去に資することを踏まえつつ、第2期美幌町障がい者計画における基本理念「誰もが安心して暮らせる、人にやさしいまちへ～みんなで護りあうまちを目指して～」を目指す方向とします。

また、同計画の3つの基本目標

- （１）住みなれた地域で安心して生活を送るために
- （２）生き生きと生活できる環境をつくるために
- （３）地域全体で障がい者を支えるために

を達成するために、次に掲げる基本方針に沿って、施策を推進します。

障がい者（児）等の自己決定の尊重と意思決定の支援

共生社会を実現するため、障がい者（児）等の自己決定を尊重し、その意思決定の支援に配慮するとともに、障がい者（児）等が、必要とする障がい福祉サービスその他の支援を受けつつ、その自立と社会参加の実現を図っていくことを基本として、障がい福祉サービス及び相談支援並びに地域生活支援事業の提供体制の整備を進めます。

障がい種別によらない一元的な障がい福祉サービスの実施等

障がい福祉サービスの対象となる障がい者（児）等の範囲を身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者（発達障がい者及び高次脳機能障がい者を含む。）、難病患者等並びに障がい児とし、サービスの充実を図ります。

また、特に発達障がい者、高次脳機能障がい者、難病患者等について障がい福祉サービスの対象となることが充分に知られていないことから、障がい福祉サービスについて広く周知を図ります。

入所等から地域生活への移行、地域生活継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備

障がい者（児）等の自立支援の観点から、入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援といった課題に対応したサービスの提供体制を整え、障がい者（児）等の生活を支える地域包括ケアシステムを実現するため、地域生活支援の拠点づくりやインフォーマルサービス（法律や制度に基づかない形で提供されるサービスをいう。）の提供など、地域社会資源を最大限に活用し、サービス提供体制の整備に努めます。

2 令和8年度の目標値について

国の指針に基づき、令和8年度を目標年度として、次の項目について目標値を設定します。

(1) 福祉施設入所者の地域生活への移行

現施設入所者は常時介護が必要な重度の障がいを持つ方が多く、地域移行の実現が厳しい見通しですが、関係機関と連携して地域移行に向けた支援に努めます。

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
施設入所者数	42 人	令和4年度末の施設入所者数
令和8年度の 地域生活への移行者数 【目標値】	2 人	令和4年度末の入所者数の6%以上
減少見込数	1 人	令和8年度末の施設入所者数について、 令和4年度末の施設入所者から5%以上の 減少を目指します。

(2) 福祉施設から一般就労への移行

① 一般就労移行者数

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
令和4年度の 一般就労移行者数	0 人	令和4年度において一般就労 した人の数 $②+③+④=①$
令和8年度の 一般就労移行者数 【目標値】	3 人	令和4年度において一般就労 した人の数の1.28倍以上 $②+③+④=①$

② 就労移行支援事業所の一般就労への移行

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
令和4年度の 一般就労移行者数	0 人	①のうち、令和4年度において 就労移行支援事業所から 一般就労へ移行した人の数
令和8年度の 一般就労移行者数 【目標値】	1 人	令和4年度に一般就労へ移行 した人の数の1.31倍以上 $②+③+④=①$

③ 就労継続支援A型事業所の一般就労への移行

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
令和4年度の 一般就労移行者数	0 人	①のうち、令和4年度において 就労継続支援A型事業所から 一般就労へ移行した人の数
令和8年度の 一般就労移行者数 【目標値】	1 人	令和4年度に一般就労へ移行 した人の数の1.29倍以上

④ 就労継続支援B型事業所の一般就労への移行

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
令和4年度の 一般就労移行者数	0 人	①のうち、令和4年度において 就労継続支援B型事業所から 一般就労へ移行した人の数
令和8年度の 一般就労移行者数 【目標値】	1 人	令和4年度に一般就労へ移行 した人の数の1.28倍以上

⑤ 一般就労移行者のうち就労定着支援事業の利用者数

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
令和8年度の 年間一般就労移行者数 【目標値】	3 人	令和8年度に一般就労する 人の数（①の目標値）
令和8年度の就労移行 支援を通じて一般就労 に移行する人の就労定 着支援事業の利用者 【目標値】	2 人	令和8年度における就労移行 支援事業などを通じて一般就労 に移行する人のうち、7割が就 労定着支援事業を利用すること

(3) 地域生活支援拠点等有する機能の充実

本町では、定住自立圏構想に基づく区域の1市4町（北見市、津別町、置戸町、訓子府町、美幌町）の圏域で令和3年度から地域生活支援拠点等を設置しております。

引き続き圏域内で連携しながら、機能強化等の体制充実に努めます。

項 目	数 値	備 考（国の指針等）
地域生活支援拠点等	1 箇所	各市町村又は各圏域に1つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、その機能の充実のため年1回以上運用状況を検証・検討することを基本とします。
運用状況の検証・検討【目標値】	年1回以上	

※「地域生活支援拠点」とは？

障がい者（児）の重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた地域の支援体制の整備を図るもので、その機能について、①相談（地域移行、親からの自立等）、②緊急時の受け入れ（短期入所の利便性・対応力向上等）、③体験の機会・場（一人暮らし、グループホーム等）、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりを地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者（児）の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することです。

(4) 障がい児支援の提供体制の整備等

障がい児においては、保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図ったうえで、切れ目のない一貫した支援を提供する体制を構築し、障がいの疑いがある段階から身近な場所で支援することが重要です。

そのため、美幌町子ども・子育て支援事業計画との整合性を図りながら、地域における支援体制の構築等について目標を定めます。

① 児童発達支援センターの設置

本町では美幌町子ども発達支援センターとして設置済みであり、今後も早期の療育支援を進めるため関係機関と連携しながら体制の充実に努めます。

(5) 相談支援体制の充実・強化等

国の指針による考え方では、相談支援体制の充実・強化を推進するため、令和8年度末までに障がいの種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援に取り組むとともに、地域の相談支援事業者に対する訪問などによる専門的な指導・助言、人材育成に係る支援の実施、連携強化に取り組むこととしています。

これらを実施するにあたり、美幌町地域包括支援センターや基幹相談支援センターと連携し、様々な障がいの種別やニーズに対応できる相談支援に取り組むとともに、地域の相談支援事業者と連携関係を強化し、相談支援体制の充実に努めます。

第3章 障がい福祉サービスの現状と見込量及び確保策

1 訪問系サービス

訪問系サービスは、主に在宅で訪問を受けて利用するサービスです。

(1) 現状と課題

訪問系サービスの利用については、障害支援区分にかかわらず、障がいのある方の個々の状況に応じた支給決定を行っているため、年度ごとに時間数、利用者数共に増減が生じています。

アンケート調査結果では、多くの方が今後も自宅で過ごすことを希望されており、サービスの周知と充実が求められています。

(2) 各サービスの内容・実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績を勘案するとともに、アンケート調査の回答等を考慮して見込みます。

① 居宅介護（ホームヘルプサービス）

居宅での入浴、排せつ、食事などの身体介護や洗濯、掃除などの家事援助を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	19	22	23	23	23	24
利用時間（時間／月）	349	422	400	400	400	420

※令和5年度は、実績見込値。

② 重度訪問介護

重度の肢体不自由者や重度の知的・精神障がい者で常時介護を必要とする方（区分4以上）に、入浴・排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事並びに生活等に関する相談及び助言その他生活全般にわたる援助並びに移動中の介護などを総合的に行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	4	3	4	4	4	5
利用時間（時間／月）	559	570	570	570	570	600

※令和5年度は、実績見込値。

③ 行動援護

知的障がいまたは精神障がいのために行動上著しい困難があり、常時介護を必要とする方の行動の際の危険回避や外出時の移動の介護を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実 人 数（人／月）	1	1	1	1	2	2
利用時間（時間／月）	11	6	10	12	24	24

※令和5年度は、実績見込値。

④ 同行援護

視覚障がいがあるために移動に著しい困難がある方に、移動に必要な情報の提供や移動の援護等の外出支援を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実 人 数（人／月）	0	0	0	1	1	1
利用時間（時間／月）	0	0	0	1	1	1

※令和5年度は、実績見込値。

⑤ 重度障害者等包括支援

常時介護が必要でその必要性が著しく高い方（区分6以上）に、居宅介護等複数のサービスを包括的に提供します。

このサービスを提供できる事業所がないことから利用実績はありませんが、今後の利用を想定して見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実 人 数（人／月）	0	0	0	0	0	1
利用時間（時間／月）	0	0	0	0	0	10

※令和5年度は、実績見込値。

（３）サービス見込量の確保策

- ① 訪問系サービスを担うヘルパーの不足を補うため、養成講座受講費用の一部助成などにより養成・確保を図ります。
- ② 重度障害者等包括支援は、令和5年度現在、サービス提供事業者が町内にないため、サービス内容や対象などについての十分な情報を提供するとともに、利用動向を的確に把握しながら、実施事業者の確保に努めます。
- ③ サービスを必要とする障がい者に各サービスの種類や内容などを十分に伝えるため、広報やホームページ、パンフレットなどにより各サービスの情報提供を行い、適切なサービスを提供できるように努めます。

2 日中活動系サービス

日中活動系サービスは、通所施設で日中の活動を支援するサービスです。

(1) 現状と課題

日中活動系サービスの利用については、時間数、利用者数ともに増加傾向で推移しています。

しかし、その反面、サービスを知らなかった人の割合も多く、制度の周知と共にサービス提供事業所の確保が課題となっています。

(2) 各サービスの内容・実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績を勘案するとともに、アンケート調査の回答等を考慮して見込みます。

① 生活介護

常に介護を必要とする障がい者の方に、昼間、障がい者支援施設等において、入浴、排せつ、食事などの介護を行うとともに、創作活動または生産活動の機会を提供します。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	73	70	73	73	74	75
利用量（人日／月）	1,449	1,375	1,500	1,500	1,520	1,540

※令和5年度は、実績見込値。

② 自立訓練（機能訓練）

身体障がい者に対して自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のための訓練を行います。

令和3年度～令和5年度までの利用実績はありませんが、今後の利用を想定して見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	0	0	0	0	0	1
利用量（人日／月）	0	0	0	0	0	22

※令和5年度は、実績見込値。

③ 自立訓練（生活訓練）

知的障がい者または精神障がい者に対して、自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、日常生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	0	1	1	1	1	1
利用量（人日／月）	0	22	22	22	22	22

※令和5年度は、実績見込値。

④ 宿泊型自立訓練

知的障がい者または精神障がい者に対して、夜間の居住の場を提供し、自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、日常生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	0	0	0	1	1	1
利用量（人日／月）	0	0	0	30	30	30

※令和5年度は、実績見込値。

⑤ 就労移行支援

一般企業等への就労を希望する障がい者に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	2	2	2	2	3	3
利用量（人日／月）	37	36	40	44	66	66

※令和5年度は、実績見込値。

⑥ 就労定着支援

生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を利用して一般就労した障がい者が対象となります。

一般就労に移行したのちの3年間、就労に伴う生活面の課題について、就労の継続を図るために企業・自宅等への訪問や、障がい者の来所により必要な連絡調整や指導・助言等のサービスを提供します。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	0	0	0	1	1	2

※令和5年度は、実績見込値。

⑦ 就労継続支援（A型）

一般企業等での就労が困難な障がい者に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。事業所内において雇用契約に基づいて就労の機会を提供します。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	19	21	22	22	24	26
利用量（人日／月）	280	373	400	400	420	440

※令和5年度は、実績見込値。

⑧ 就労継続支援（B型）

一般企業等での就労が困難な障がい者や一定の年齢に達している障がい者に、雇用契約は結ばずに、一定の賃金水準のもとで働く場や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上、維持を図るサービスです。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	85	91	92	92	94	94
利用量（人日／月）	1,364	1,405	1,500	1,600	1,700	1,700

※令和5年度は、実績見込値。

⑨ 療養介護

医療と常時介護を必要とする障がい者に、主に昼間において病院等で機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護及び日常生活上の援助を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	10	9	9	10	11	11

※令和5年度は、実績見込値。

⑩ 短期入所（福祉型）

介護者が病気の場合などに、短期間、夜間も含めて、障がい者支援施設等で障がい者を預かり、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	4	6	6	10	10	10
利用量（人日／月）	18	22	23	24	24	24

※令和5年度は、実績見込値。

⑪ 短期入所（医療型）

介護者が病気の場合などに、短期間、夜間も含めて、障がい者支援施設等で医療的ケアが必要な障がい者を預かり、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人数（人／月）	2	3	4	8	8	8
利用量（人日／月）	9	10	12	20	20	20

※令和5年度は、実績見込値。

（３）サービス見込量の確保策

- ① 町内には、自立訓練（機能訓練・生活訓練・宿泊型）を行う事業所はありませんが、地域生活支援拠点等の活用や本町が属する障がい保健福祉圏域「北網圏域」の他市町村と連携・調整を図るとともに、事業者の積極的な参入を図るための環境づくりや関係機関、事業所との連携強化に努めます。

- ② 町内の就労支援では、NPO法人美幌えくぼ福祉会の美幌地域就労支援センターと、社会福祉法人北海道療育園のワークセンターぴぼろが就労継続支援B型及び就労移行支援を実施しています。ワークセンターぴぼろ新町あすなろは、就労継続支援B型を実施しています。
また、NPO法人マイスペース美幌が就労継続支援A型と就労継続支援B型を実施しています。

障がい者の就労を積極的に進めるには、就労の場が必要であるため、事業所や労働関係機関と連携をとりながら、町内企業に障がいに対する理解と認識を持ってもらい、障がい者の受け入れについて協力していただけるよう、働きかけていきます。

- ③ 短期入所については、町内の医療型では北海道療育園美幌療育病院での利用が可能です。
また、福祉型についても平成29年より北海道療育園のグループホームにおいて利用が可能となりました。今後も利用者が身近な地域でサービスを利用できるよう、利用動向を十分に把握しながら、事業者と連携して、サービス提供体制の確保に努めます。

- ④ 利用者が必要としたときに適切なサービスを受けられるよう、情報提供に努めます。
また、地域生活支援拠点等を活用し、緊急時における短期入所、医療的ケアが必要な人や行動障がいがある人の短期入所の利用の円滑化を図ります。

3 居住系サービス

居住系サービスは、入所施設等で住まいの場を提供するサービスです。

(1) 現状と課題

居住系サービスの利用については、共同生活援助（グループホーム）の利用実績が増加傾向にあります。

市内のグループホームは、NPO法人美幌えくぼ福祉会のコミュニティハウスあかり（4戸）と、社会福祉法人北海道療育園のソング・スマイル（各5戸）の計3ヶ所14戸（男性9戸・女性5戸）です。

しかし、利用を希望される方に対して十分な戸数が確保されているとはいえ、今後も計画的な整備について国・北海道の動向を踏まえながら検討する必要があります。

また、施設入所支援（障がい者支援施設）の利用者は、毎年減少をしています。

今後も国及び北海道の方針に沿って地域生活への移行を進めていきます。

(2) 各サービスの内容・実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績を勘案するとともに、アンケート調査の回答等を考慮して見込みます。

① 共同生活援助

地域で共同生活を希望する障がい者が対象となります。主として夜間において共同生活を営む住居で、相談や日常生活上の援助を行います。

入浴、排せつ、食事の介護が必要な方に対しては、職員又は委託契約先の居宅介護事業所がサービスを提供します。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利 用 量（人／月）	65	65	67	67	67	68

※令和5年度は、実績見込値。

② 施設入所支援

施設に入所している障がい者に、日中活動とあわせて主に夜間に施設において入浴、排せつ、食事の介護等を提供します。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利 用 量（人／月）	43	42	42	42	42	41

※令和5年度は、実績見込値。

(3) サービス見込量の確保策

- ① 町内のグループホームを増やすため、空き家の活用や民間活力の導入など様々な手段を検討し、事業者の積極的な参入を図るための環境づくりに努め、資源の提供等による支援を行います。
また、町内には入所施設がないため、地域生活支援拠点等の活用や美幌町が属する障がい保健福祉圏域「北網圏域」の他市町村と連携・調整を図るとともに、関係機関、事業所との連携強化に努めます。
- ② 精神科病院や入所施設との連携を図るとともに、障害福祉サービスの利用等により、病院・施設からグループホーム等地域生活への移行を促します。
- ③ グループホームなど施設で障がい者を支援する人材の確保に努めるとともに利用者に情報提供を行っていきます。

4 相談支援

相談支援は、生活全般の相談、情報提供、サービス等利用計画の作成、サービス事業者との連絡調整、モニタリングなどを行うものです。

(1) 現状と課題

本町では、利用者に適したサービスを提供するため、計画相談による計画作成を進めていますが、就労継続支援や障がい児通所支援サービスを利用されている方でセルフプランによる計画作成の割合が高く、今後も相談支援にかかる情報提供と相談支援事業所との連携が重要です。

(2) 各サービスの内容・実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績を勘案するとともに、アンケート調査の回答等を考慮して見込みます。

① 計画相談支援

障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するため、障がい福祉サービスの支給決定前にサービス等利用計画を作成し、支給決定の基礎資料とします。

また、支給決定時のサービス等利用計画に基づき、一定期間ごとにモニタリングを行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用件数（人／月）	185	192	190	190	190	190

※令和5年度は、実績見込値。

② 障がい児相談支援

障がい児の自立した生活を支え、障がい児の抱える課題や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するため、障がい児通所支援サービスの支給決定前に障がい児支援利用計画を作成し、支給決定の基礎資料とします。

また、支給決定時の障がい児支援利用計画に基づき、一定期間ごとにモニタリングを行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用件数（人／月）	25	28	30	32	34	36

※令和5年度は、実績見込値。

③ 地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）

地域移行支援は、障がい者支援施設または児童福祉施設に入所している障がい者や、精神科病院に入院している精神障がい者、保護施設、矯正施設等を退所する障がい者の地域生活移行に向けた支援をするため、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談や同行支援を行います。

地域定着支援は、地域移行支援等により、居宅で一人暮らしに移行した障がい者や地域生活が不安定な障がい者の緊急の事態等に相談や訪問等による支援を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
地域移行支援（人）	0	0	0	1	1	1
地域定着支援（人）	0	0	0	1	1	1

※令和5年度は、実績見込値。

（３）サービス見込量の確保策

- ① 現在、町内において計画相談支援及び障がい児相談支援を行うための指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者は2ヶ所ありますが、さらなる相談支援体制充実・確保のために、町においても相談支援専門員の人材育成に努めます。
- ② 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）については、指定一般相談支援事業者が行うこととなりますが、利用者の需要に応じて提供できるように、情報の提供に努めます。

第4章 地域生活支援事業の現状と見込量及び確保策

1 相談支援事業

障がい者（児）等やその家族等からの相談に応じ、必要な情報提供やサービスの利用援助、権利擁護のための必要な援助を行います。

（１）現状と課題

相談支援事業は、平成18年10月より美幌町地域包括支援センターへ業務委託し、効率的かつ効果的な相談支援に取り組んでいます。

また、令和2年度から定住自立圏構想に基づく区域の1市4町（北見市、津別町、置戸町、訓子府町、美幌町）の圏域で地域生活支援拠点等の事業を取り組み、令和3年度には、総合的な相談支援、困難事例などの相談支援を適正かつ円滑に実施するため基幹相談支援センターが設置されるなど、相談支援機能の体制強化に取り組んでいきます。

（２）各サービスの内容・実績・計画値

① 相談支援事業

障がいのある人や保護者または介護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障がい福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止、権利擁護のための必要な支援を行います。

また、地域における障がい者（児）を支えるネットワーク構築のため、美幌町障害者自立支援協議会により、相談支援事業の円滑な実施のほか、地域の関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進します。

障がい者相談支援事業の令和8年度までの計画の見込み量は、美幌町地域包括支援センターと基幹相談支援センター「ささえーる」を見込んでいます。

② 相談支援事業機能強化事業

相談支援の適切かつ円滑な実施のため、専門職員を配置して、相談支援機能の強化を図ります。

平成18年10月から美幌町地域包括支援センターで事業を実施しており、障がい者相談支援専門員を3名配置しています。

また、令和3年度に基幹相談支援センターが設置されたことから、地域における相談支援事業者に対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた取り組みを実施することにより、相談支援機能の強化が図られることを見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
相談支援事業	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
基幹相談支援センター	有	有	有	有	有	有
機能強化事業の実施の有無	有	有	有	有	有	有

(3) サービス見込量の確保策

- ① 美幌町地域包括支援センターや基幹相談センターと連携し、町内事業所との連携を深めていきます。
今後も、総合的な相談支援、困難事例などの相談支援を適正かつ円滑に実施するため、関係機関と連携を取りながら、相談支援事業の認知度を高めるため町民への情報提供に努め、気軽に利用できるような相談窓口を維持し、ニーズに合った適切なサービス提供に努めます。
- ② 美幌町地域包括支援センターや基幹相談支援センターにおいて、保健・医療・福祉の各サービスを組み合わせて最適なサービスを提供できるケアマネジメント体制の充実に努めます。
- ③ 美幌町障害者自立支援協議会が中心となり、地域の相談支援体制や事業所間のネットワーク構築し、相談支援事業の強化に努めます。
- ④ 美幌町障害者自立支援協議会の部会として位置づけられている障がい福祉懇話会において、個別事例などテーマを設け協議会委員や関係事業者、行政職員等が意見交換等を行うことにより協議会が行うネットワーク構築、相談支援事業の強化を補完します。

2 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められる知的障がい又は精神障がいのある方に対し、成年後見制度の利用を支援するため、成年後見制度の申し立てに要する経費及び後見人等への報酬を助成します。

(1) 現状と課題

支援の具体的内容が、家庭裁判所に対して行う申し立てや、町長申立に要する費用の負担、家庭裁判所が決定した後見人報酬額の助成であるので、その対象者も「後見人等の報酬等必要となる経費の一部について、助成を受けなければ成年後見制度の利用が困難であると認められる方」とされています。

(2) サービスの実績・計画値

平成26年度に2人の利用があって以降、事業の利用はありませんでしたが、事業の必要性は増加するものと思われます。令和8年度までの計画の見込量は、毎年度1名の利用を見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利 用 量 (人/月)	0	0	0	1	1	1

※令和5年度は、実績見込値。

(3) サービス見込量の確保策

知的障がい者または精神障がい者が成年後見制度を円滑に利用することができるよう、美幌町成年後見センターとの連携を深めます。

また、今後も申し立てに要する経費及び後見人等への報酬の助成をするための費用を予算化していくとともに、サービス内容や対象などについての十分な情報提供に努めていきます。

3 成年後見制度法人後見支援事業

成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保する体制を整備するとともに、市民後見人の活用を含めた法人後見の活動を支援し、制度の普及啓発を行うことで、障がい者の権利擁護を図ります。

(1) 現状と課題

平成27年度に美幌町社会福祉協議会が運営主体となって「美幌町成年後見支援センター」を設立し、法人後見業務の実施、市民後見人の育成及び活動支援、成年後見制度の普及啓発を行っています。

(2) サービスの実績・計画値

法人後見の実績はありませんが、今後需要が見込まれるため、令和8年度までの計画の見込量は、毎年度1名の利用を見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利 用 量 (人/月)	0	0	0	1	1	1

※令和5年度は、実績見込値。

(3) サービス見込量の確保策

知的障がい者または精神障がい者が成年後見制度を円滑に利用することができるよう、美幌町成年後見支援センターとの連携を深め、成年後見制度普及啓発事業を活用し、制度の理解及び利用促進のための普及啓発事業を行っていくことにより障がい者の権利擁護が図られるように努めていきます。

4 意思疎通支援事業

聴覚、音声・言語機能の障がいのために意思疎通を図ることに支障がある障がい者（児）等の意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者の派遣を行います。

（１）現状と課題

事業を利用している聴覚障がい者等は、１～２名です。

意思疎通支援事業は市町村事業のため事業内容は自治体によって異なりますが、本町の場合は北海道の広域派遣事業を実施しており、町内外問わずに対応しております。

また、令和２年度からは北海道ろうあ連盟と契約し、タブレットを使用した遠隔手話サービス事業も実施しております。

今後も北海道ろうあ連盟と協力して本事業の活用に努めていきます。

（２）サービスの実績・計画値

令和８年度までの計画の見込量は、令和３年度から令和５年度までの利用実績に基づき利用量を見込みます。

年 度	第６期計画実績値			第７期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利 用 量（人／月）	1	1	1	1	1	1

※令和５年度は、実績見込値。

（３）サービス見込量の確保策

- ① 業務委託契約を結んでいる北海道ろうあ連盟と連携を密にし、利用意向に対応できる体制を強化します。
- ② 点字・朗読ボランティア、手話・要約筆記ボランティアの確保に努め、意思疎通を図ることが困難な障がい者（児）等の要望があった場合には、迅速に対応できるように体制整備に努めます。

5 日常生活用具給付等事業

障がいのある方の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の購入費用の一部を助成します。

(1) 現状と課題

多様な品目を扱っており、用具の規格や価格については、過去に国が定めたものに基本的に準拠していますが、障がいのある方の真のニーズには足りないという指摘もあるため、利用者の生活向上に資する事業となるようニーズの把握に努め、事業の充実を図ります。

(2) 各サービスの実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった内容も参考に見込みます。

① 介護・訓練支援用具

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	3	3	4	4	4	4

※令和5年度は、実績見込値。

② 自立生活支援用具

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	4	5	6	11	11	11

※令和5年度は、実績見込値。

③ 在宅療養等支援用具

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	2	1	3	5	5	5

※令和5年度は、実績見込値。

④ 情報・意思疎通支援用具

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	2	0	1	2	2	2

※令和5年度は、実績見込値。

⑤ 排せつ管理支援用具

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	683	691	720	720	720	720

※令和5年度は、実績見込値。

⑥ 居宅生活動作補助（住宅改修費）

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
給付件数（人／年）	0	2	1	2	2	2

※令和5年度は、実績見込値。

（3）サービス見込量の確保策

障がいのある方が日常生活をより円滑に行うことができるよう、日常生活用具の購入を必要とする人に対して、費用の一部を助成しています。

今後も、サービス内容や対象品目などについて、十分な情報収集及び提供に努めます。

6 移動支援事業

屋外での移動や外出が困難な障がい者（児）等に対して、社会生活上必要不可欠な外出や社会参加のための移動を支援します。（通院介護や行動援護などの自立支援給付の対象とならないケースを対象とします）

（１）現状と課題

対象となる外出は「社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出」となっており、「通学・通勤・通所」といった恒常的な利用となるものは対象としていません。

利用者のニーズや事業者の実態把握に努め、事業内容については利用者の状況に応じた実施ができるよう検討していきます。

（２）サービスの実績・計画値

令和８年度までの計画の見込量は、令和３年度～令和５年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった内容も参考に見込みます。

年 度	第６期計画実績値			第７期計画計画値		
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
利用箇所数（ヶ所／月）	14	15	15	15	15	15
利用人数（人／月）	35	36	40	45	45	45
利用時間（時間／月）	235	217	230	230	250	250

※令和５年度は、実績見込値。

（３）サービス見込量の確保策

現在、町内外合わせ１５事業所の利用が可能となっています。

今後も利用者動向を十分に把握し、事業者と連携を図りサービスの内容等について十分な情報提供に努めます。

7 地域活動支援センター事業

障がいのある方の創作的な活動や生産活動、社会との交流促進など多様な活動の場を提供します。

(1) 現状と課題

町内では、NPO法人美幌えくぼ福祉会運営の「美幌町地域活動支援センターよりみち」1ヶ所となっています。

障がいのある方のニーズも増加しており、地域活動支援センター事業の役割は重要となってきています。

(2) サービスの実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった内容も参考に見込みます。

① 美幌町内事業所分

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用箇所数（ヶ所／月）	1	1	1	1	1	1
利用人数（人／月）	16	16	18	20	20	20

② 美幌町外事業所分

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用箇所数（ヶ所／月）	1	2	2	2	2	2
利用人数（人／月）	1	2	2	2	2	2

(3) サービス見込量の確保策

町内ではNPO法人美幌えくぼ福祉会の「美幌町地域活動支援センターよりみち」が利用可能です。

今後も事業者の活動、施設機能の充実を図るための支援を継続して行きます。

8 日中一時支援事業

介護家族等の負担軽減を図るため、障がい者（児）等を日中において一時預かりし、見守るとともに、社会適応訓練等を実施することにより、障がい者（児）等の日中活動の場を提供します。

（１）現状と課題

町内における事業所は、NPO法人マイスペース美幌の1ヶ所となっており、町外の事業所に依存している状況です。

利用者のニーズや事業者の実態把握に努め、必要な方へのサービス提供維持に努めます。

（２）サービスの実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった内容も参考に見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用人数（人／月）	440	453	460	460	480	480

（３）サービス見込量の確保策

町内では、NPO法人マイスペース美幌、町外では網走市のサンライズ・ヨピトなどで利用できます。

今後も利用者の動向を十分に把握するとともに、事業所と連携して受け入れ態勢等環境整備に努めます。

9 訪問入浴サービス事業

身体に障がいがある方の生活を支援するため、訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持や心身機能の維持を図ることを目的とするサービスです。

(1) 現状と課題

町内に実施可能な事業所はなく、町外の事業所に委託しています。
利用者のニーズや事業者の実態把握に努め、今後も利用者の状況に応じたサービスを実施できるよう支援を継続することが必要です。

(2) サービスの実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった内容も参考に見込みます。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用人数（人／月）	3	4	3	4	4	4

(3) サービス見込量の確保策

今後も利用者の動向を十分に把握するとともに、事業所と連携して受け入れ態勢等環境整備に努めます。

第5章 障がい児支援に係る方針

1 障がい児支援の提供体制の確保に関する基本的考え方

障がい児については、子ども・子育て支援法に基づき、居宅介護や短期入所等の障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障がい児支援等の専門的な支援の確保及び共生社会の形成促進の観点から、教育、保育等の関係機関とも連携を図り、障がい児及びその家族に対して、乳幼児期から学校卒業まで一貫した効果的な支援を身近な場所で提供する体制を確保するための取り組みを進めます。

2 障がい児支援のための計画的な基盤整備

(1) 子育て支援にかかる施策との連携

障がい児支援の体制整備にあたっては、子ども・子育て支援法等に基づく子育て支援施策との緊密な連携を図ります。

また、早期の支援を進めるため、母子保健施策との緊密な連携を図るとともに、各担当部局との連携体制を確保するように努めます。

(2) 教育との連携

障がい児支援が適切に行われるために、就学時及び卒業時における支援が円滑に移行されるよう、「支援ファイル」の必要性も含め、関係者の意見を聴取しながら検討を行い、学校、障がい児通所支援事業所、障がい児入所施設、障がい福祉サービスを提供する事業所等が緊密な連携を図ることができるよう町として取り組むとともに、教育委員会等との連携体制を確保するよう努めます。

(3) 特別な支援が必要な障がい児に対する支援体制の整備

重症心身障害児等の医療的ケアが必要な障がい児に対する支援の基盤整備強化を図るとともに、福祉、医療、教育等の関係機関において、共通の理解に基づき協働する総合的な支援体制の構築に努めます。

また、虐待を受けた障がい児に対しては、障がい児入所施設等において、小規模なグループによる療育や心理的ケアの提供を受けるなど、障がい児の状況に応じた、きめ細やかな支援が受けられるよう努めます。

3 障がい児通所支援事業

療育指導が必要と判断された児童を対象に、日常生活における基本的な動作を取得し、集団生活に対応できるよう、児童の身体及び精神の状況や環境に応じて適切な訓練を行います。

(1) 現状と課題

町内では、美幌町子ども発達支援センターなないろが児童発達支援、NPO法人マイスペース美幌が放課後等ディサービスを実施しています。

(2) サービスの実績・計画値

令和8年度までの計画の見込量は、令和3年度～令和5年度までの利用実績に基づき、伸び率等を勘案するとともに、アンケート調査で「今後利用したい」と回答のあった割合を加えて見込みます。

① 児童発達支援

未就学の障がいのある児童などが対象となります。日常生活における基本的動作の指導、知識や技能の付与又は集団生活への適応訓練などの支援を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実 人 数 (人/月)	50	39	42	42	44	46
利 用 量 (人日/月)	122	130	140	140	140	140

② 放課後等ディサービス

就学している障がいのある児童などが対象となります。学校の授業終了後や休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流促進などの支援を行います。

年 度	第6期計画実績値			第7期計画計画値		
	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実 人 数 (人/月)	24	25	31	32	34	36
利 用 量 (人日/月)	228	230	240	240	260	280

(3) サービス見込量の確保策

- ① 身近な地域で早い段階での支援ができるよう、事業者や関係機関と連携してサービス提供基盤の充実やサービス提供量の確保に努めます。
- ② 利用者が必要に応じたサービスを利用できるよう、広く情報提供に努めます。
- ③ 美幌町子ども発達支援センターでは、令和3年度から定期的に美幌療育病院の職員がセンターに訪問し、療育等を行う事業を予定していることから今後も更なるサービス提供基盤の充実に努めます。

第6章 計画の推進体制

1 重点的な取り組み・課題

計画の推進にあたり次の各項目について、重点的に取り組みを進めます。

(1) 相談体制の充実・強化

美幌町地域包括支援センターや基幹相談支援センターと連携し、様々なニーズに対応できる相談支援に取り組むとともに、地域の相談支援事業者と連携を強化し、相談支援体制の充実・強化を図ります。

(2) 利用者が望むサービスの提供

すべての障がい者（児）等が住み慣れた地域で自立した生活を送り、自身が望むサービスが利用できるよう、サービスの量・質を確保するとともに、ニーズを十分に把握してサービスを提供できる体制の整備・充実を図ります。そのためにも、事業者の積極的な参入を図るための環境作りに努め、関係機関との連携を図ります。

(3) 制度の周知を図る

利用者が障がいに応じ適切なサービスを選択し、利用することができるよう、各サービスについて周知を行い、制度を理解していただく必要があります。そのために、広報誌、ホームページ、パンフレットなどによりサービスの周知を図るとともに、制度改正などの情報を速やかに利用者や事業者に提供します。

(4) 就労の場の拡大、日中活動の場の確保

障がい者が自立した生活を送るため、一般就労への移行を進め、福祉的就労を含めた就労の場の拡大を進める必要があります。そのために、関係機関との連携を図り、地域全体で雇用の場の確保に努めます。

また、就労までにいかない障がい者の日中活動の場の確保に努めます。

(5) 障がい児への支援

障がい児支援が適切に行われるために、乳幼児期から学校卒業まで一貫した支援が必要です。

そのため、保育所、幼稚園、学校、美幌町子ども発達支援センター、障がい児入所施設、障がい福祉サービス事業所等が緊密な連携を図るとともに、行政においても教育委員会や関係部局との連携体制を確保します。

(6) 災害時の支援

災害時等に自力や家族の力だけでは避難できない障がい者（児）等が、地域において避難支援を受けられる体制を平時から構築することが必要です。障がいのある方々が、その障がい特性に応じ適切な支援が受けられるよう、災害時要支援者台帳の整備と避難支援者等の確保に努めます。

また、感染症等の拡大防止の観点から、行政機関や事業所等において「新しい生活様式」を実践していくために、関係機関や各担当部局との連携を図ります。

(7) 障がい者（児）等の権利擁護

平成24年に障害者虐待防止法が、平成28年には障害者差別解消法が施行されましたが、まだまだ法制度について十分に理解されているとはいえないことから引き続き周知活動等の取り組みを行います。

① 障がい者（児）等に対する虐待の防止

障がいのある人に対する虐待を未然に防止し、虐待が発生した場合においても迅速かつ適切な対応を行うため、関係機関との連携を図るとともに、障がいのある人やその支援者に対し、虐待防止等に関する啓発活動を引き続き行います。

② 障がいを理由とする差別解消の促進

障がいを理由とした様々な場面における差別に対する相談に適切に対応できるよう専門機関との連携強化を図ります。

障害者差別法において努力義務とされている事業者による合理的配慮の提供を促進するために、障がい特性に応じた合理的配慮に対する理解や提供義務についての周知を図り、日常生活及び社会生活上における様々な場面で広報・啓発活動を行います。

(8) 障がい者（児）等の社会参加等の促進

障がいのある人が自らの選択と決定により、自主的に行動し、その行動に責任を負うとともに、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に参加し、生きがいを持って生活できるような地域づくりが必要であることから、関係機関や各担当部局との連携を図り体制づくりに努めます。

① 文化芸術活動の推進

関係機関や各担当部局と連携しながら、スポーツ、文化芸術、生涯学習活動の機会の充実に努めます。

2 計画の進行管理

本計画の着実な推進のため、少なくとも年1回実績を把握し、障がい児者施策及び関連施策の動向を踏まえながら、障がい福祉計画及び障がい児福祉計画の中間評価として分析及び評価を行い、必要があると認めるときは、計画の変更、事業の見直し等の措置を講じることとします。

中間評価の際には、美幌町障害者自立支援協議会の意見を聴くとともに、その結果について公表するよう努めます。

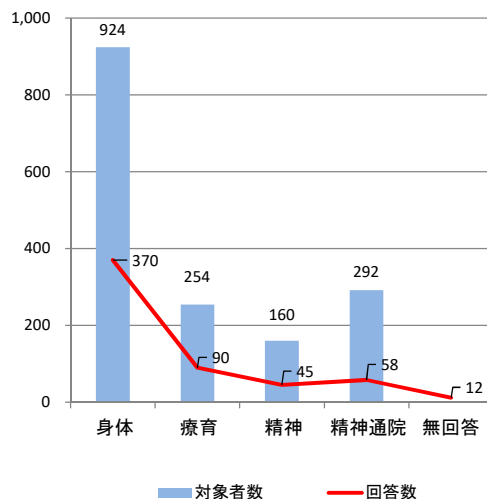
I 美幌町障がい福祉計画に関するアンケート調査結果について

- 1 アンケート実施期間 令和5年7月3日～令和5年7月31日
- 2 アンケート対象者 令和5年7月1日現在の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）受給者証を所有している方（1,425名）
- 3 アンケート回収率 36.5%（520名）

アンケート調査回収状況

区 分	対象者数	回答数	回答率
身体障害者手帳	924	370	40.0%
療育手帳	254	90	35.4%
精神障害者保健福祉手帳	160	45	28.1%
自立支援(精神通院)医療受給者証	292	58	19.9%
手帳区分無回答	—	12	—
合 計（実人数）	1,425	520	36.5%

（令和5年8月31日現在）



※手帳等所持者には、重複して所持している方がいるため、合計数と一致しない。

アンケート調査の回答率は、全体で36.5%となりました。
 手帳所持者別でみると身体障害者手帳が40.0%と高く、自立支援（精神通院）医療受給者証が19.9%と低い結果となりました。
 年齢別でみると、70代が49.1%と最っとも高く、次いで20代の40.2%、80代の39.3%となりました。
 また、20代を除く、50代以下からの回答率が低い結果となりました。

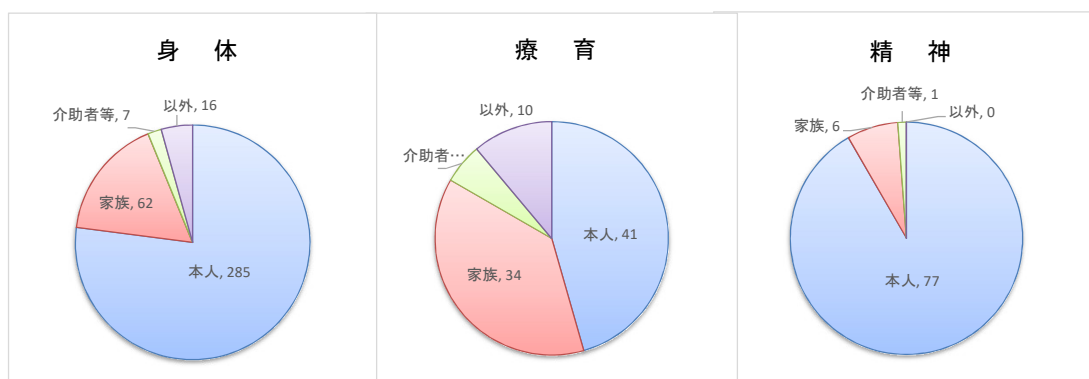
注）次ページ以降の表中、「身体」は身体障害者手帳、「療育」は療育手帳、「精神」は精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者証をそれぞれお持ちの方です。

1 あなたのことについて

問1 お答えいただくのはどなたですか？

全体の約4分の3がご本人からのご回答でしたが、知的障がいのある方では、ご本人以外のご回答が5割以上となりました。

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
本 人	285	77.0%	41	45.6%	77	91.7%	394	75.8%
家 族	62	16.8%	34	37.8%	6	7.1%	95	18.3%
介助者等	7	1.9%	5	5.6%	1	1.2%	11	2.1%
それ以外	16	4.3%	10	11.1%	0	0.0%	20	3.8%
計	370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%



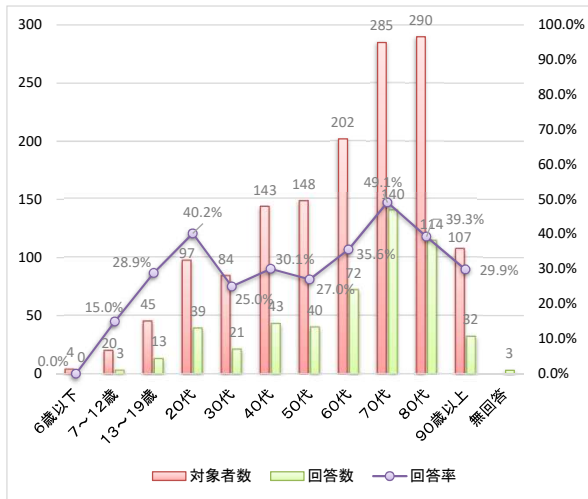
問2 あなたの年齢は？(令和5年4月1日現在)

調査対象となる年齢は、身体に障がいのある方では高齢者になるほど高い傾向があります。知的に障がいのある方は13歳から40代、精神に障がいのある方は、30代から60代までが多くなっています。また、60代から80代までが全体の6割程度を占めています。

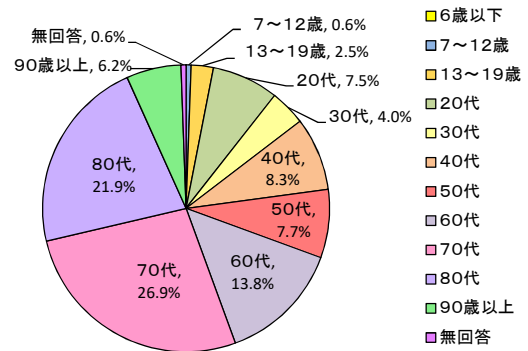
区 分	人口	対象者数	回答数	回答率	構成比
6歳以下	612	4	0	0.0%	0.0%
7～12歳	760	20	3	15.0%	0.6%
13～19歳	999	45	13	28.9%	2.5%
20代	1,339	97	39	40.2%	7.5%
30代	1,638	84	21	25.0%	4.0%
40代	2,182	143	43	30.1%	8.3%
50代	2,354	148	40	27.0%	7.7%
60代	2,691	202	72	35.6%	13.8%
70代	2,959	285	140	49.1%	26.9%
80代	1,863	290	114	39.3%	21.9%
90歳以上	533	107	32	29.9%	6.2%
無回答			3		0.6%
計	17,930	1,425	520	36.5%	100.0%



対象者数・回答数・回答率



年齢構成比



障がい別回答者数

区 分	身 体				療 育				精 神			
	対象者数	回答数	回答率	構成比	対象者数	回答数	回答率	構成比	対象者数	回答数	回答率	構成比
6歳以下	1	0	0.0%	0.0%	4	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
7～12歳	3	0	0.0%	0.0%	15	3	20.0%	3.3%	3	0	0.0%	0.0%
13～19歳	5	4	80.0%	1.1%	35	11	31.4%	12.2%	11	2	18.2%	2.4%
20代	19	11	57.9%	3.0%	67	29	43.3%	32.2%	24	5	20.8%	6.0%
30代	22	7	31.8%	1.9%	28	8	28.6%	8.9%	45	8	17.8%	9.5%
40代	43	16	37.2%	4.3%	45	14	31.1%	15.6%	70	20	28.6%	23.8%
50代	64	13	20.3%	3.5%	26	7	26.9%	7.8%	66	19	28.8%	22.6%
60代	137	58	42.3%	15.7%	17	7	41.2%	7.8%	54	14	25.9%	16.7%
70代	246	125	50.8%	33.8%	14	8	57.1%	8.9%	30	12	40.0%	14.3%
80代	277	105	37.9%	28.4%	3	3	0.0%	3.3%	10	3	30.0%	3.6%
90歳以上	107	29	27.1%	7.8%	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
無回答		2		0.5%		0		0.0%		1		1.2%
合計	924	370	40.0%	100.0%	254	90	35.4%	100.0%	313	84	26.8%	100.0%

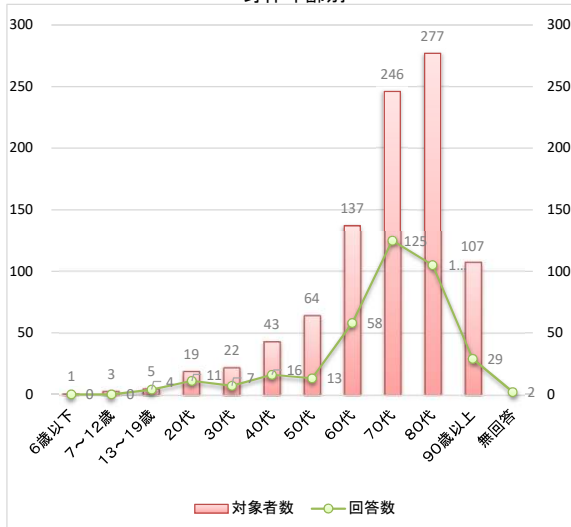
回答者数
(合計－無回答)

368

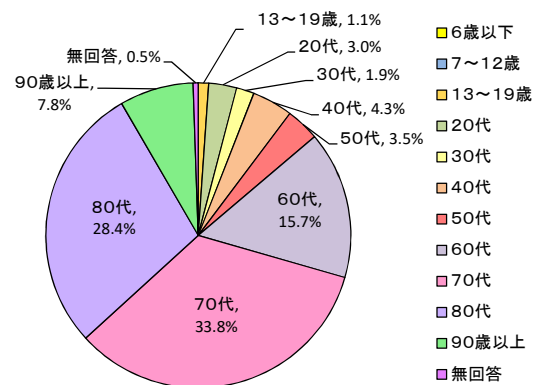
90

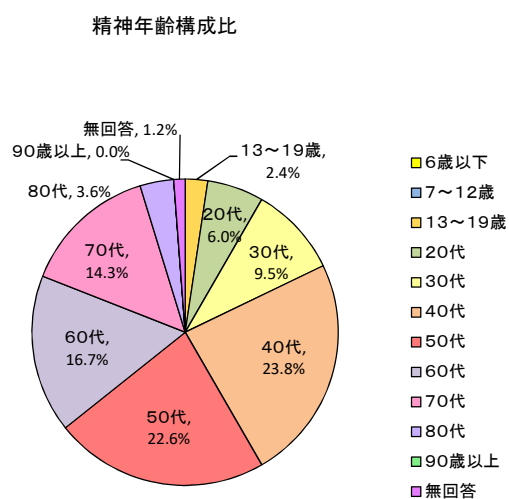
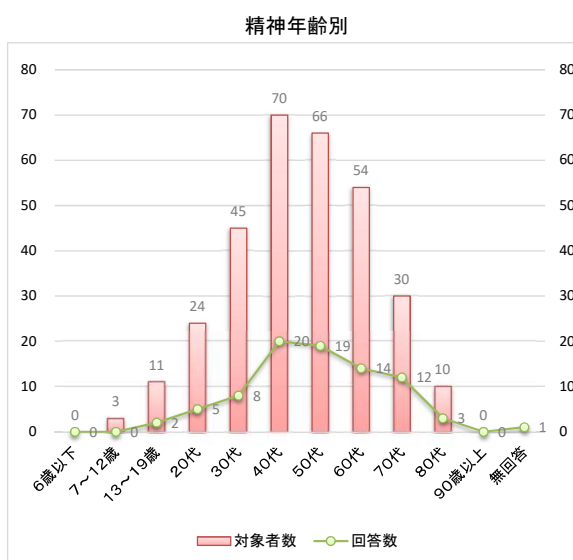
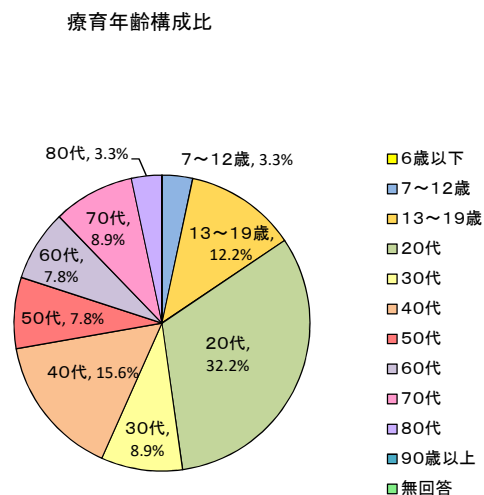
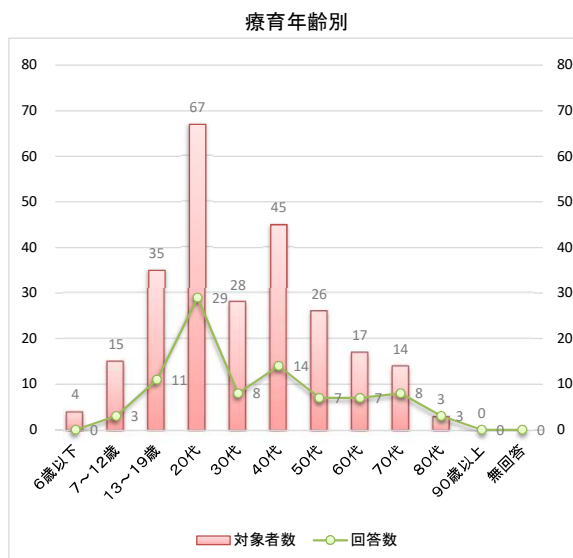
83

身体年齢別



身体年齢構成比

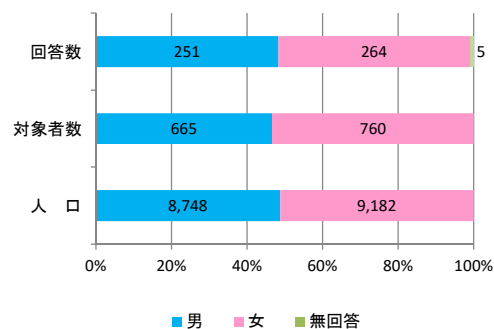




問3 あなたの性別は？

男女別の割合は、全体としては人口比と同じく女性が若干多くなっています。障がい別では、身体及び精神に障がいのある方では女性が多くなっていますが、知的に障がいのある方では男性が多くなっています。

区 分	人 口	対象者数	回答数	回答率	構成比
男	8,748	665	251	37.7%	48.3%
女	9,182	760	264	34.7%	49.2%
無回答			5		1.0%
計	17,930	1,425	520	36.5%	100.0%



区 分	身 体			療 育			精 神			無 回 答	
	対象者数	回答数	構成比	対象者数	回答数	構成比	対象者数	回答数	構成比	回答数	構成比
男	405	169	45.7%	170	54	60.0%	125	39	46.4%	7	58.3%
女	519	196	53.0%	84	36	40.0%	188	45	53.6%	5	41.7%
無回答		5	1.4%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%
計	924	370	100.0%	254	90	100.0%	313	84	100.0%	12	100.0%

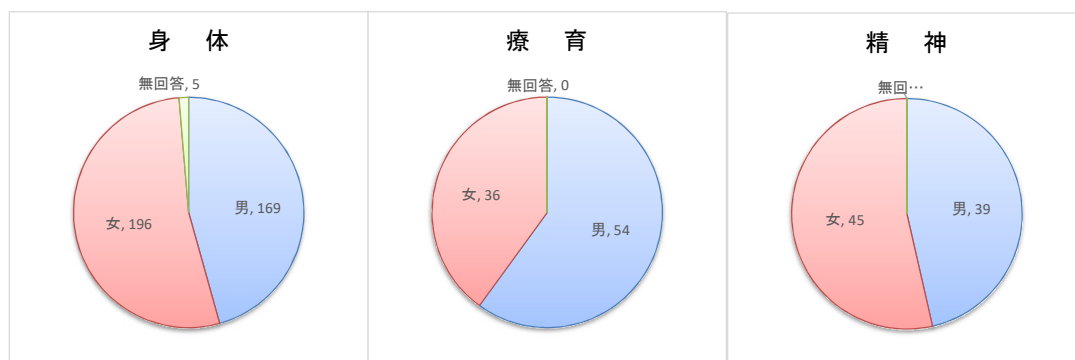
回答者数
(合計－無回答)

365

90

84

12

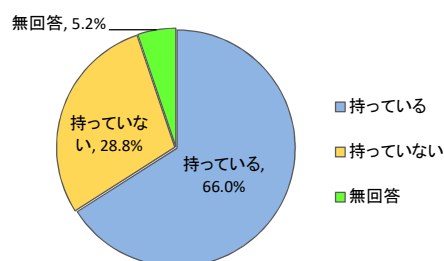


問4 あなたはどの手帳^{てちよう}などをもっていますか？

1 身体障害者手帳^{しんたいしょうがいしゃてちよう}

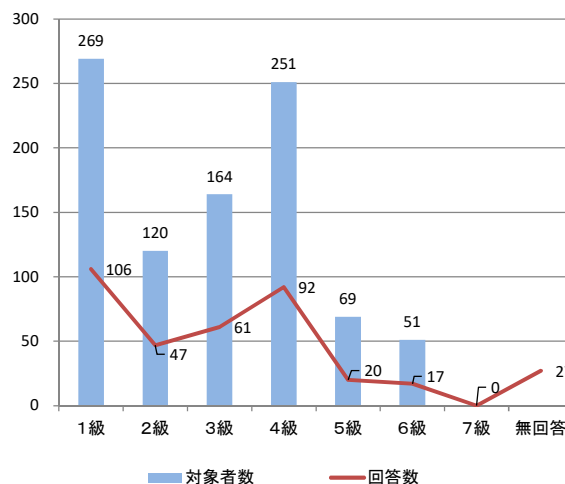
身体障害者手帳の所持者のうち、1級の方が約3割を占めています。

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
持っている	924	343	37.1%	66.0%
持っていない	501	150	29.9%	28.8%
無回答		27		5.2%
計	1,425	520	36.5%	100.0%



身体障^{しんたいしょう}がいの等級^{とうきゅう}

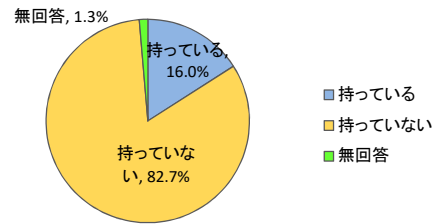
区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
1 級	269	106	39.4%	28.6%
2 級	120	47	39.2%	12.7%
3 級	164	61	37.2%	16.5%
4 級	251	92	36.7%	24.9%
5 級	69	20	29.0%	5.4%
6 級	51	17	33.3%	4.6%
7 級		0		0.0%
無回答		27		7.3%
計	924	370	40.0%	100.0%



2 療育手帳

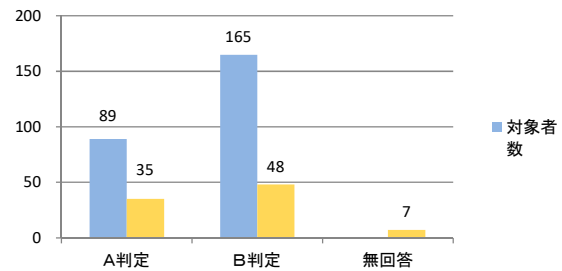
療育手帳の所持者の等級は、A判定の方が3分の1、B判定の方が3分の2となっています。また、回答率はA判定の方が約40%と高くなっています。

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
持っている	254	83	32.7%	16.0%
持っていない	1,171	430	36.7%	82.7%
無回答		7		1.3%
計	1,425	520	36.5%	100.0%



療育手帳の等級

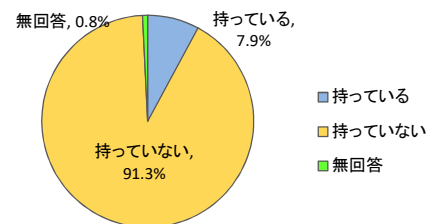
区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
A判定	89	35	39.3%	38.9%
B判定	165	48	29.1%	53.3%
無回答		7		7.8%
計	254	90	35.4%	100.0%



3 精神障害者保健福祉手帳

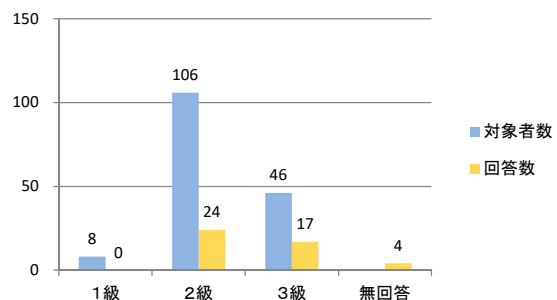
精神障害者保健福祉手帳の所持者の回答率は、2級の方が約60%と最も多くなっています。

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
持っている	160	41	25.6%	7.9%
持っていない	1,265	475	37.5%	91.3%
無回答		4		0.8%
計	1,425	520	36.5%	100.0%



精神障害者福祉手帳の等級

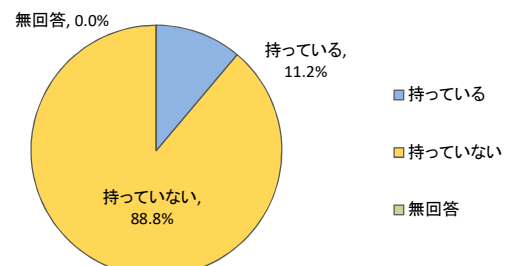
区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
1級	8	0	0.0%	0.0%
2級	106	24	22.6%	61.6%
3級	46	17	37.0%	37.8%
無回答		4		8.9%
計	160	45	28.1%	100.0%



※対象者160人中、139人が精神通院受給者証を所持。

4 自立支援医療(精神通院)受給者証

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
持っている	292	58	19.9%	11.2%
持っていない	1,133	462	40.8%	88.8%
無回答		0		0.0%
計	1,425	520	36.5%	100.0%



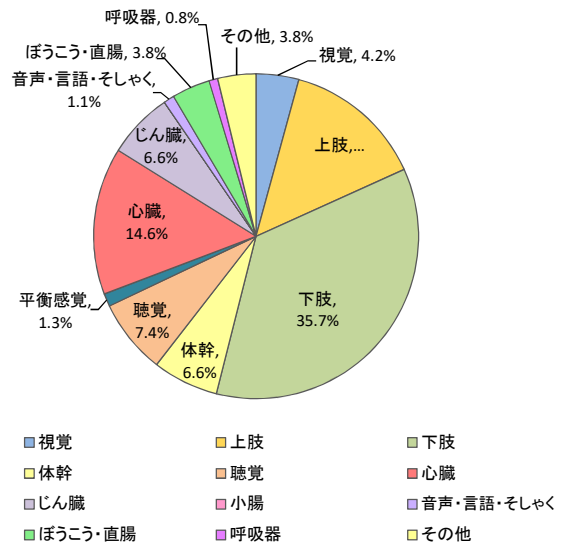
問5 身体障害者手帳の主たる障がいをお答えください。

障がい別では、肢体に障がいを持つ方（上肢・下肢・体幹）が約6割を占めています。

区 分	回答数	構成比
視覚	20	4.2%
上肢	66	14.0%
下肢	168	35.7%
体幹	31	6.6%
聴覚	35	7.4%
平衡感覚	6	1.3%
心臓	69	14.6%
じん臓	31	6.6%
小腸	0	0.0%
音声・言語・そしゃく	5	1.1%
ぼうこう・直腸	18	3.8%
呼吸器	4	0.8%
その他	18	3.8%
無回答	19	
計	490	100.0%

回答者数
(合計－無回答)

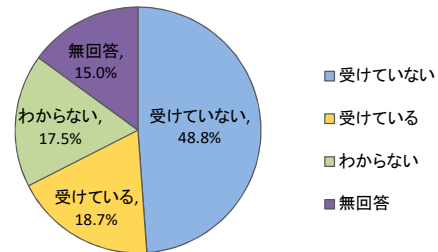
471



問6 障害支援区分の認定を受けたことがありますか？

認定を受けている方の約6割が回答しています。また、区分6の方が約3割となっています。

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
受けていない	1,255	254	20.2%	48.8%
受けている	170	97	57.1%	18.7%
わからない		91		17.5%
無回答		78		15.0%
計	1,425	520	36.5%	100.0%

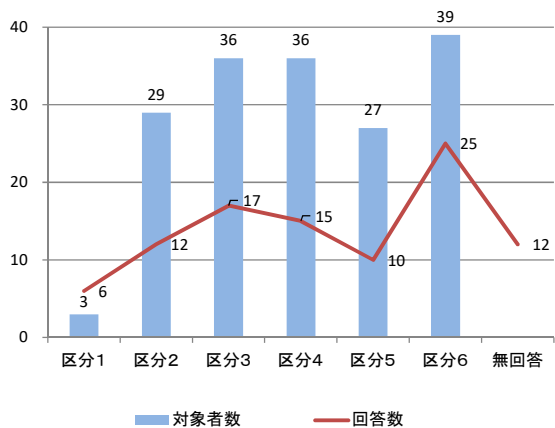


障害支援区分の認定

区 分	対象者数	回答数	回答率	構成比
区分1	3	6	200.0%	7.1%
区分2	29	12	41.4%	14.1%
区分3	36	17	47.2%	20.0%
区分4	36	15	41.7%	17.6%
区分5	27	10	37.0%	11.8%
区分6	39	25	64.1%	29.4%
無回答		12		
計	170	97	57.1%	100.0%

回答者数
(合計－無回答)

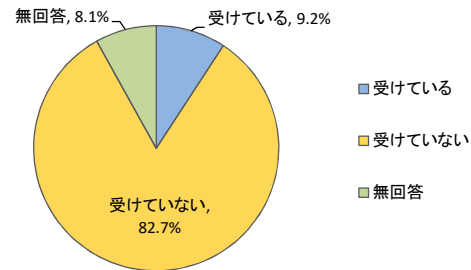
85



問7 難病(特定疾患)の認定を受けていますか？

回答者全体の9.2%の方が難病(特定疾患)の認定を受けていると回答しています。

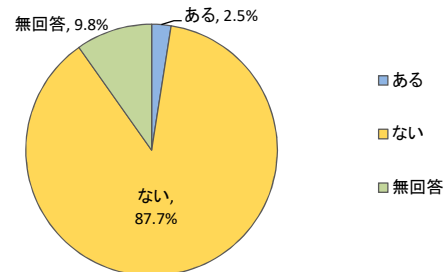
区 分	回答数	構成比
受けている	48	9.2%
受けていない	430	82.7%
無回答	42	8.1%
計	520	100.0%



問8 高次脳機能障害として診断されたことがありますか？

回答された方のうち、2.5%の方が高次脳機能障害として診断されています。

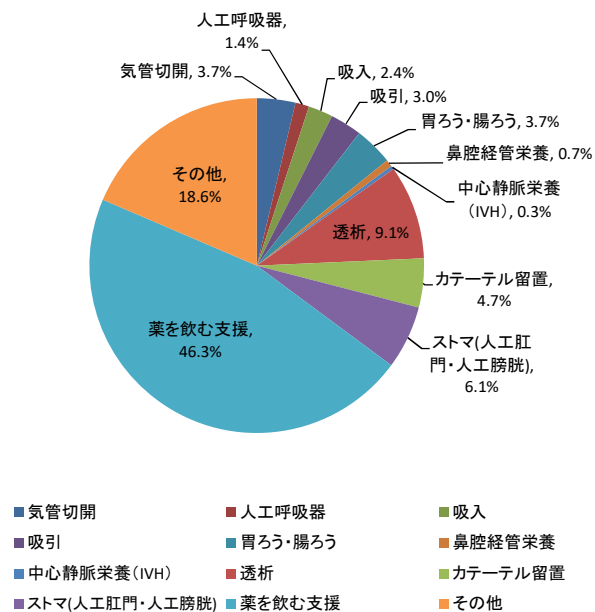
区 分	回答数	構成比
ある	13	2.5%
ない	456	87.7%
無回答	51	9.8%
計	520	100.0%



問9 現在、受けている医療ケアをお答えください。

回答者の約5割の方が薬を飲む支援を受けています。

(複数回答)		
区 分	回答数	構成比
気管切開	11	3.7%
人工呼吸器	4	1.4%
吸入	7	2.4%
吸引	9	3.0%
胃ろう・腸ろう	11	3.7%
鼻腔経管栄養	2	0.7%
中心静脈栄養 (IVH)	1	0.3%
透析	27	9.1%
カテーテル留置	14	4.7%
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	18	6.1%
薬を飲む支援	137	46.3%
その他	55	18.6%
支援あり計	296	100.0%
支援あり実人数	255	49.0%
無回答(支援なし)	265	51.0%
計	520	100.0%



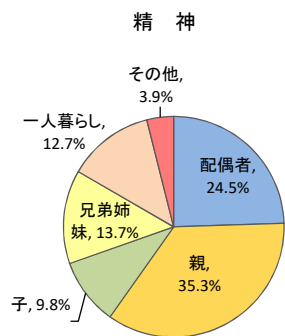
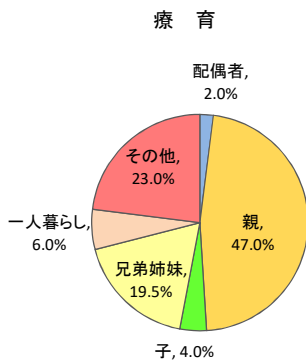
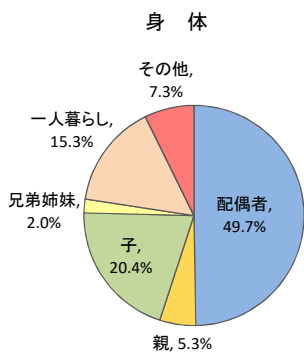
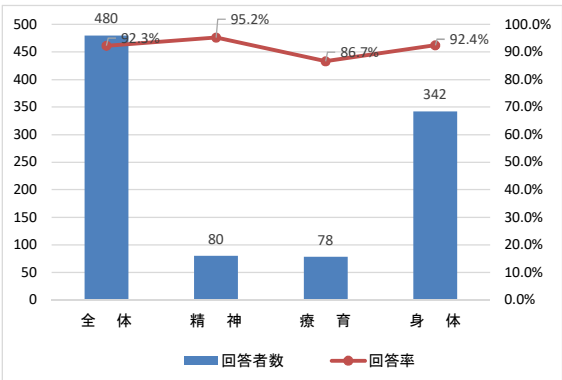
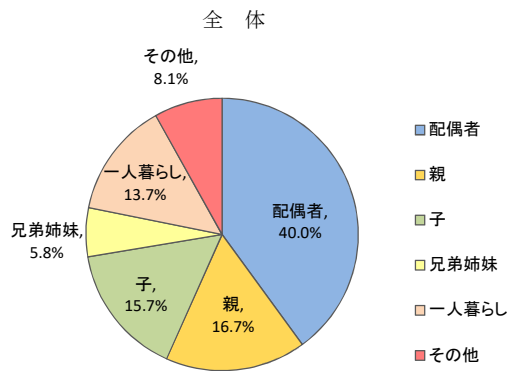
問10 ^{いっしょく}一緒に暮らしているご家族をお答えください。

身体に障がいのある方は配偶者との同居が約50%と高く、次いで子との同居が約20%となっています。知的障がいのある方は親との同居が約47%と高く、次いで兄弟姉妹との同居が約18%となっています。精神障がいのある方は親との同居が約35%と高く、次いで配偶者との同居が約25%となっています。

一人暮らしをしている方は、身体障がい・精神障がいの方では1割超ですが、知的障がいの方では約6%と低い傾向にあります。

(複数回答)

区 分		身 体		療 育		精 神		全 体	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
配偶者		198	49.7%	2	2.0%	25	24.5%	227	40.0%
親		21	5.3%	47	47.0%	36	35.3%	95	16.7%
子		81	20.4%	4	4.0%	10	9.8%	89	15.7%
兄弟姉妹		8	2.0%	18	18.0%	14	13.7%	33	5.8%
一人暮らし		61	15.3%	6	6.0%	13	12.7%	78	13.7%
その他		29	7.3%	23	23.0%	4	3.9%	46	8.1%
合計	延べ人数	398	100.0%	100	100.0%	102	100.0%	568	100.0%
回答者数	実人数	342	92.4%	78	86.7%	80	95.2%	480	92.3%
無回答		28	7.6%	12	13.3%	4	4.8%	40	7.7%
計		370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%



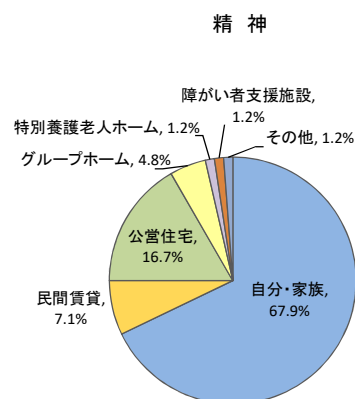
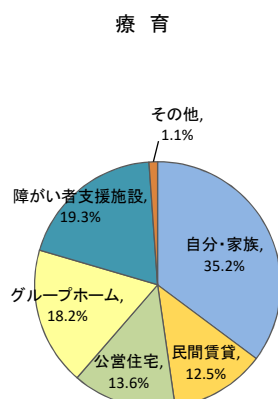
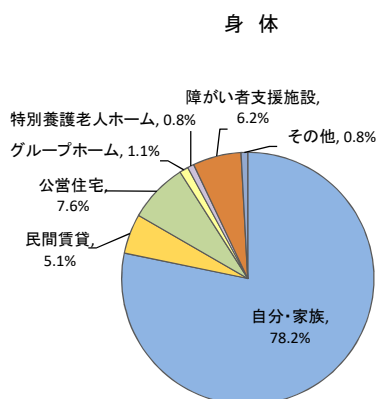
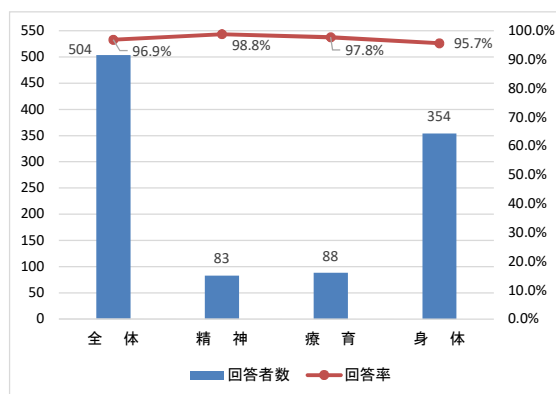
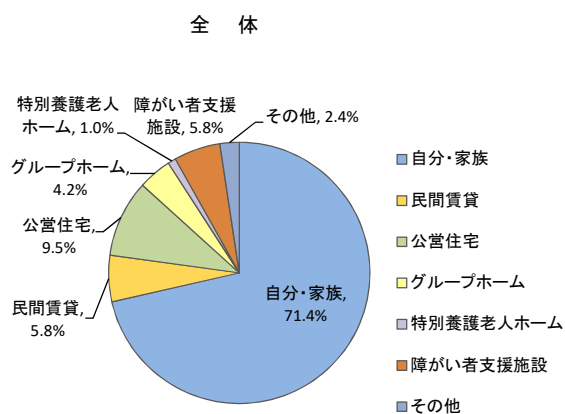
問10 ^たその他の記載内容

- 祖父母、孫等の親族 17名
- 施設入所 22名
- グループホーム(5名)

問11 お住まい等の種類をお答えください。

全体の約7割の方が自分又は家族の所有する家で暮らしています。
公営住宅の利用は、精神に障がいのある方で高い傾向にあります。

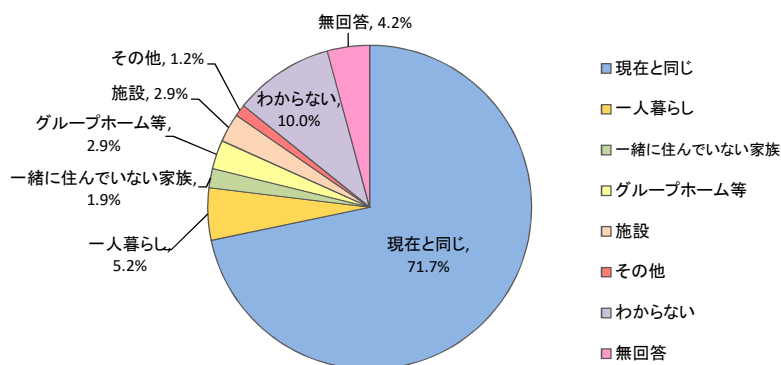
区 分		身 体		療 育		精 神		全 体	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自分・家族		277	78.2%	31	35.2%	57	67.9%	360	71.4%
民間賃貸		18	5.1%	11	12.5%	6	7.1%	29	5.8%
公営住宅		27	7.6%	12	13.6%	14	16.7%	48	9.5%
グループホーム		4	1.1%	16	18.2%	4	4.8%	21	4.2%
特別養護老人ホーム		3	0.8%	0	0.0%	1	1.2%	5	1.0%
障がい者支援施設		22	6.2%	17	19.3%	1	1.2%	29	5.8%
その他		3	0.8%	1	1.1%	1	1.2%	12	2.4%
合計		354	100.0%	88	100.0%	84	100.0%	504	100.0%
回答者数	実人数	354	95.7%	88	97.8%	83	98.8%	504	96.9%
無回答		16	4.3%	2	2.2%	1	1.2%	16	3.1%
計		370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%



問12 今後、どのように暮らしたいと考えていますか。

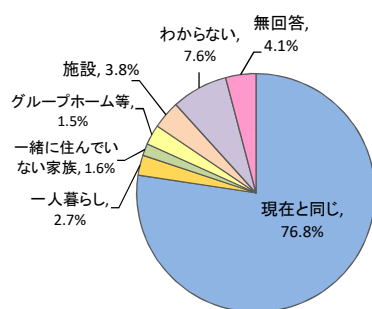
現在と同じ暮らしをしたいとの回答が約7割を占めています。また、知的障がいの方と精神障がいの方は、一人暮らしやグループホームを望む率が高くなっています。

全 体

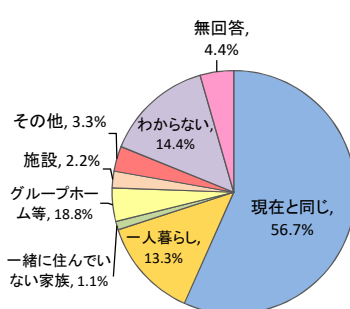


区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現在と同じ	284	76.8%	51	56.7%	52	61.9%	373	71.7%
一人暮らし	10	2.7%	12	13.3%	9	10.7%	27	5.2%
一緒に住んでいない家族	6	1.6%	1	1.1%	1	1.2%	10	1.9%
グループホーム等	10	2.7%	4	4.4%	3	3.6%	15	2.9%
施設	14	3.8%	2	2.2%	0	0.0%	15	2.9%
その他	3	0.8%	3	3.3%	1	1.2%	6	1.2%
わからない	28	7.6%	13	14.4%	15	17.9%	52	10.0%
無回答	15	4.1%	4	4.4%	3	3.6%	22	4.2%
合 計	370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%

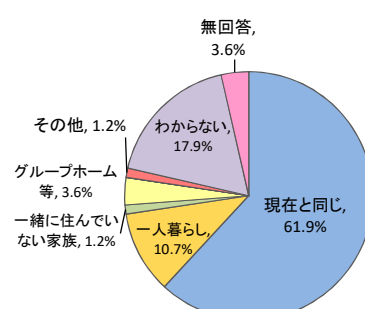
身 体



療 育



精 神



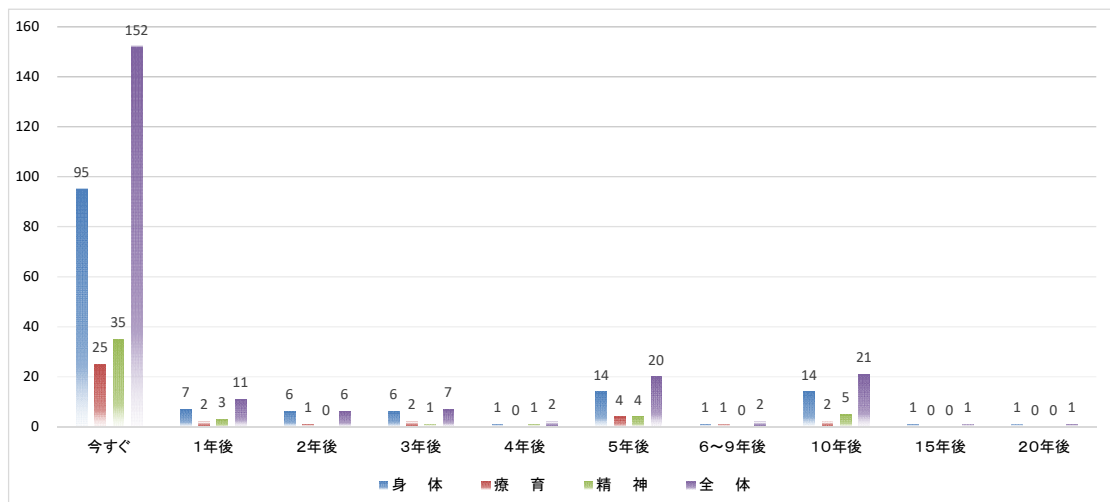
問12 その他の記載内容

- ☐ 公住に入りたい
- ☐ 家と施設（ショート等）を両方利用したい
- ☐ 自分の事ができなくなれば施設に入りたい
- ☐ 北海道医療センター
- ☐ 従兄弟と暮らしたい
- ☐ 本人の本音がわからない

問13 今後の暮らしについて、いつ頃からしたいと考えていますか。

約7割の方が、今すぐと回答しています。

区 分	今すぐ	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6～9年後	10年後	15年後	20年後	計
身 体	95	7	6	6	1	14	1	14	1	1	146
療 育	25	2	1	2	0	4	1	2	0	0	37
精 神	35	3	0	1	1	4	0	5	0	0	49
全 体	152	11	6	7	2	20	2	21	1	1	223

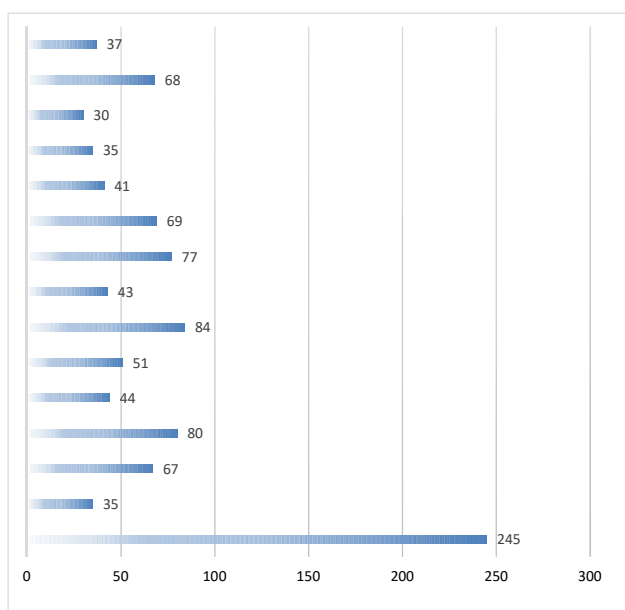


問14 日常生活で不便に感じていることは何ですか。

不便に感じていることは、身体に障がいのある方は、買い物、掃除、入浴、食事に関することなどが多くなっていますが、知的や精神に障がいのある方は、意思を伝えたり理解すること、お金の管理などに不便を感じていることが高い傾向にあります。

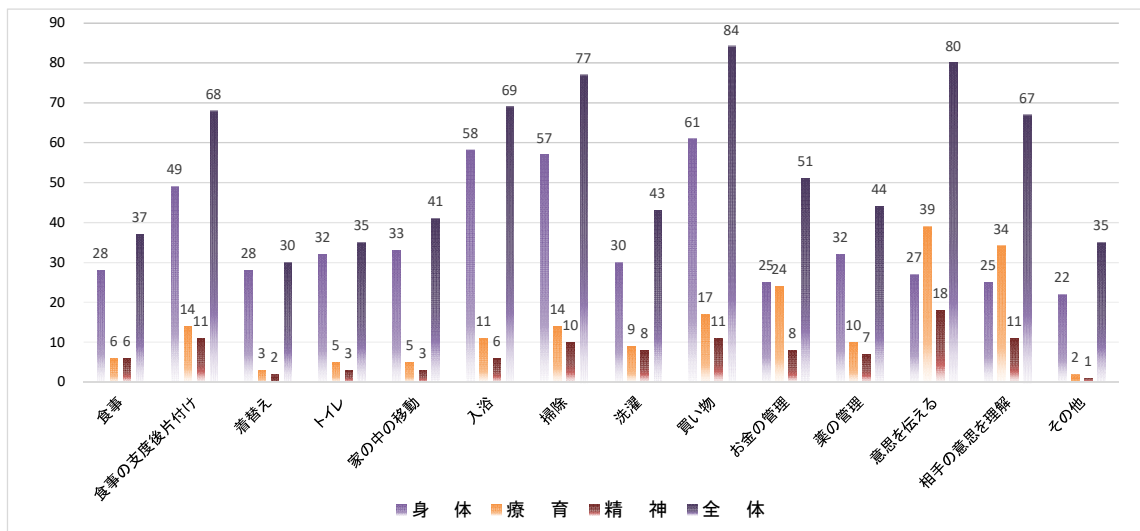
(複数回答)

区 分	回答数	構成比
食事	37	3.7%
食事の支度後片付け	68	6.8%
着替え	30	3.0%
トイレ	35	3.5%
家の中の移動	41	4.1%
入浴	69	6.9%
掃除	77	7.7%
洗濯	43	4.3%
買い物	84	8.3%
お金の管理	51	5.1%
薬の管理	44	4.4%
意思を伝える	80	8.0%
相手の意思を理解	67	6.7%
その他	35	3.5%
無回答	245	24.4%
計	1,006	100.0%



(複数回答)

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
食事	28	4.0%	6	2.7%	6	4.1%	37	3.7%
食事の支度後片付け	49	6.9%	14	6.2%	11	7.6%	68	6.8%
着替え	28	4.0%	3	1.3%	2	1.4%	30	3.0%
トイレ	32	4.5%	5	2.2%	3	2.1%	35	3.5%
家の中の移動	33	4.7%	5	2.2%	3	2.1%	41	4.1%
入浴	58	8.2%	11	4.9%	6	4.1%	69	6.9%
掃除	57	8.1%	14	6.2%	10	6.9%	77	7.7%
洗濯	30	4.2%	9	4.0%	8	5.5%	43	4.3%
買い物	61	8.6%	17	7.6%	11	7.6%	84	8.3%
お金の管理	25	3.5%	24	10.7%	8	5.5%	51	5.1%
薬の管理	32	4.5%	10	4.4%	7	4.8%	44	4.4%
意思を伝える	27	3.8%	39	17.3%	18	12.4%	80	8.0%
相手の意思を理解	25	3.5%	34	15.1%	11	7.6%	67	6.7%
その他	22	3.1%	2	0.9%	1	0.7%	35	3.5%
無回答	200	28.3%	32	14.2%	40	27.6%	245	24.4%
合計	707	100.0%	225	100.0%	145	100.0%	1,006	100.0%



問14 その他の記載内容

- ☐ すべて出来ない
- ☐ 出来ない事が増えている為、全てにおいて不便を感じている
- ☐ 片手が使えないため、色々な事が出来なく不便な事が多い
- ☐ 歩くのにふらつき、よくころぶ
- ☐ することが忘れやすくなり、思ったことは行動に移し、常にメモしている
- ☐ 移動手段
- ☐ 一人暮らしになるとむずかしい
- ☐ 荒天時の車の運転
- ☐ (今は) 妻がいるので不便を感じない(2名)
- ☐ 妻の介護
- ☐ 指を使う動作
- ☐ 書類の理解
- ☐ 寝たきりで入院加療中(3年余、意思表示不可)
- ☐ 心臓が悪くて薬代とかもとても高いのに住民税が少し高く感じています。
- ☐ 対話で敬遠される
- ☐ 電話による連絡、使えない(2名)
- ☐ 冬の除排雪
- ☐ 透析通院(冬場)
- ☐ 難聴(2名)
- ☐ 認知症なので
- ☐ 父との同居

2 福祉サービスについて

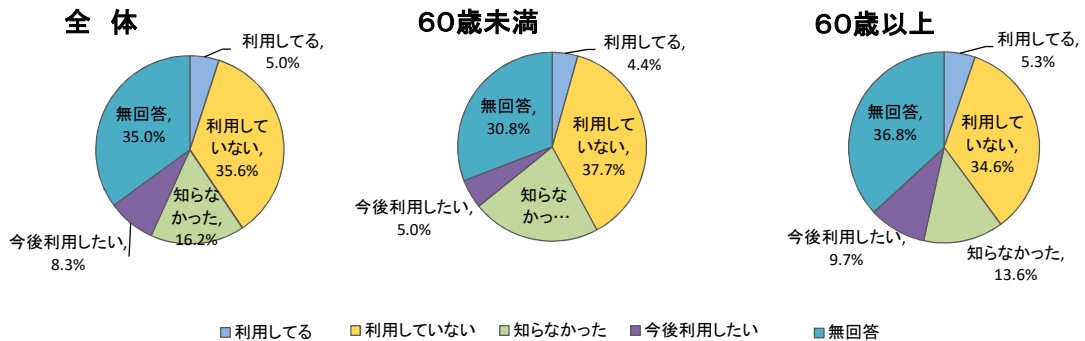
全体的に回答があった方のうち、居宅介護（ホームヘルプ）などのサービスは、一定程度的方が知っているようですが、就労移行支援や日中一時支援など、自身が利用しない（対象ではない）制度については知らない方が多い結果となりました。

利用しているサービスで多かった回答は、福祉ハイヤー、通院交通費助成、補装具や日常生活用具などの支給、就労継続支援、居宅介護、生活介護、移動支援、計画相談支援となっています。

今後利用したいとの回答が多かったサービスは、居宅介護、短期入所（ショートステイ）、

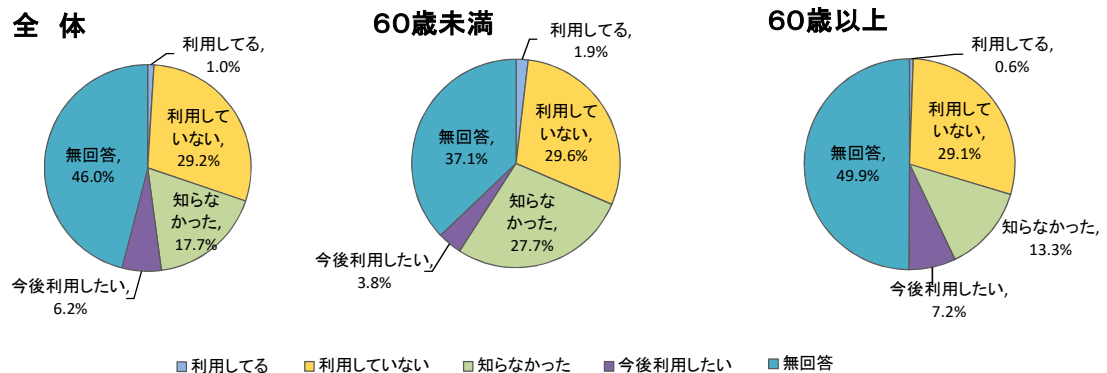
問15-1 居宅介護（ホームヘルプ）

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	26	5.0%	7	4.4%	19	5.3%
利用していない	185	35.6%	60	37.7%	125	34.6%
知らなかった	84	16.2%	35	22.0%	49	13.6%
今後利用したい	43	8.3%	8	5.0%	35	9.7%
無回答	182	35.0%	49	30.8%	133	36.8%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%



問15-2 重度訪問介護

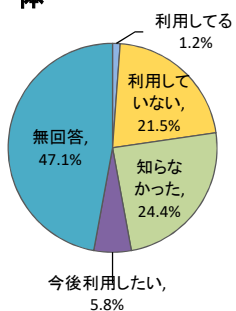
区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	5	1.0%	3	1.9%	2	0.6%
利用していない	152	29.2%	47	29.6%	105	29.1%
知らなかった	92	17.7%	44	27.7%	48	13.3%
今後利用したい	32	6.2%	6	3.8%	26	7.2%
無回答	239	46.0%	59	37.1%	180	49.9%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%



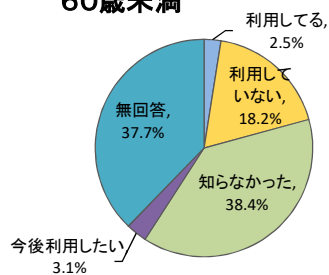
問15-3 行動援助

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	6	1.2%	4	2.5%	2	0.6%
利用していない	112	21.5%	29	18.2%	83	23.0%
知らなかった	127	24.4%	61	38.4%	66	18.3%
今後利用したい	30	5.8%	5	3.1%	25	6.9%
無回答	245	47.1%	60	37.7%	185	51.2%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

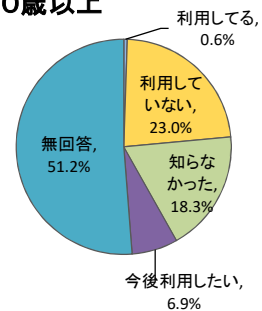
全 体



60歳未満



60歳以上

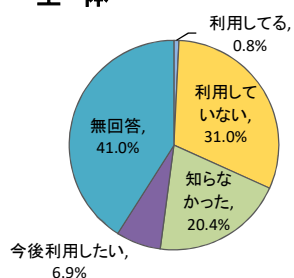


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

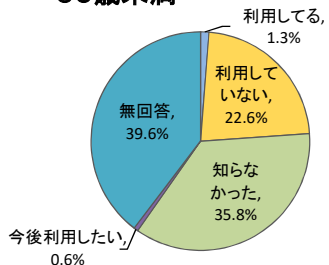
問15-4 同行援助

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	4	0.8%	2	1.3%	2	0.6%
利用していない	161	31.0%	36	22.6%	125	34.6%
知らなかった	106	20.4%	57	35.8%	49	13.6%
今後利用したい	36	6.9%	1	0.6%	35	9.7%
無回答	213	41.0%	63	39.6%	150	41.6%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

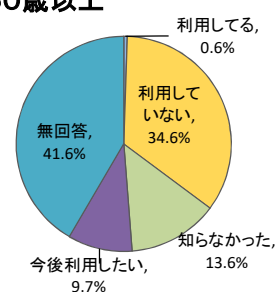
全 体



60歳未満



60歳以上

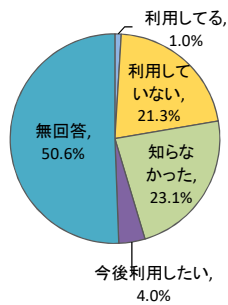


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

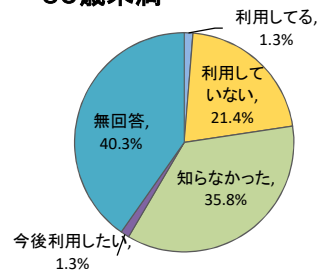
問15-5 重度障害者等包括支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	5	1.0%	2	1.3%	3	0.8%
利用していない	111	21.3%	34	21.4%	77	21.3%
知らなかった	120	23.1%	57	35.8%	63	17.5%
今後利用したい	21	4.0%	2	1.3%	19	5.3%
無回答	263	50.6%	64	40.3%	199	55.1%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

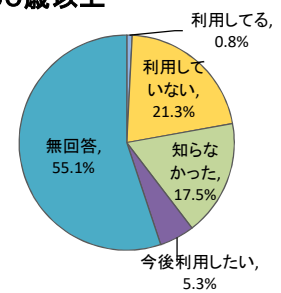
全 体



60歳未満



60歳以上

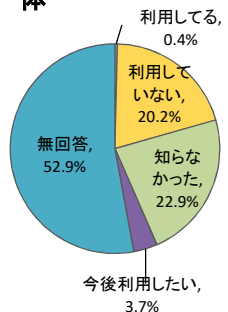


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

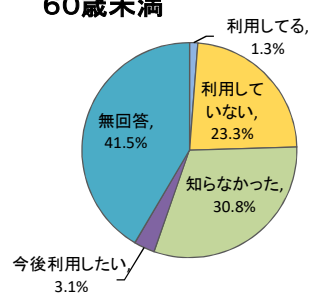
問15-6 児童発達支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	2	0.4%	2	1.3%	0	0.0%
利用していない	105	20.2%	37	23.3%	68	18.8%
知らなかった	119	22.9%	49	30.8%	70	19.4%
今後利用したい	19	3.7%	5	3.1%	14	3.9%
無回答	275	52.9%	66	41.5%	209	57.9%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

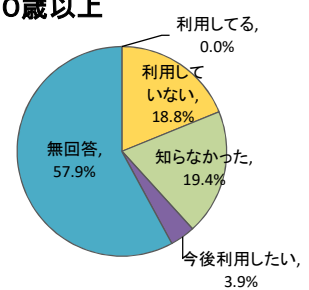
全 体



60歳未満



60歳以上

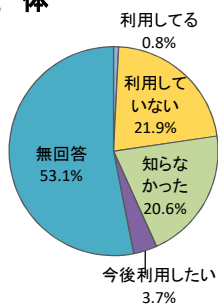


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

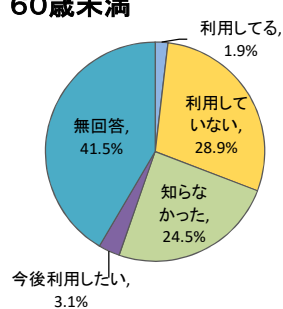
問15-7 放課後等デイサービス

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	4	0.8%	3	1.9%	1	0.3%
利用していない	114	21.9%	46	28.9%	68	18.8%
知らなかった	107	20.6%	39	24.5%	68	18.8%
今後利用したい	19	3.7%	5	3.1%	14	3.9%
無回答	276	53.1%	66	41.5%	210	58.2%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

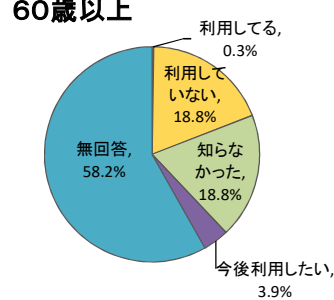
全 体



60歳未満



60歳以上

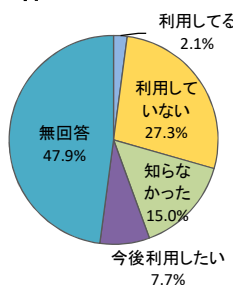


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

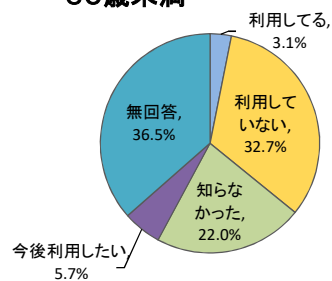
問15-8 短期入所(ショートステイ)

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	11	2.1%	5	3.1%	6	1.7%
利用していない	142	27.3%	52	32.7%	90	24.9%
知らなかった	78	15.0%	35	22.0%	43	11.9%
今後利用したい	40	7.7%	9	5.7%	31	8.6%
無回答	249	47.9%	58	36.5%	191	52.9%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

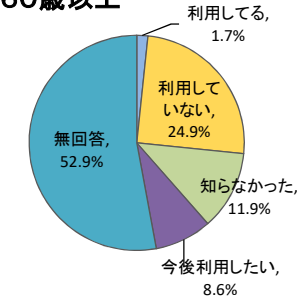
全 体



60歳未満



60歳以上

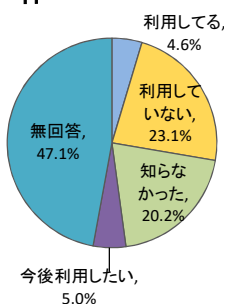


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

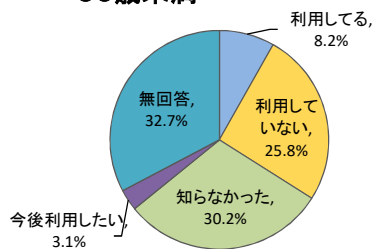
問15-9 りょうようかいご 療養介護

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	24	4.6%	13	8.2%	11	3.0%
利用していない	120	23.1%	41	25.8%	79	21.9%
知らなかった	105	20.2%	48	30.2%	57	15.8%
今後利用したい	26	5.0%	5	3.1%	21	5.8%
無回答	245	47.1%	52	32.7%	193	53.5%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

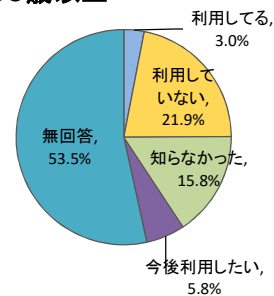
全 体



60歳未満



60歳以上

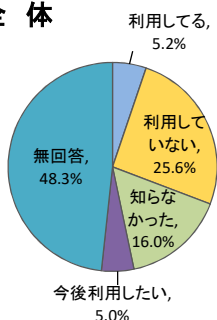


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

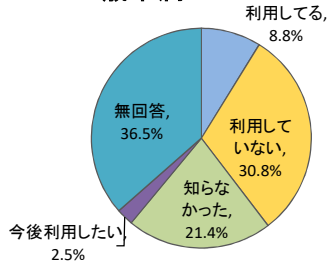
問15-10 せいかつかいご 生活介護

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	27	5.2%	14	8.8%	13	3.6%
利用していない	133	25.6%	49	30.8%	84	23.3%
知らなかった	83	16.0%	34	21.4%	49	13.6%
今後利用したい	26	5.0%	4	2.5%	22	6.1%
無回答	251	48.3%	58	36.5%	193	53.5%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

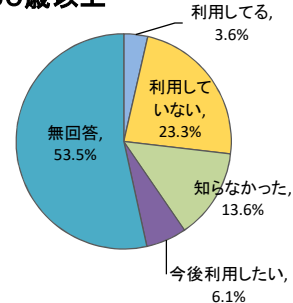
全 体



60歳未満



60歳以上

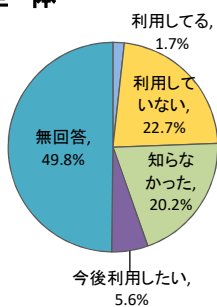


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

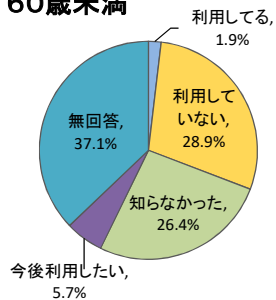
問15-11 ^{じりつくんれん きのうくんれん せいかつくんれん} 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	9	1.7%	3	1.9%	6	1.7%
利用していない	118	22.7%	46	28.9%	72	19.9%
知らなかった	105	20.2%	42	26.4%	63	17.5%
今後利用したい	29	5.6%	9	5.7%	20	5.5%
無回答	259	49.8%	59	37.1%	200	55.4%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

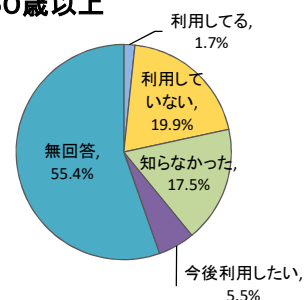
全 体



60歳未満



60歳以上

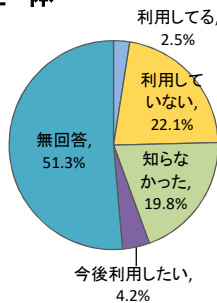


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

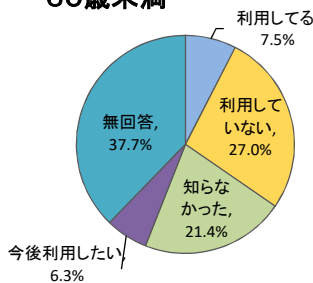
問15-12 ^{しやうろうい こうしえん} 就労移行支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	13	2.5%	12	7.5%	1	0.3%
利用していない	115	22.1%	43	27.0%	72	19.9%
知らなかった	103	19.8%	34	21.4%	69	19.1%
今後利用したい	22	4.2%	10	6.3%	12	3.3%
無回答	267	51.3%	60	37.7%	207	57.3%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

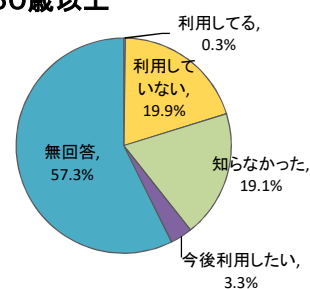
全 体



60歳未満



60歳以上

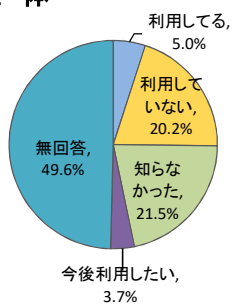


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

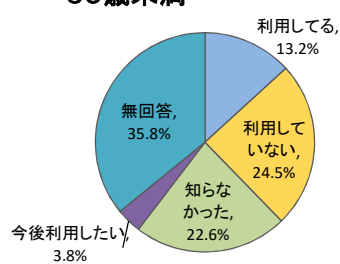
問15-13 就労継続支援(A・B)

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	26	5.0%	21	13.2%	5	1.4%
利用していない	105	20.2%	39	24.5%	66	18.3%
知らなかった	112	21.5%	36	22.6%	76	21.1%
今後利用したい	19	3.7%	6	3.8%	13	3.6%
無回答	258	49.6%	57	35.8%	201	55.7%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

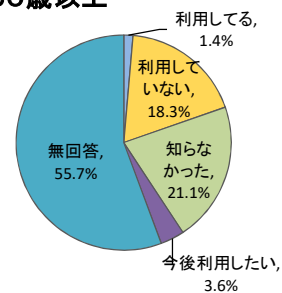
全 体



60歳未満



60歳以上

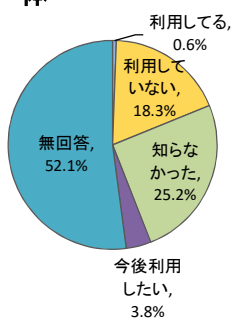


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

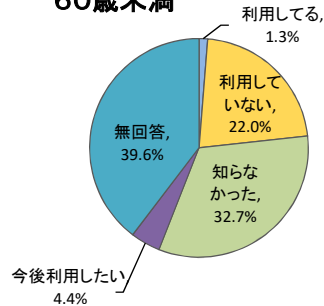
問15-14 就労定着支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	3	0.6%	2	1.3%	1	0.3%
利用していない	95	18.3%	35	22.0%	60	16.6%
知らなかった	131	25.2%	52	32.7%	79	21.9%
今後利用したい	20	3.8%	7	4.4%	13	3.6%
無回答	271	52.1%	63	39.6%	208	57.6%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

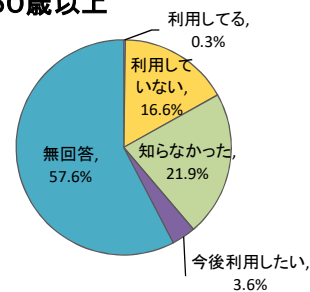
全 体



60歳未満



60歳以上

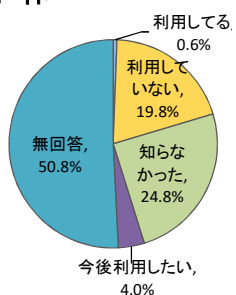


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

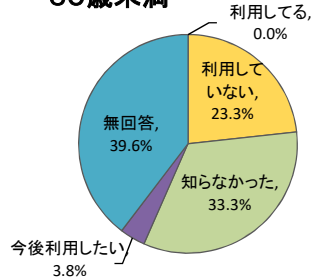
じりつせいいかつまんじょ
問15-15 自立生活援助

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	3	0.6%	0	0.0%	3	0.8%
利用していない	103	19.8%	37	23.3%	66	18.3%
知らなかった	129	24.8%	53	33.3%	76	21.1%
今後利用したい	21	4.0%	6	3.8%	15	4.2%
無回答	264	50.8%	63	39.6%	201	55.7%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

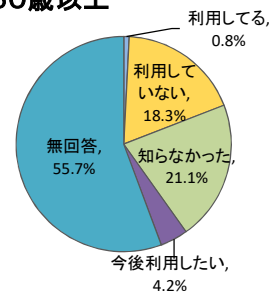
全 体



60歳未満



60歳以上

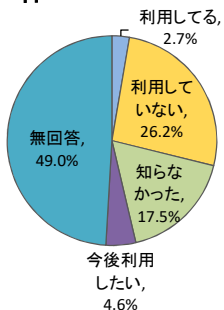


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

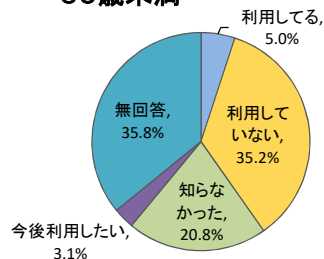
きょうどうせいいかつまんじょ
問15-16 共同生活援助(グループホーム)

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	14	2.7%	8	5.0%	6	1.7%
利用していない	136	26.2%	56	35.2%	80	22.2%
知らなかった	91	17.5%	33	20.8%	58	16.1%
今後利用したい	24	4.6%	5	3.1%	19	5.3%
無回答	255	49.0%	57	35.8%	198	54.8%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

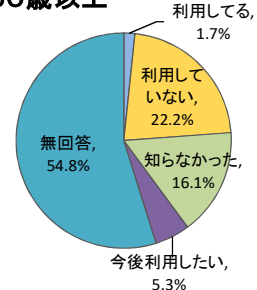
全 体



60歳未満



60歳以上

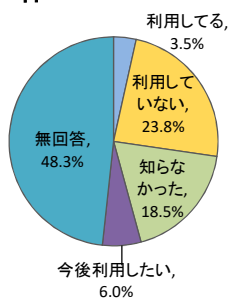


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

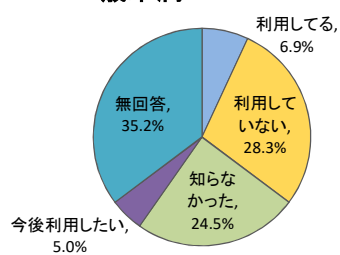
問15-17 施設入所支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	18	3.5%	11	6.9%	7	1.9%
利用していない	124	23.8%	45	28.3%	79	21.9%
知らなかった	96	18.5%	39	24.5%	57	15.8%
今後利用したい	31	6.0%	8	5.0%	23	6.4%
無回答	251	48.3%	56	35.2%	195	54.0%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

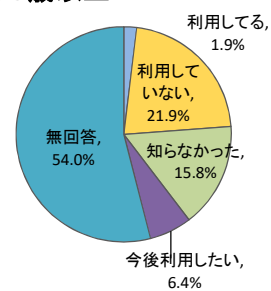
全 体



60歳未満



60歳以上

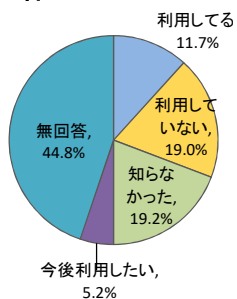


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

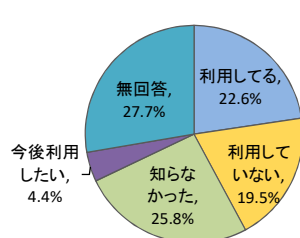
問15-18 計画相談支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	61	11.7%	36	22.6%	25	6.9%
利用していない	99	19.0%	31	19.5%	68	18.8%
知らなかった	100	19.2%	41	25.8%	59	16.3%
今後利用したい	27	5.2%	7	4.4%	20	5.5%
無回答	233	44.8%	44	27.7%	189	52.4%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

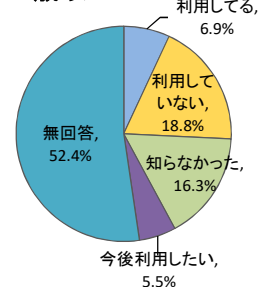
全 体



60歳未満



60歳以上

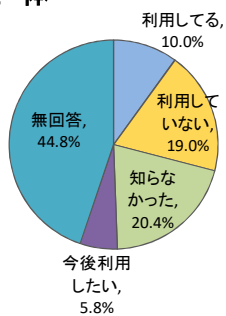


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

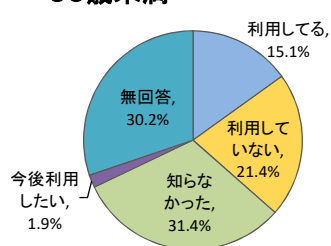
問15-19 補装具費支給

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	52	10.0%	24	15.1%	28	7.8%
利用していない	99	19.0%	34	21.4%	65	18.0%
知らなかった	106	20.4%	50	31.4%	56	15.5%
今後利用したい	30	5.8%	3	1.9%	27	7.5%
無回答	233	44.8%	48	30.2%	185	51.2%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

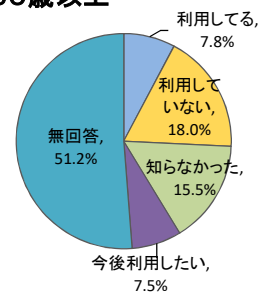
全 体



60歳未満



60歳以上

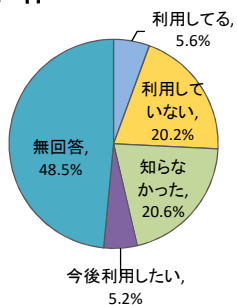


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

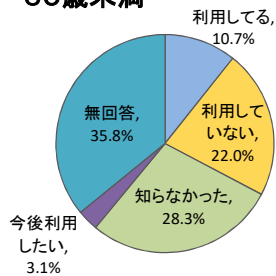
問15-20 移動支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	29	5.6%	17	10.7%	12	3.3%
利用していない	105	20.2%	35	22.0%	70	19.4%
知らなかった	107	20.6%	45	28.3%	62	17.2%
今後利用したい	27	5.2%	5	3.1%	22	6.1%
無回答	252	48.5%	57	35.8%	195	54.0%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

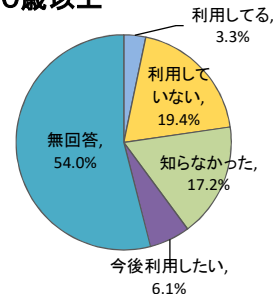
全 体



60歳未満



60歳以上

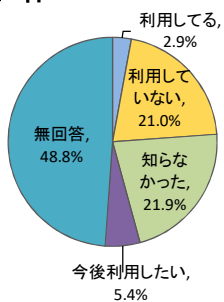


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

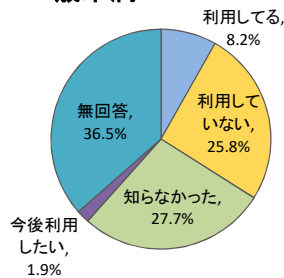
問15-21 にっちゅういちじしえん 日中一時支援

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	15	2.9%	13	8.2%	2	0.6%
利用していない	109	21.0%	41	25.8%	68	18.8%
知らなかった	114	21.9%	44	27.7%	70	19.4%
今後利用したい	28	5.4%	3	1.9%	25	6.9%
無回答	254	48.8%	58	36.5%	196	54.3%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

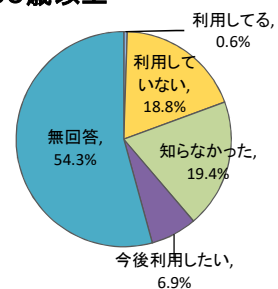
全 体



60歳未満



60歳以上

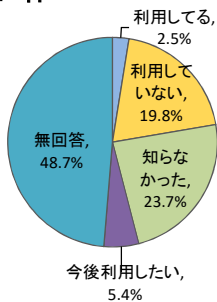


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

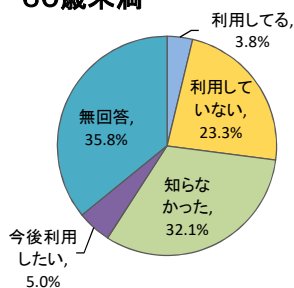
問15-22 ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	13	2.5%	6	3.8%	7	1.9%
利用していない	103	19.8%	37	23.3%	66	18.3%
知らなかった	123	23.7%	51	32.1%	72	19.9%
今後利用したい	28	5.4%	8	5.0%	20	5.5%
無回答	253	48.7%	57	35.8%	196	54.3%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

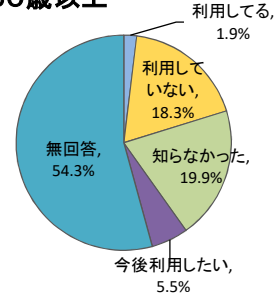
全 体



60歳未満



60歳以上

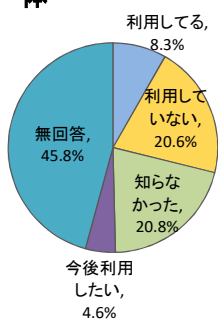


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

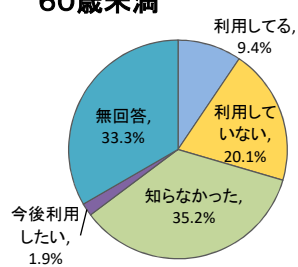
問15-23 日常生活用具費支給

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	43	8.3%	15	9.4%	28	7.8%
利用していない	107	20.6%	32	20.1%	75	20.8%
知らなかった	108	20.8%	56	35.2%	52	14.4%
今後利用したい	24	4.6%	3	1.9%	21	5.8%
無回答	238	45.8%	53	33.3%	185	51.2%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

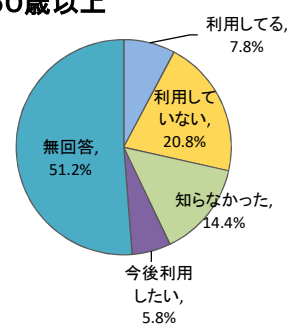
全 体



60歳未満



60歳以上

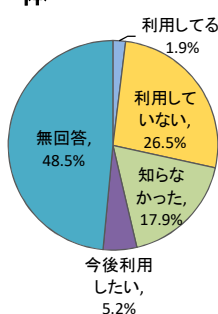


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

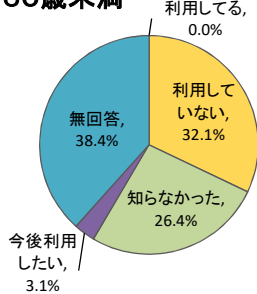
問15-24 訪問入浴サービス

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	10	1.9%	0	0.0%	10	2.8%
利用していない	138	26.5%	51	32.1%	87	24.1%
知らなかった	93	17.9%	42	26.4%	51	14.1%
今後利用したい	27	5.2%	5	3.1%	22	6.1%
無回答	252	48.5%	61	38.4%	191	52.9%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

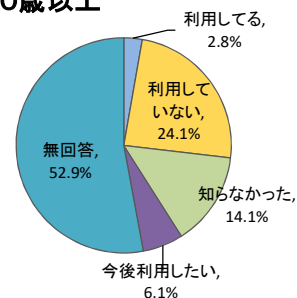
全 体



60歳未満



60歳以上

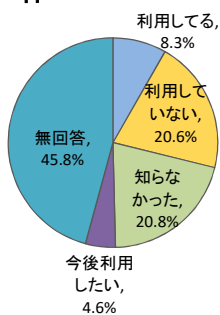


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

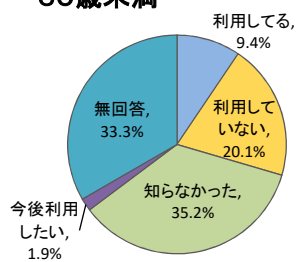
問15-25 福祉ハイヤー利用助成

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	43	8.3%	15	9.4%	28	7.8%
利用していない	107	20.6%	32	20.1%	75	20.8%
知らなかった	108	20.8%	56	35.2%	52	14.4%
今後利用したい	24	4.6%	3	1.9%	21	5.8%
無回答	238	45.8%	53	33.3%	185	51.2%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

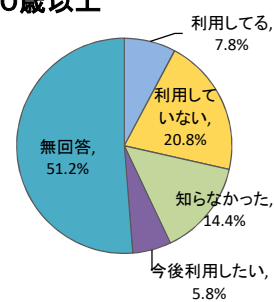
全 体



60歳未満



60歳以上

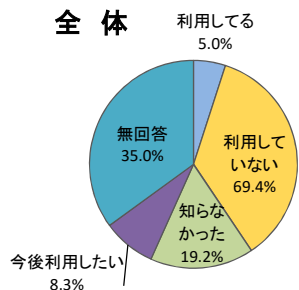


■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

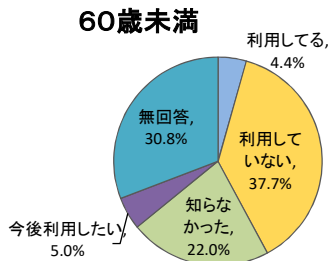
問15-26 通院交通費助成

区 分	全 体		60歳未満		60歳以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用してる	10	1.9%	0	0.0%	10	2.8%
利用していない	138	26.5%	51	32.1%	87	24.1%
知らなかった	93	17.9%	42	26.4%	51	14.1%
今後利用したい	27	5.2%	5	3.1%	22	6.1%
無回答	252	48.5%	61	38.4%	191	52.9%
計	520	100.0%	159	100.0%	361	100.0%

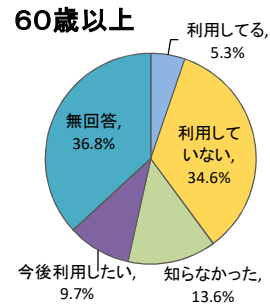
全 体



60歳未満



60歳以上



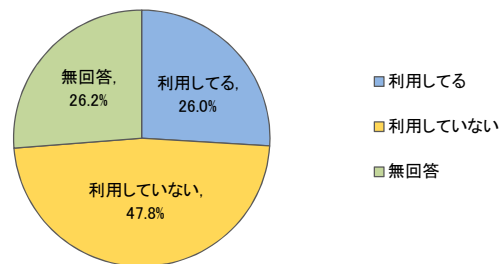
■ 利用してる ■ 利用していない ■ 知らなかった ■ 今後利用したい ■ 無回答

問16 介護保険法のサービスを利用していますか。

介護保険サービスを約4分の1の方が利用しています。
 (65歳以上の方および40歳から64歳で介護認定を受けた方)
 認定区分では、要支援1・2の方が4割超で多くなっていますが、要介護3から5の介護度の高い方も3割超と多くなっています。

区 分	回答数	構成比
利用してる	95	26.0%
利用していない	175	47.8%
無回答	96	26.2%
計	366	100.0%

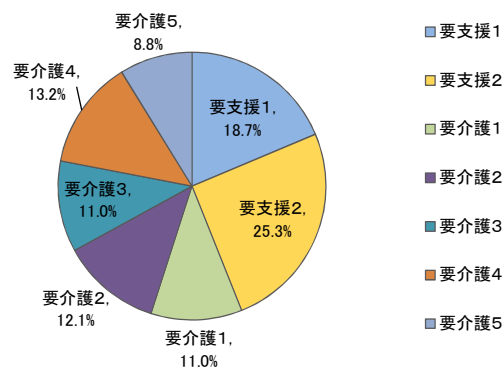
※「利用していない」「無回答」は、65歳以上の回答数。



問16 介護保険の認定区分

区 分	回答数	構成比
要支援1	17	18.7%
要支援2	23	25.3%
要介護1	10	11.0%
要介護2	11	12.1%
要介護3	10	11.0%
要介護4	12	13.2%
要介護5	8	8.8%
無回答	11	
計	102	100.0%

91



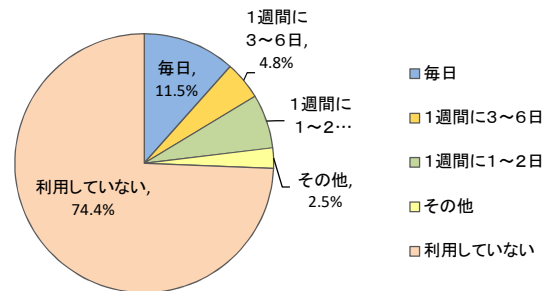
問17 日常生活上の支援を誰からどの程度受けていますか。

家族から毎日の支援を受けている方が、支援を受けている方の大半を占めています。福祉サービスを毎日利用している方が、利用している方の約5割となっています。ボランティア等の利用は約5%にとどまり、利用していないと答えた方が9割を超えました。

福祉サービスを利用している(ホームヘルパー等)

区 分	回答数	構成比
毎日	41	11.5%
1週間に3～6日	17	4.8%
1週間に1～2日	24	6.8%
その他	9	2.5%
利用していない	264	74.4%
無回答	165	
計	520	100.0%

355

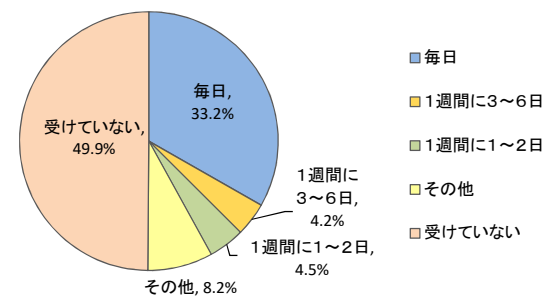


※無回答を除いた割合です。(n=355)

家族等から支援を受けている

区 分	回答数	構成比
毎日	118	33.2%
1週間に3～6日	15	4.2%
1週間に1～2日	16	4.5%
その他	29	8.2%
受けていない	177	49.9%
無回答	165	
計	520	100.0%

355

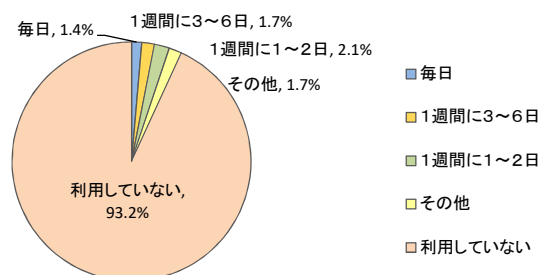


※無回答を除いた割合です。(n=355)

その他(ボランティア、私費ヘルパー等)

区 分	回答数	構成比
毎日	4	1.4%
1週間に3～6日	5	1.7%
1週間に1～2日	6	2.1%
その他	5	1.7%
利用していない	272	93.2%
無回答	228	
計	520	100.0%

292



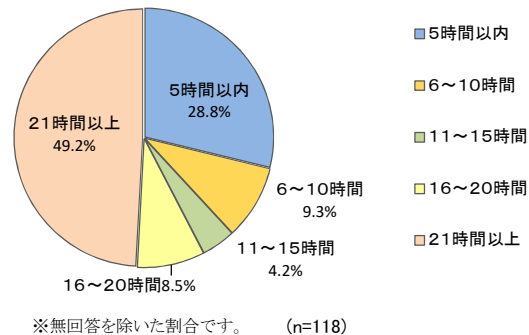
※無回答を除いた割合です。(n=292)

問18 福祉サービスを1週間平均で何時間程度利用していますか。

1週間の利用時間は、21時間を超えると答えた方が約半数いる一方、5時間以内の方が約3割となっています。

区 分	回答数	構成比
5時間以内	34	28.8%
6～10時間	11	9.3%
11～15時間	5	4.2%
16～20時間	10	8.5%
21時間以上	58	49.2%
無回答	402	
計	520	100.0%

118



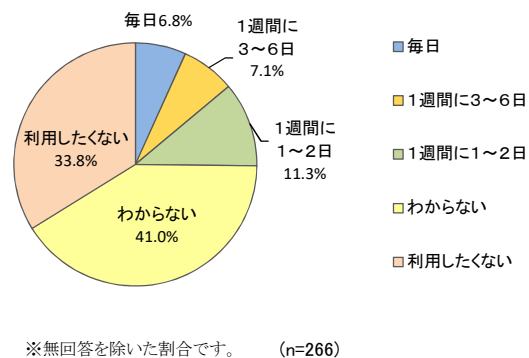
問19 福祉サービスをどの程度利用したいですか。

今後の福祉サービスの利用については、わからないとの回答が約4割となっていますが、利用したいと回答された方の中では、週1～2回の利用が多くなっています。また、利用したい時間については、週5時間以内の利用が多くを占めています。

【日数】

区 分	回答数	構成比
毎日	18	6.8%
1週間に3～6日	19	7.1%
1週間に1～2日	30	11.3%
わからない	109	41.0%
利用したくない	90	33.8%
無回答	254	
計	520	100.0%

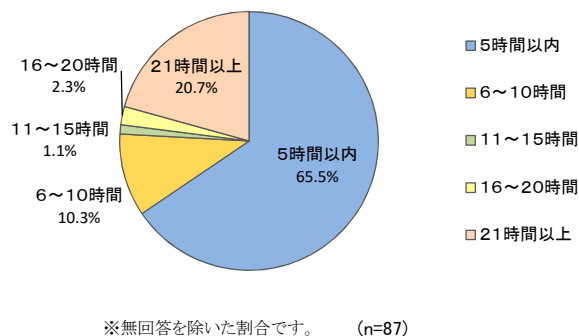
266



【時間】

区 分	回答数	構成比
5時間以内	57	65.5%
6～10時間	9	10.3%
11～15時間	1	1.1%
16～20時間	2	2.3%
21時間以上	18	20.7%
無回答	433	
計	520	100.0%

87



3 仕事・日中の過ごし方について

問20 現在、日中はどのように過ごしていますか。

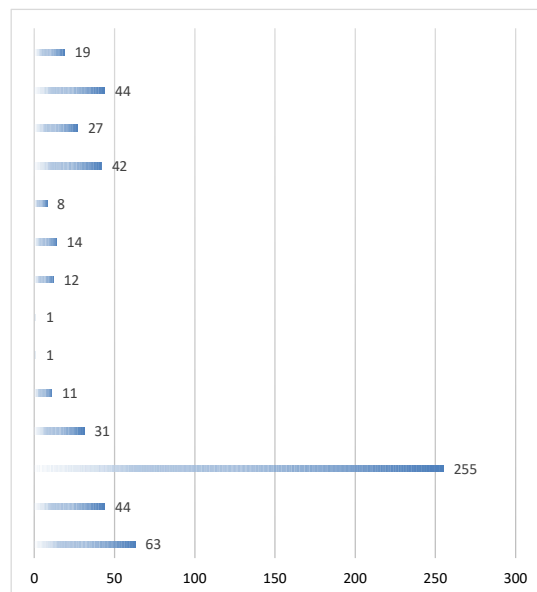
日中の過ごし方は、約4割の方が家庭内にいるとの回答となりました。

障がい別では、身体に障がいのある方は家庭内や自営業、アルバイト、パート契約、派遣社員が多く、知的に障がいのある方では障害者通所サービスや学校、家庭内、精神障がい者では、家庭内や障害者通所サービスの利用などが多くなっています。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
正職員	19	3.3%
アルバイト、パート契約・派遣社員等	44	7.7%
自営業（家の仕事の手伝い）	27	4.7%
障がい者通所サービス等	42	7.3%
デイケアサービス等	8	1.4%
介護保険の通所サービス	14	2.4%
学校	12	2.1%
保育園、幼稚園	1	0.2%
児童発達支援、放課後等デイ等	1	0.2%
ボランティアなど社会活動等	11	1.9%
家庭内（家事、育児、介護）	31	5.4%
家庭内	255	44.6%
その他	44	7.7%
無回答	63	11.0%
計	572	100.0%

509



(複数回答)

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
正職員	9	2.6%	4	4.2%	6	6.5%	19	3.7%
アルバイト、パート契約・派遣社員等	25	7.2%	10	10.4%	9	9.7%	44	8.6%
自営業（家の仕事の手伝い）	21	6.1%	3	3.1%	4	4.3%	27	5.3%
障がい者通所サービス等	9	2.6%	30	31.3%	11	11.8%	42	8.3%
デイケアサービス等	6	1.7%	2	2.1%	3	3.2%	8	1.6%
介護保険の通所サービス	13	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	14	2.8%
学校	3	0.9%	10	10.4%	2	2.2%	12	2.4%
保育園、幼稚園	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
児童発達支援、放課後等デイ等	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
ボランティアなど社会活動等	9	2.6%	0	0.0%	2	2.2%	11	2.2%
家庭内（家事、育児、介護）	18	5.2%	3	3.1%	12	12.9%	31	6.1%
家庭内	200	57.6%	15	15.6%	42	45.2%	255	50.1%
その他	34	9.8%	17	17.7%	2	2.2%	44	8.6%
無回答	52		8		8		63	
計	399	100.0%	104	100.0%	101	100.0%	572	100.0%

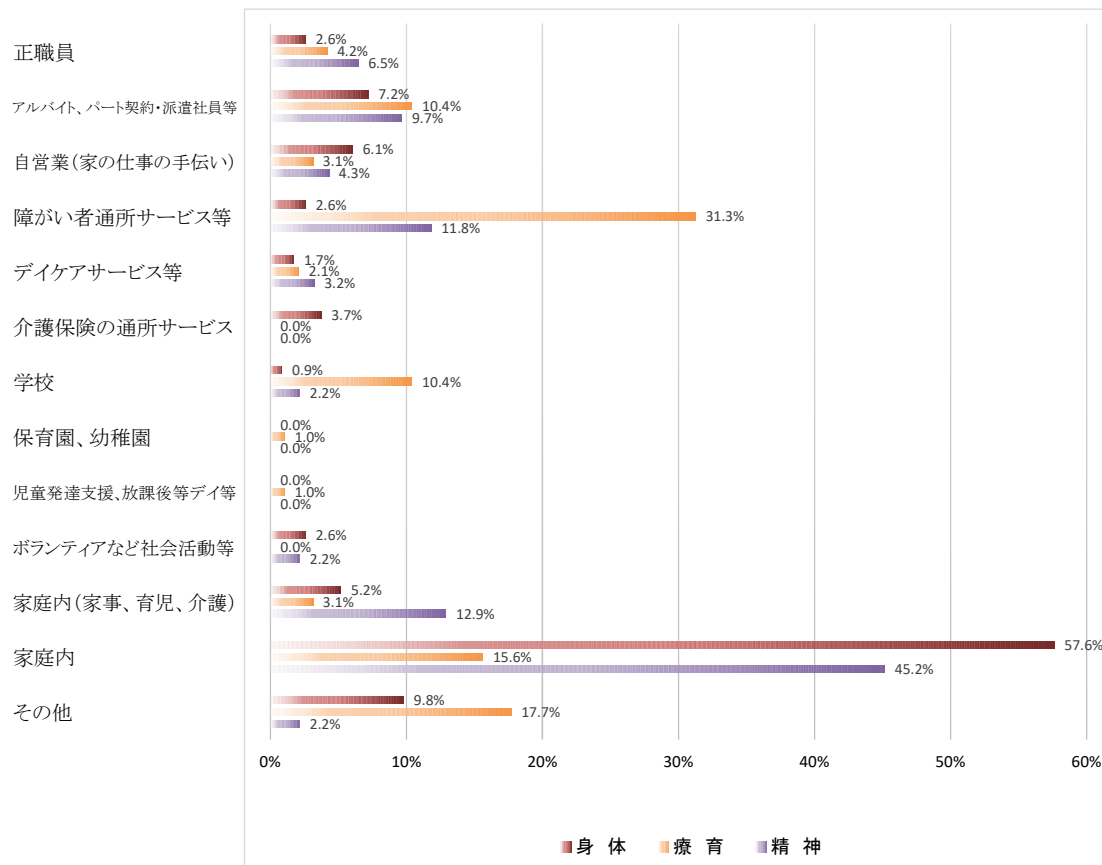
回答者数
(合計－無回答)

347

96

93

509



問20 その他の記載内容

- ☐ 入所施設での生活（24名）
- ☐ GH内で過ごしている
- ☐ ショートステイ
- ☐ 農作業
- ☐ 学校（高校2年生）
- ☐ 時々スポーツ
- ☐ 週3回透析
- ☐ 週に2～3日地活で過ごしている
- ☐ 認知症なので何もしていない
- ☐ 部室で過ごしている
- ☐ 無職
- ☐ 入院中

問21 今後、日中はどのように過ごしたいか

今後の過ごし方では、約8割の方が現在と同じように過ごしたいと回答しています。

区 分	身 体		療 育		精 神		区分無回答		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現在と同じ	288	77.8%	67	74.4%	51	60.7%	9	75.0%	393	75.6%
現在と違う	20	5.4%	10	11.1%	21	25.0%	1	8.3%	49	9.4%
無回答	62	16.8%	13	14.4%	12	14.3%	2	16.7%	78	15.0%
計	370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	12	100.0%	520	100.0%

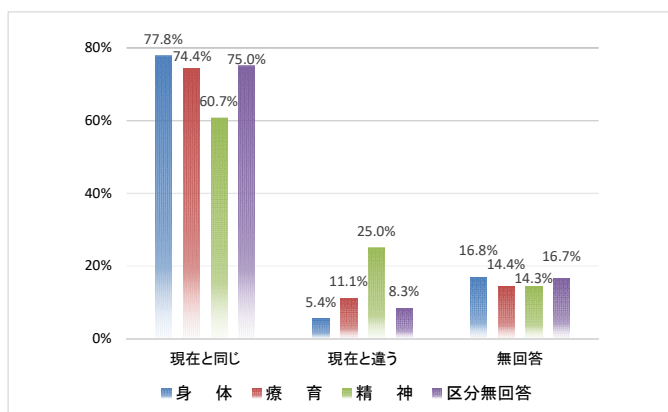
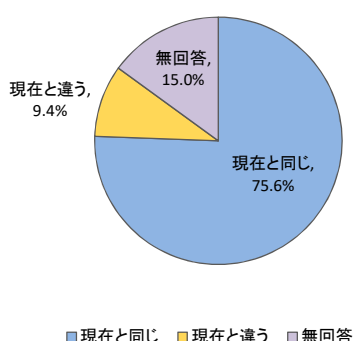
回答者数
(合計－無回答)

308

77

72

10



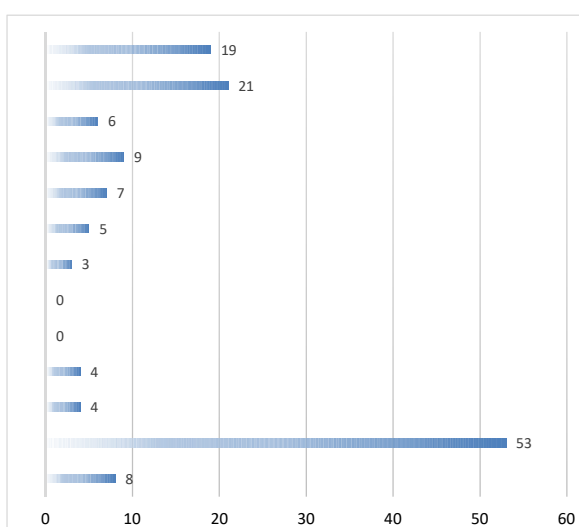
問22 現在と違う場合、どのように過ごしたいか。

現在と違うと答えた方の中では家庭内が一番多く、次いで正社員やアルバイトなどの仕事につきたいとの回答となっています。

(複数回答)

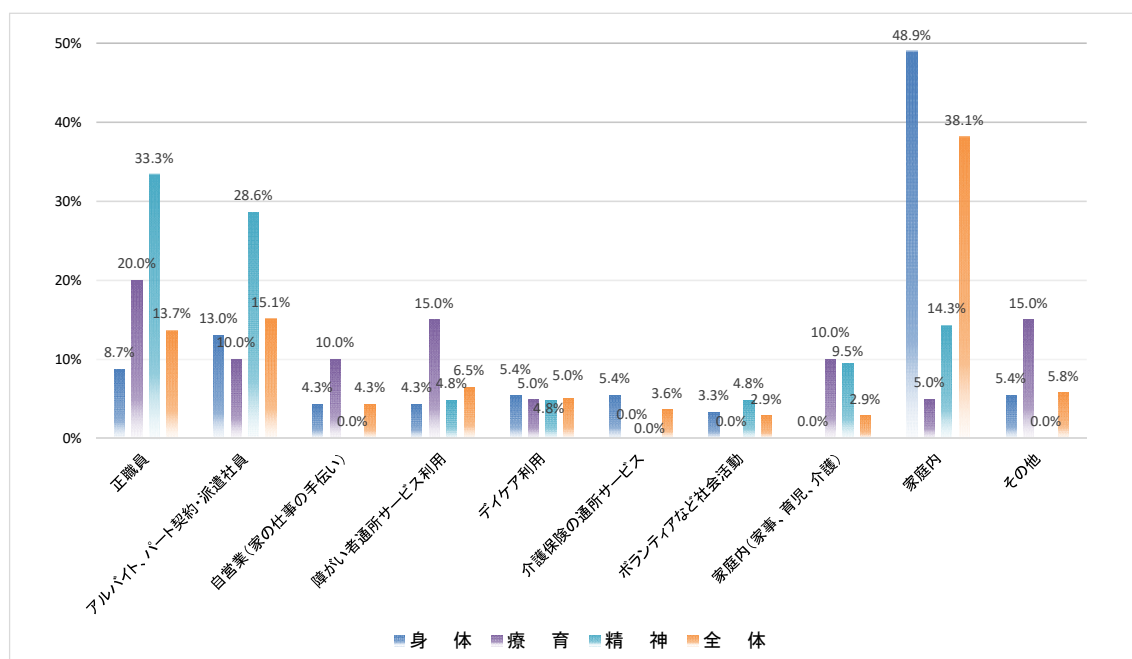
区 分	回答数	構成比
正職員	19	13.7%
アルバイト、パート契約・派遣社員	21	15.1%
自営業（家の仕事の手伝い）	6	4.3%
障がい者通所サービス利用	9	6.5%
デイケア利用	7	5.0%
介護保険の通所サービス	5	3.6%
学校	3	2.2%
保育園、幼稚園	0	0.0%
発達支援、サービスの通園施設	0	0.0%
ボランティアなど社会活動	4	2.9%
家庭内（家事、育児、介護）	4	2.9%
家庭内	53	38.1%
その他	8	5.8%
計	139	100.0%

全 体



(複数回答)

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
正職員	8	8.7%	4	20.0%	7	33.3%	19	13.7%
アルバイト、パート契約・派遣社員	12	13.0%	2	10.0%	6	28.6%	21	15.1%
自営業（家の仕事の手伝い）	4	4.3%	2	10.0%	0	0.0%	6	4.3%
障がい者通所サービス利用	4	4.3%	3	15.0%	1	4.8%	9	6.5%
デイケア利用	5	5.4%	1	5.0%	1	4.8%	7	5.0%
介護保険の通所サービス	5	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.6%
学校	1	1.1%	2	10.0%	0	0.0%	3	2.2%
保育園、幼稚園	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
発達支援、ティーンズの通園施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ボランティアなど社会活動	3	3.3%	0	0.0%	1	4.8%	4	2.9%
家庭内（家事、育児、介護）	0	0.0%	2	10.0%	2	9.5%	4	2.9%
家庭内	45	48.9%	1	5.0%	3	14.3%	53	38.1%
その他	5	5.4%	3	15.0%	0	0.0%	8	5.8%
計	92	100.0%	20	100.0%	21	100.0%	139	100.0%



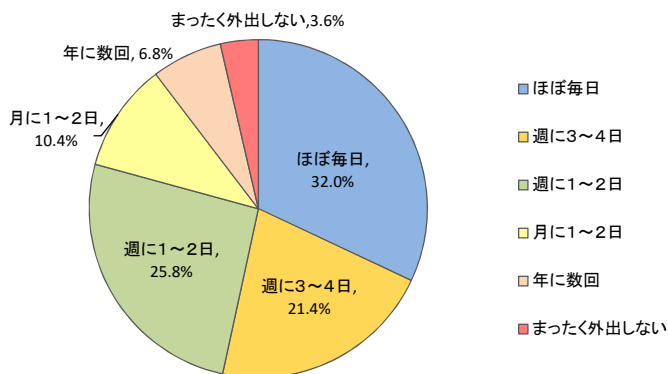
問22 その他の記載内容

- 家族（兄）の手伝い
- 地域の集まりに参加したい
- ショートステイ・施設入所
- 旅行など行きたい
- 家庭菜園などを楽しみたい
- 認知症なので何もしていない
- 何をしたいのかわからない・不明（2名）
- 今の仕事（パート）は来年で退職

問23 普段、どの程度外出しますか。

外出については、約3割の方がほぼ毎日外出しています。週に1日以上の方まで含めると、8割近くの方が外出をしています。一方でまったく外出をしない方と年に数回の方を合わせると約1割の方がほとんど外出をしていない状況となっています。

全 体



区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ほぼ毎日	98	29.5%	30	36.6%	29	37.2%	151	32.0%
週に3～4日	63	19.0%	14	17.1%	22	28.2%	101	21.4%
週に1～2日	94	28.3%	13	15.9%	17	21.8%	122	25.8%
月に1～2日	37	11.1%	12	14.6%	5	6.4%	49	10.4%
年に数回	26	7.8%	10	12.2%	3	3.8%	32	6.8%
まったく外出しない	14	4.2%	3	3.7%	2	2.6%	17	3.6%
無回答	38		8		6		48	
計	370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%

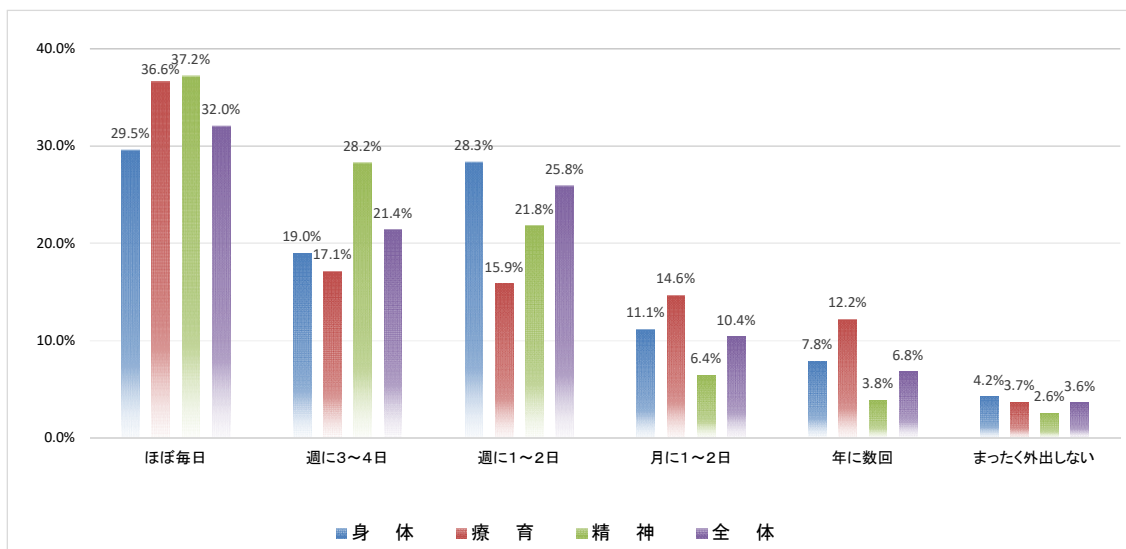
回答者数
(合計－無回答)

332

82

78

472



問24 外出する時に利用する乗り物は何ですか。

外出の時に利用する乗り物については、全体で約6割の方が自家用車の利用で外出しています。タクシー、福祉タクシーを合わせると、約1割の方が利用していますが、乗り物をほとんど利用していない方も約1割いる状況となっています。

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
バス	18	5.4%	5	6.3%	5	6.3%	25	5.3%
J R（鉄道）	1	0.3%	3	3.8%	3	3.8%	6	1.3%
自家用車	200	59.7%	27	34.2%	46	58.2%	273	57.8%
自転車	15	4.5%	8	10.1%	5	6.3%	29	6.1%
タクシー	48	14.3%	4	5.1%	5	6.3%	53	11.2%
福祉タクシー	8	2.4%	1	1.3%	0	0.0%	9	1.9%
乗り物はほとんど利用しない	10	3.0%	4	5.1%	11	13.9%	53	11.2%
その他	35	10.4%	27	34.2%	4	5.1%	24	5.1%
無回答	35		11		5		48	
計	370	100.0%	90	100.0%	84	100.0%	520	100.0%

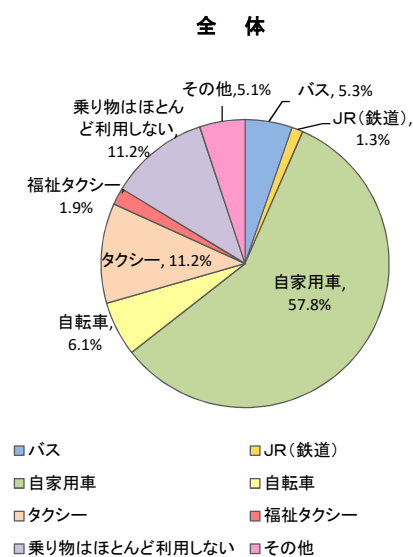
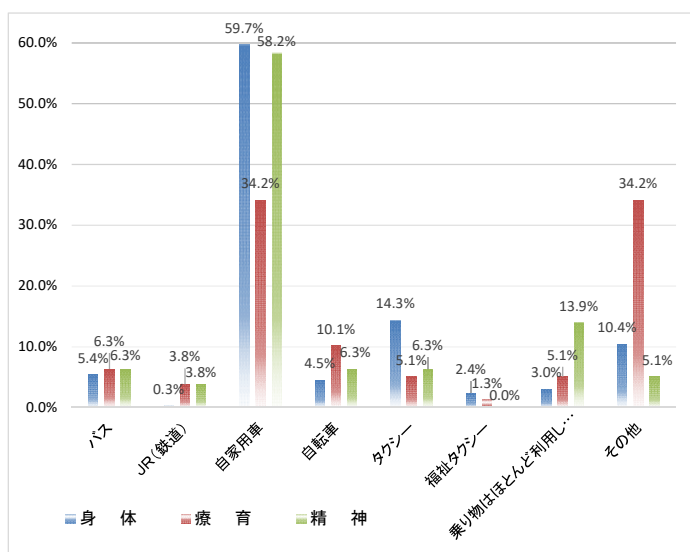
回答者数
(合計－無回答)

335

79

79

472



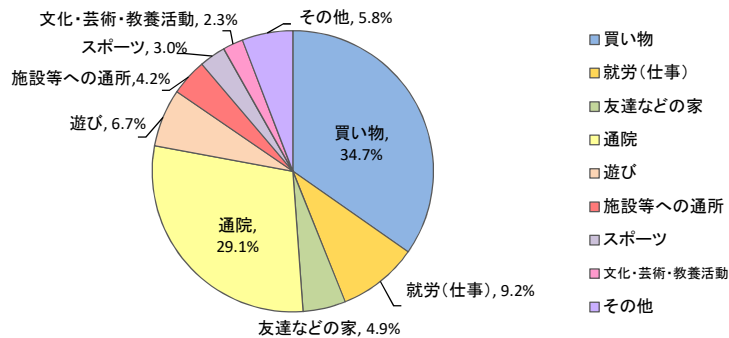
問24 その他の記載内容

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○ 障がい施設の車（23名） | ○ 介護施設の車（2名） |
| ○ 障がい通所サービスの車（2名） | ○ デイサービス（2名） |
| ○ 移動支援（3名） | ○ 地下鉄（1名） |
| ○ グループホームの車（2名） | ○ 車いす（1名） |
| ○ 家族の車（7名） | ○ 外出しない・できない（3名） |

問25 外出するときの目的はなんですか？

外出の目的は、通院と買い物がそれぞれ3割近くを占めています。
そのほかは遊びや就労、友だちの家、施設等への通所などとなっています。

全 体



(複数回答)

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
買い物	200	33.8%	44	31.0%	60	38.0%	297	34.7%
就労(仕事)	40	6.8%	22	15.5%	19	12.0%	79	9.2%
友達などの家	35	5.9%	4	2.8%	3	1.9%	42	4.9%
通院	189	31.9%	27	19.0%	48	30.4%	249	29.1%
遊び	33	5.6%	15	10.6%	8	5.1%	57	6.7%
施設等への通所	20	3.4%	15	10.6%	6	3.8%	36	4.2%
スポーツ	21	3.5%	1	0.7%	3	1.9%	26	3.0%
文化・芸術・教養活動	14	2.4%	1	0.7%	5	3.2%	20	2.3%
その他	40	6.8%	13	9.2%	6	3.8%	50	5.8%
無回答	37		8		5		49	
計	629	100.0%	150	100.0%	163	100.0%	905	100.0%

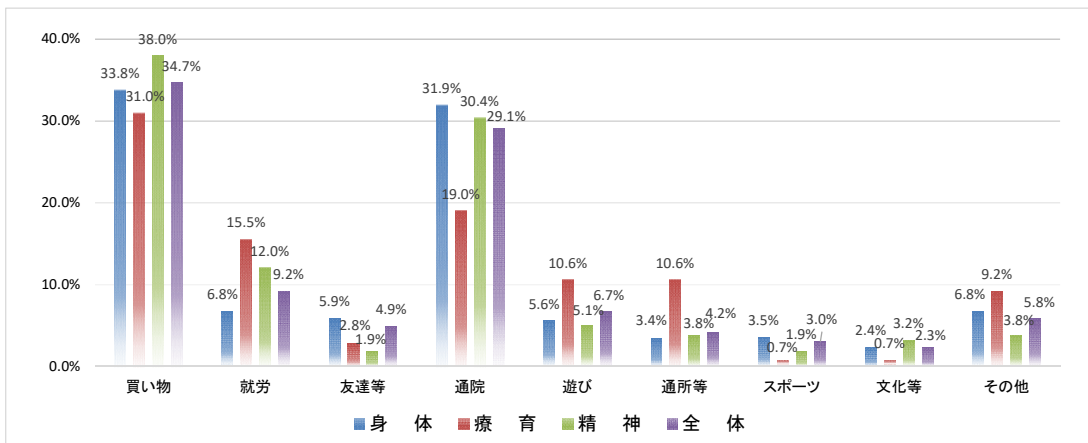
回答者数
(合計－無回答)

592

142

158

856



問25 その他の記載内容

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ○ 散歩・ウォーキング(8名) | ○ 理髪店(カット) |
| ○ 気はらし・気分転換(2名) | ○ デイサービス(2名) |
| ○ 実家へ行く・親の介護(2名) | ○ ボランティア(4名) |
| ○ 施設の行事(15名) | ○ 学校・通学(4名) |
| ○ デイサービス(2名) | ○ 銀行(金融機関) |
| ○ 家族の送迎(3名) | ○ お風呂 ○ 食事 ○ 会議 |

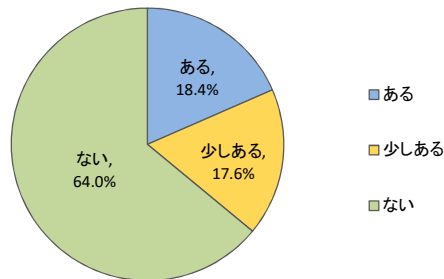
4 権利擁護・相談について

問26 障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。

「ない」と、回答した方が6割以上を占めますが、「ある」・「少しある」と回答した方も合わせて4割近くいました。

区 分	回答数	構成比
ある	83	18.4%
少しある	79	17.6%
ない	288	64.0%
無回答	70	
計	520	100.0%

回答者数 450
(合計－無回答)



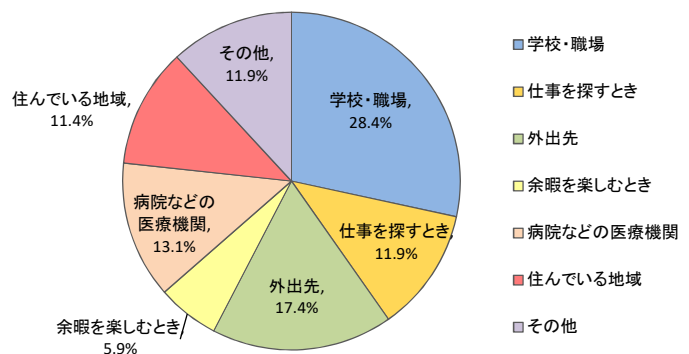
問27 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。

学校・職場で差別や嫌な思いをした方が約3割で最も多く、次いで外出先・病院などの医療機関となっています。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
学校・職場	67	28.4%
仕事を探すとき	28	11.9%
外出先	41	17.4%
余暇を楽しむとき	14	5.9%
病院などの医療機関	31	13.1%
住んでいる地域	27	11.4%
その他	28	11.9%
無回答	335	
計	571	100.0%

回答者数 236
(合計－無回答)



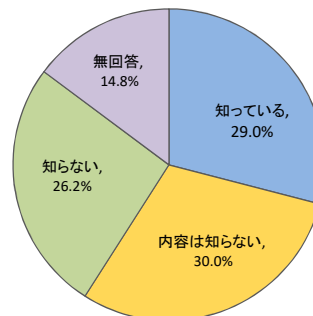
問27 その他の記載内容

- グループホーム
- 家族・知人（2名）
- 会話が難しいとき
- 会話が理解されないとき
- 相談しても理解が得られないとき
- 無視されたとき
- 近所からいやがらせを受けたとき
- 自分の頭の中で聞こえてくる
- いやな思いをした事がない
- わからない

問28 成年後見人制度についてご存じですか。

制度の「名前・内容を知っている」と答えた方が、約3割となっています。
「名前を聞いたことはあるが内容は知らない」、「名前も内容も知らない」という方を合わせると6割近くになっています。

区 分	回答数	構成比
名前も内容も知っている	151	29.0%
名前を聞いたことがあるが内容は知らない	156	30.0%
名前も内容も知らない	136	26.2%
無回答	77	14.8%
計	520	100.0%

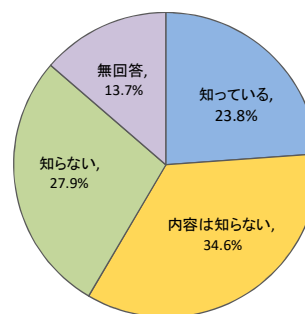


■ 知っている ■ 内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

問29 障がい者虐待防止法についてご存じですか。

制度の「名前・内容を知っている」と答えた方が約2割に留まっています。
「名前を聞いたことはあるが内容は知らない」、「名前も内容も知らない」という方を合わせると約6割になっています。

区 分	回答数	構成比
名前も内容も知っている	124	23.8%
名前を聞いたことがあるが内容は知らない	180	34.6%
名前も内容も知らない	145	27.9%
無回答	71	13.7%
計	520	100.0%



■ 知っている ■ 内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

問30 障がいや生活の相談先はどちらですか。

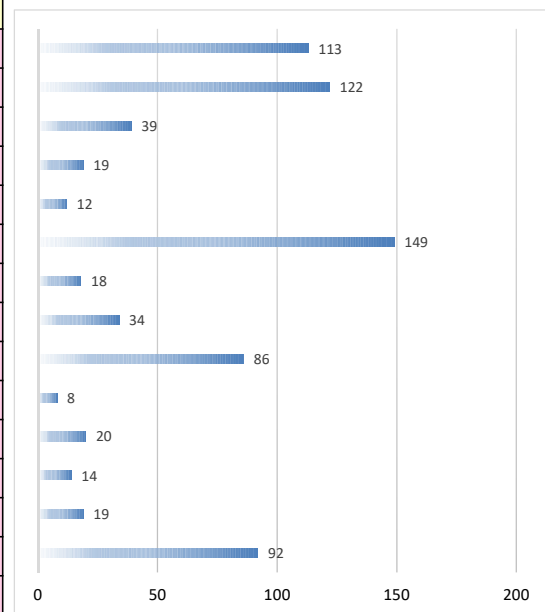
障がいや生活の相談先は、家族や親せきが約2割と最も多く、次いで地域包括支援センターやケアマネジャー、役場、医師・看護師などの医療関係者となっています。

相談相手はいない、相談先がわからないと回答した方が、あわせて約5%となっており、誰もが困りごとの相談ができるように取り組みを進めていく必要があります。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
役場の窓口	113	15.2%
地域包括支援センター（ケアマネジャー）	122	16.4%
ヘルパー等のサービス事業所	39	5.2%
社会福祉協議会	19	2.6%
民生委員、各種相談員	12	1.6%
家族や親せき	149	20.0%
障がい者福祉団体	18	2.4%
友人、知人	34	4.6%
医師、看護師等医療関係者	86	11.5%
ボランティア	8	1.1%
相談相手はいない	20	2.7%
相談先がわからない	14	1.9%
その他	19	2.6%
無回答	92	12.3%
計	745	100.0%

全 体



(複数回答)

区 分	身 体		療 育		精 神		全 体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
役場の窓口	90	20.2%	9	8.0%	18	13.8%	113	17.3%
地域包括支援センター（ケアマネジャー）	85	19.1%	20	17.7%	20	15.4%	122	18.7%
ヘルパー等のサービス事業所	18	4.0%	19	16.8%	5	3.8%	39	6.0%
社会福祉協議会	13	2.9%	1	0.9%	4	3.1%	19	2.9%
民生委員、各種相談員	6	1.3%	3	2.7%	4	3.1%	12	1.8%
家族や親せき	107	24.0%	19	16.8%	26	20.0%	149	22.8%
障がい者福祉団体	8	1.8%	10	8.8%	6	4.6%	18	2.8%
友人、知人	25	5.6%	6	5.3%	6	4.6%	34	5.2%
医師、看護師等医療関係者	54	12.1%	11	9.7%	26	20.0%	86	13.2%
ボランティア	8	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.2%
相談相手はいない	11	2.5%	3	2.7%	6	4.6%	20	3.1%
相談先がわからない	9	2.0%	4	3.5%	4	3.1%	14	2.1%
その他	11	2.5%	8	7.1%	5	3.8%	19	2.9%
無回答	75		16		7		92	
計	520	100.0%	129	100.0%	137	100.0%	745	100.0%

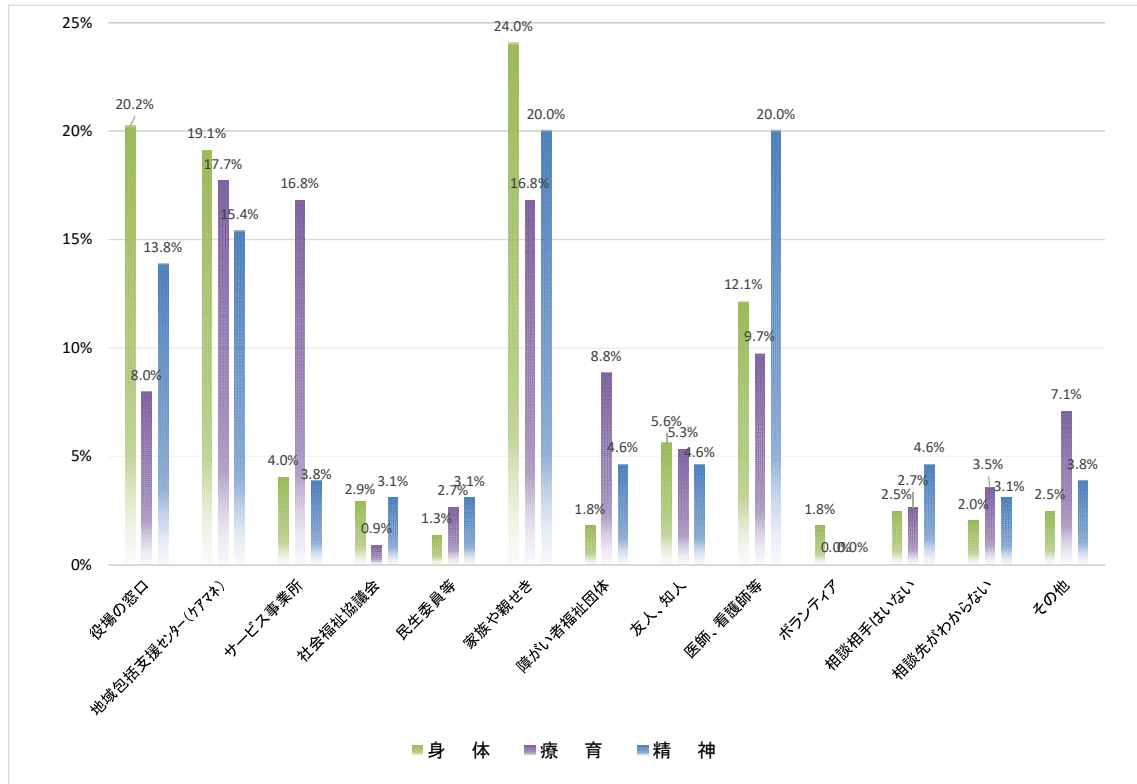
回答者数
(合計－無回答)

445

113

130

653



問30 その他の記載内容

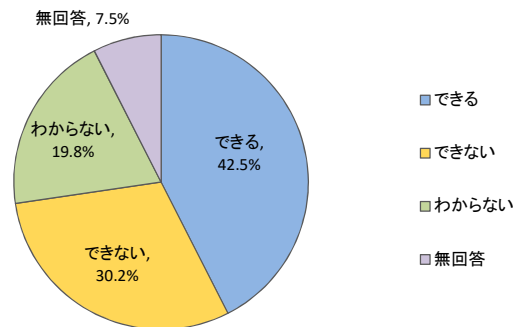
- ☐ していない、したことかない（3名）
- ☐ 学校に行ってた時の先生
- ☐ 仕事場の職員（2名）
- ☐ 施設の職員（2名）
- ☐ 職場の同僚
- ☐ 職場の上司
- ☐ 病院
- ☐ 保健師
- ☐ ケースワーカー
- ☐ 老人ホームのケアマネージャー

5 災害時の避難等について

問31 火事や地震等の災害時に1人で避難できますか。

全体の4割超の方ができると回答されました。
できないという方が約3割、わからないという方が約2割と合せて全体の半数となっています。
日常から災害時に必要な支援を調整しておく必要があります。

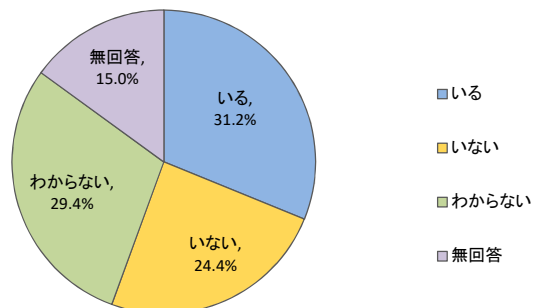
区 分	回答数	構成比
できる	221	42.5%
できない	157	30.2%
わからない	103	19.8%
無回答	39	7.5%
計	520	100.0%



問32 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けしてくれる人はいますか

全体の3割超の方が助けしてくれる人がいると回答されました。
いないという方が2割超、わからないという方が約3割と合せて全体の半数超となっています。

区 分	回答数	構成比
いる	162	31.2%
いない	127	24.4%
わからない	153	29.4%
無回答	78	15.0%
計	520	100.0%



問33 火事や水害、地震等の災害時に困ることは何ですか。

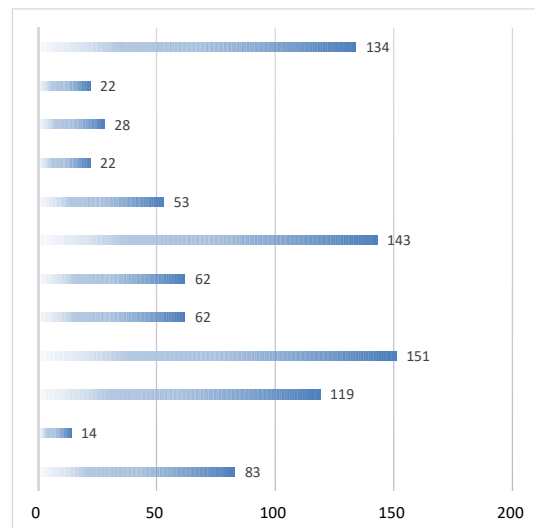
避難場所の設備や生活環境が不安と回答された方が約17%と最も多く、次いで安全なところまで迅速に避難できないが約16%、投薬治療が受けられないが約15%となっています。全体で約6割の方が困ることがあると回答しています。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
投薬治療が受けられない	134	15.0%
補装具の使用が困難	22	2.5%
日常使用の医療機器の使用が困難	28	3.1%
補装具や日常生活用具の入手ができない	22	2.5%
救助を求めることができない	53	5.9%
安全なところまで迅速に避難できない	143	16.0%
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	62	6.9%
周囲とコミュニケーションがとれない	62	6.9%
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	151	16.9%
特になし	119	13.3%
その他	14	1.6%
無回答	83	9.3%
計	893	100.0%
困ることがあると答えた方(実人数)	318	61.2%
特になし+無回答	202	38.8%

対象者数

520



問33 その他の記載内容

- ☐ 移動手段がない
- ☐ 障がいにより歩行不可
- ☐ 歩くのが不自由、夫も高齢なので
- ☐ 荷物が持てないこと
- ☐ 困ったことや思いを伝えられない
- ☐ 体調が不安定で発作が起こりやすく、避難所利用は困難
- ☐ 食事(ごはん)
- ☐ 全て
- ☐ わからない(2名)

6 自由意見

問34 障がい福祉に対するご意見・ご要望・ご質問など。

区 分	回答数	構成比
記述有り	141	27.1%
無回答	379	72.9%
計	520	100.0%

現在の生活状況や将来に対する不安など、様々なご意見がありました。

【福祉サービス利用等】

- 障がい者に思いやりのある福祉計画策定作業を進めて下さい。
- 介護5の夫を姉が自宅で介護しています。
通所デイサービスに週2回利用しています。今の病状であれば何とか自宅でお世話できますが、病状が進むと今の状況では困りますが、その時はまた相談していきたいと考えています。
- 就労継続支援（A型）が少ない。北見までは通えない。
- 補聴器の購入について、適切な障害等級の決定及び経費の助成を要望致します。「壊れ物」なので作り直すと、かなりの高額になります。個々の製品は違うものなので、助成があれば大助かりです。
- 養護学校に12年間（小～高等部まで）通っていたのですが、病弱なため中学～週1回だけ寄宿舎を利用していました。
その他は毎日送迎していました。（1日2往復）朝だけでもスクールバスがあれば助かりました。かなり体力的にも負担が多かったです。美幌から行ってる子は多いので美幌の空き教室で分校とかできれば良いのではと思います。
卒業後、美幌町はA型・B型就労が主ですが、どちらも行けなくて（障がいの重さが）生活介護に行ってる人も多いです。美幌には生活介護事業所がないため、他市町に行かなくてはなりません。本当にこれは大きな問題です。
生まれてからずっとここで生活していく中で、毎日町外へ通所するのは大変です。民間に全て任せるのではなく町で急いで取り組んでほしいです。
- 障がい者だけでなくても高齢者になるといつかはいろいろお世話になると思います。
今は2人とも助け合いながら生活しています。まだ運転も出来ています。
いつかはグループホームや老人ホームにお世話になりたいと思っています。
二人で生活出来るうちは頑張りたいし痛い痛いと言いながら、運動の為野菜作りを楽しんでいます。
子供達もはなれていますが週一電話をくれたり、ラインで生活を細かく知らせています。
- グループホームができたらいと思う。好きな人といっしょにくらせたらいいと思う。
- 突然ストーマ（人口膀胱）が付きまして。支援金を頂いています。（6ヶ月7万）
袋が少なくなってしまうお金を手出すのです。あと1万追加して頂けますと大変助かります。
私も命のあるかぎり頑張ります。（年金少ないので）宜しくお願いします。
- 福祉サービスと介護保険のサービスの違いがわからず困りました。
介護保険サービスを使いながら福祉サービスの利用方法はあるのでしょうか？知りたいです。
- 現在の体の状態でも入所できる施設を美幌町に作ってほしい。
- 知らないことで援助を受けていないということのない様に、情報収集したいと思いました。
- 就労継続支援A型の働く場所を増やしてほしいです。就労継続支援から一般企業への就労をする際、相談できる場所はどこですか？
- 認定を受ける前やケアマネさんが見つからなかった時、長期休暇中に困り事が発生し、どこに相談してよいかかわからず、病院や役場等お休みの時相談できる所があれば知りたかったです。
施設から病院へは介護タクシーを利用しています。病院の予約の時間にタクシーが利用できず（往復利用）困ることがあります。
介護タクシーの予約状況がわかるアプリ等があれば病院の診察の時間も指定できるので今後考えて欲しいと思います。

- 障害者のグループホームが足りていない。就労先も足りない状況です。
もっと働く場所をふやさないと、これから学校を卒業しても行き先がなくなります。ほかの市町村にたよっているばかりではなく独自に考えていく事を望みます。
放課後等デイサービスを受け入れてくれているところも建物が古くなってきているので町の支援で安全にすごせるば所を支援してほしいです。
- 障がい者がどのような補助・サービスが受けられるのかを役場まで行き請求しなければもらえない。
「身体障がい者福祉のしおり」「身体障がい者手帳のおもな使い方」
- 今後、介護が必要になった時にサービスが使えるのか不安です。高齢者は増える一方で施設やサービスが増えず、利用したいときに利用できないことが予測されます。
- すぐに入れる施設があれば安心なのですが。年金で入れるところがいいです。
- 水害、地震等の災害時に1人で避難できません。
障がい者のため、病院等の入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに活動の機会を提供する。
能力の向上のために必要な訓練を行う。
- 「福祉ハイヤー利用助成」「通院交通費助成」を利用させてもらっています。
年1〜2回、道央の病院受診ですので助かっています。広報を気にかけて、新たな助成があるのか気にかけています。今後もっと生活上、不便になるかと思うと不安です。役場の窓口が相談しやすい場であってほしいと願います。ありがとうございます。
- ハイヤーのチケット1ヶ月締めではなく、2〜3ヶ月、または1年にして下さい。その月により、利用度の多い時と少ない時がある。
高齢者のスマホの初心者（専門用語）すらわからない人の講習会の機会をもうけてほしいです。
高齢者の体・頭の運動、健康寿命を延ばす講習など自治体単位でもよいからもっと活発に奨励してほしいです。
現在役所で行っているサークルは定員オーバーだという話です。1週間に何日でもいい、1日何時間でもいい、程々の有料でもよいと思います。
デイサービス等でやっている行事より少々高度なこと希望。
- このアンケート用紙の回答シートの字が小さすぎて見えにくく、面倒に感じました。次回からはもっと見えやすく作っていただけたらありがたいです。
私は現在週2回、北見市の半日型デイサービスに通っています。そこでは午前と午後の2部制でマシンを作ってスタッフの方とマンツーマンでリハビリを行っています。美幌町では高齢者向けの1日型のデイサービスはありますが、私は入浴や食事などの支援は必要としていないので、そういう形のデイサービスを利用することは今の所ありません。なので、美幌町でも私が今通所している様なデイサービスを行ってほしいです。
追記：私が通所中のデイサービスは利用したい方が常に40名〜50名待機中です。特に美幌町の枠は限られているので、待機中にどんどん衰えていく方が増えることになるのでは？と感じています。
- 障害の程度で、どこまで支援が受けられるのか不明。携帯で調べて補助等の確認をしている。手帳をもらっても何も説明がない。
- 自立支援医療受給者証を受けていて、〇〇病院の診察費用と薬局の薬の代金が低い値段で済んでいるので十分満足している。他の障害福祉のサービスは知らないことが多いので、わかりやすく紹介してもらえばいいと思っている。
- とにかく働く場所と、特にグループホームを作してほしい。これから10年もしないうちに親が急に見られなくなる家庭がかなりいると思います。そうなると本人が生活していく場所や支援はありません。早々に本人が安心して生活していけるグループホームを作して下さい。
- 病院や通所に行くための交通費の助成は少なすぎる。スロープなどを作るための助成の金額が少ないのと、一生に一度しかつかえないのはおかしい。生まれつきに障害をもっている人は成長とともに色々必要に応じてつかえるようにしてほしい。
町内での生活介護や入所施設があれば良い。オムツの助成も成長などにあわせて金額を考えてほしい。高齢者も障害者も住みよい町であってほしい。もっとヘルパーさんにも色々聞いてみてと良い。何が必要なのかわかると思う。
介護する人が高齢になっていくと自分で子供をみれなくなった時の事が不安の内容にしてほしい。
障害を持っている人が安心して住める町にしてください。
- 自分は人と喋ることが出来ず、電子パッド等で筆談しています。
大学時代にバスで通学した際に、「車内に筆談具あります」という案内を見かけたことがあります。しかし町内で仕事に行く度に、コミュニケーションの対応が不十分に感じるが多々あります。他の所と比べて障がい者に対するコミュニケーションの対応が冷遇で乏しいと見受けられました。この町に入ってきた当初は障がい者に対して理解のある町だと感じていました。障がい者に対する理解を深める為に、しっかりと知見を得ることを促すようにしてほしいです。

- 美幌町はすぐ入りたい時に順番があるとかで入る所がないのが一番困ります。地方で探しても同じです。妻が入院になったとき一人で暮らしていけないのです。これから老人がどれだけ多くなるのか考えておりますか。子供がいても働いているので頼むわけにいかないのが現状です。とにかくすぐ入れる所を何ヶ所か用意してほしいです。全ての住民のために望みます。

【障がいや病状の理解】

- 自分は人と喋ることが出来ず、電子パッド等で筆談しています。大学時代にバスで通学した際に、「車内に筆談具あります」という案内を見かけたことがあります。しかし町内で仕事に行く度に、コミュニケーションの対応が不十分に感じる事が多々あります。他の所と比べて障がい者に対するコミュニケーションの対応が冷遇で乏しいと見受けられました。この町に入ってきた当初は障がい者に対して理解のある町だと感じていました。障がい者に対する理解を深める為に、しっかりと知見を得ることを促すようにしてほしいです。
- 災害時に「食事制限を受けている」私と同じ方は不安です。避難所には栄養士さんが必ずいてほしい。避難所には薬剤師さんも必ずいてほしい。「薬」必要です。行動が遅いことをしっかりと理解してほしい。
- 手術をし、両足は人工関節になり、前よりも悪くなり家の中でもつまづき散歩とか長く歩く事は出来ません。立っただけでも5分ほどでフラフラします。買い物に行っても、途中で店の中で少し休みませんか疲れします。足も痛くなります。家の中の事は主人がやってくれています。私はほとんど寝ている方が多いです。
- 通院中ですが、国保病院内会計窓口診察入口に、銀行窓口や郵便局にある様な受付番号で呼び出すような機能があると、高齢者で耳の悪い人、聴覚障害者などが大変助かるのであると良いと思います。
- 普段、自分が障害者だという自覚がありません。自分の事は自分で出来る状態だからだと思いますが、すごくショックな事が一度ありました。使用したストマが道路に落ちていたのです。ゴミ収集の日でしたが、それ以来ストマや無料で収集する物を出せなくなり、有料で出しています。時代が変化し、障害者のニーズも様々だと思います。対応する人々や自治体の対応が難しくなると思います。住み良い美幌町になっていけばと思います。
- 自閉症と知的障害他を同じ考え、支援は難しい。別々の支援が必要だと思います。困ったとき、聞くことができません。(トイレどこ?もできません) 災害時、避難場所を過ごすのは難しい。人混み騒音等苦手なため、別場所が必要だと思います。
- 自分の場合、不登校から引きこもりへ、その後年を経て精神障害となり、現在はA型の就労支援に通っているのですが、人となじめずにいます。よくしてくれる人はいるのですが、自分からかかわることができずにいます。そうした訓練ができる場や、引きこもり等自助グループなど、あったら参加したい。
- 昨年8月まで働いていたが脳梗塞で仕事を辞め、体が思うように動かなくなり、字も書けなくなった。
- 障害福祉の事業所で働いていたときに責任者の立場の責任者の人が従業員が悩みを抱えて不調な時にその人が精神的な面で通院治療しているかもしれないというのを理由に一切ケアしなかったり、利用者さんが有給をとるということについて「精神の人は障害を自分に都合良くつかっている」などと話したりしているのを聞いて障がい福祉事業所であってもこういった意識なのだなと一時病状が悪化し、退職しました。自分の障害にこういったことを言われることも含めて受け入れるべきかとは思いますが、なかなか再就職にふみきれないでいます。

【健康・医療】

- 自由に歩行訓練ができる場所があったらいいと思います。(冬場は外は歩けないので)
- 現在生活出来ていても、老いることで出来る事が減っていきます。人は今すぐでなくてもいつか弱るのだということ、障がいがあっても生活できる社会を望みます。
- 今の所は自分で自分の事、家事一切出来るので、ただ足が少し悪くなって来ているので買物、通院等は少し不自由に感じて居りますが、まだ自分で出来るのであまり心配はしておりませんがこの先の事は買物、町への用事が大変になるかと思っています。出来るだけ頑張っで自分で出来る事は自分でと考えております。子供たちは道内に居りますが仕事なので心配をかけずにと考えております。今は支援に頼らず出来るだけ自分の力でと考えていますがどうしても無理になればお願いしたい。

- 階段に手すりを付けてもらったんだけど郵便受けにぶつかったりする。いままではなかったのに、ごみ袋とか手をひっかけたりします。
- 昨年の夏頃より病気になり、療育通院、国保に月1回通院しているが改善なく、体重も85kg→60kgに減少。歩行もふらつき目立つ。現在仕事も長期の休み中。本人も状態を説明できず、親も理解に苦しむ。本人も不眠と不安に苦しんでおり親も見るのが辛い。ピーク時から少しずつ改善して来ています。
- 10年間病院に入院してる。時々病院に会いに行く。
- 美幌町に精神科があれば、通院が楽になります。
- 言語聴覚士、理学療法士の増員が必要。
- 誰もが車を運転して、また介助してくれる家族等がいる訳ではないのです。また、身内や家族がいても、皆生活に追われ、年老いていたりするのです。医療が、もう少し患者に寄り添ってくれてもよいのではないのでしょうか。余談にはなりますが、〇〇病院などは、こちらの体調都合で来院が難しい時でも電話対応して頂けて、とても助かり頼りにして居ります。（それから新しく出来た”町内バス”は利用の仕方がわかりません。自治会に入っておらず、広報も届かない場所なので…）
- バス停まで40分ほどかかりますが、歩ける内はバス停から〇〇病院へ「薬」をもらいに行きたいと思っています。
- 手続きをした時、美幌町・北見市内にある病院を紹介してほしい。

【不安解消・情緒安定】

- 役場で多方面にわたり色々な悩み事を聞いてもらいたい。窓口に行きやすくわかりやすくしてもらいたい。
- 聴覚障がいなので警察、消防への連絡、通報にメールが使用できるようになると安心感ができます。電話番号の登録により、一方的に状況を受けていただく事ができると安心感が増します。
- 役場のお知らせメール、利用しています。だいぶ前ですが、有事の時に広報車でお知らせをしていた時があって、あの時は何を伝えたかったのかははっきりと理解できていませんでした。（たしか断水だかのお知らせで、町内に住む知人に連絡をもらったと思います）緊急避難の時も、広報車も大切ですが、聴覚障害である私には視覚でわかる方法もあると大変ありがたいです。
- 精神障害で重篤な状態が昔あり、今も思い出すと気分が悪く、気が狂いそうになります。入浴も自力では大変です。自分の体を洗うのに2時間近くかかります。きれいにはなるのですが…。家事もやっとです。
- 〇〇Dr.ソーシャルワーカーと相談したら町営は緊急れんらく人になってくれる人が1人いれば入ると美幌町役場にかくにんしてくれたので行った時に、全ての職員に伝達しておいてくれるとうれしい。てんかんで転びやすく、先日も茶の間と玄関の間のガラス戸を大きく割った。てんかんで交通手段がないため、役場・〇〇（アルバイト）・スーパーに歩いていける所が良い。ストレスが多く、〇〇〇号棟の前の工場のおとはダメである。

【保育・教育】

- 入所（入院）して、学校に通っています。特に困っている事はありません。
- 子が療育手帳を持っています。自己理解が難しく、知的にもグレーゾーンで勉強がほとんどできていません。子は『自分はふつうだ。障がいなんてない。ちょっと勉強が苦手なだけだ。』と思っている。親から見れば、支援のある高校を選んだ方が良いと思いますが、本人の希望で普通の高校に行きたいとなった時にそのような子でも行けるような高校が近くにあると良いなと思ってしまいます。支援級までいかずともある程度、美高でそのような対応ができるとなれば、入学する子も増えると思うし、実質支援があった方が良いという子が行きやすい学科？があると良いなと思っています。高等養護学校は町外の入寮性なので。

【家族・人間関係】

- 父、母がいなくなったら、不安。父がお金の管理をしているのでいなくなったとき、どうしていいかわからない。父、母が亡くなったとき、妹を呼んだり、親戚を呼ぶなと言っている。一軒家、父の家だが家の中のものなどをどうしていいかわからないし、家もどうしていいかわからない。仏さん、神様もあるのでどう処分していいかわからないです。
- 手帳交付者の一部しか身障協会に入会していない。
協会に入ってもメリットがない。（活動が周知されていない。）身体障害者にあまり力が入ってない。
- 現在聴覚障害4級であり、補聴器を使用中。補聴器は電話には全然効果がなく、電話による会話が成立しないことが多々あります。特に困っているのは役場、病院等からの会話ができず、すぐ役場、病院等に直接行き、内容を聞くことにしている。
- 現在配偶者と2人での生活で不自由はない。問題は、1人になった時点から生活は激変すると思っています。（子供は、同居できる環境にない。）

【家計・経済】

- 高齢になると、どこに行くとしても交通手段が無い。網走、北見の病院に行くとしてもお金がかかる。「もーびー」の台数が増えると助かる。
- 峠の湯を利用しているが、入浴料の半額引き助かります。
- 町よりの補装具に対してのお金に対して大変助けられています。使う用具が色々あり年間にすると数万円になり、自分の払いとなります。これに対して全額支給があればと思うことがあります。
また、薬も大量に飲んでるので1割です。大変です。
福祉も色々あり助かりますが、年金で入れる所がありません。先のこと考えると不安しかありません。
- 働けなくなった時の収入が少ないので老後生活していけるか不安。
- 現在私は、親と同居していますが、もし、親がいなくなるとすると生活等が困難になると思います。そのときはどうなるのかかわります。
私は現在療育手帳を持っていますが、これを交付されて来年の6月で10年になります。
学校を卒業し、社会人になり、会社勤めをしていましたが、どの会社でも長く勤めることができずに退職することが多かったように思います。その理由というのは他人から比べて仕事が覚えがわるいということが理由でした。私自身も他人から比べて、仕事が覚えられないのに変に思っていました。
ある病院を受診しましたところ、発達障害と知的障害があると診断されました。自分が覚えが悪いという理由がやっとわかりました。現在は、新聞配達をしています。この仕事の方が私には適していると思っています。
- 給料を上げて欲しい。障害者が普段から気軽に相談できる所を増やして欲しい。
- 通院交通費の金額を上げてほしい。

【就労】

- 現住所美幌町にいて就活してますが、障害者の募集が無く、乏しい。
ハローワークに相談して、アドバイスや今後の仕事募集を随時把握しつつ北見や網走にも幅を広げて探して見る予定。
総合的に今のコンテンツを最大限に活かし、自分に合った生活や衣食住に努めたい。
- 体は不自由だが頭もしっかりしているのに働けない状況の人はたくさんいると思いますが、障害者がなにかの資格取得、職業訓練がもっとたくさんあれば選択の余地が出てくるので増やしてほしいです。
- 賃金の上限を増額してほしい。

【権利擁護】

- 性別の部分LGBTの方々に配慮が足りない。
- 見た目では分らない障がい者に対しても、クローバーマークのバッジかバッグ等にさげられる物を作って欲しいです。

【その他】

- なに書いていいのかわかりません。人だって誰かいる、きのうよりもいい関係が出来てくれると信じてる。ただ今はのうがいたくて、そして一人で生活していてさみしい。だけれどいいことがなにかできてくる、ある。
前向きにはなれないことも私、私をおうえんしてくれる人がいっぱいいるって思うこと、そしたらさみしくない。
ここを引っ越したほうがいいのか。どんなことでも心のもちかたひとつでよくなる。
- まだ本人に障害の告知をしていないので、今後本人あてに障害のアンケート等を送らないでいただけると助かります。
- 公営住宅の1人あたりの畑の面積をふやしてほしい。
- スーパーマーケットの障がい者用の駐車場にすぐ停まれない。
- 今のままで良いです。
- バリアフリーのたてものをふやしてほしい。かいごタクシーをふやしてほしい。いどうしえんしせつをふやしてほしい。
- 今現在元気なので障がい福祉に対する要望・質問はないが、今後は色々なものを利用したいと思っています。
- 道路から家までの除雪が心配。
- 町内バスののり方が変わってからよくわからなくて不べんになりました。
- 今のところ普通に日常生活ができますが、障害があらわれた場合は、協力の方よろしくお願いします。
- 現状で回答した。しかし加齢と共に変化していくものである。
妻も病弱で今後が心配である。極力二人で迷惑をかけず生活したいと考えている。
- 支援センターで勉強会に参加できたらいいなあと思います。
- 住民税が少し高いなと感じています。6,000円って薬代にもなるし、検査代にもなります。毎月って考えると生活もあるので少し厳しく思えました。
気楽な相談チャットなど、小さなことから少しでも相談できるものが少しでも有るといいなって思います。少し疑問に思った事など、メッセージを送信できるといいなとうれしく思います。
障害をもっていると言うだけで、生きづらい事も沢山ありました。今でも有ります。
”障害”は色々な種類が有ります。一つ一つの障害の区分にもう少し合わせた、生活力に合わせた地域であつたらもっと色々な人達が住みやすくなると思います。
とても難しい事ではありますが、これからもよろしくお願い致します。
- このまま安心して暮らしたい。元気でがんばりたい。
- 冬の雪の多い時、片手しか使えない私には屋根は出来ず、毎年自費でたのんでましたが、とても残念です。
- 銀行・郵便局に杖ヘルパーをつけてほしい。（役場などにはつけてあってとてもたすかっています。）
- みんなにたすけてもらい、あんしんしてくらしたいです。
- はたらきたい。べつのしせつでくらしたい。うちにかえりたい。
- アンケートも今後続けて下さい。これからも障害者がふえると思いますのでがんばって下さい。
- 意見を言っても、要望を出しても聞いてくれない。やってくれない。規則だから！
残念でなりません。期待をすればするほど、裏切られる。もう、何も望みません。国も、道も、町も！
期待はしません。

- アンケートの内容が難しすぎるので、障害者1人では答えられないと思います。質問の仕方をもっとわかりやすくして欲しいと考えます。解答欄の字が小さすぎて書きにくいと思います。聞き取りして頂き、感謝申し上げます。支援はしっかりなされていると思います。今後ともよろしくお願ひします。
福祉サービスについてのしつものいみが難しかった。
- 避難先の医療用具（ベッド・補助具等）寝たきりで、普通のベッドでは生活できない（じょくそうできる為）
- このアンケート自体、答え方がわからない。はじめに説明を受けてからだと答えやすいと思う。言葉の意味が難しい。自分には合わない。マークシートの字が小さい。障がいがなくともわかりづらい。サービス利用者ではなく、サービス提供事業所にアンケートすべき内容ではないか？
- 最近ですが、名前ばかりのボランティアしていました。
だんだんと聴覚が悪くなっていますが、明和大学の仲間はいつも助けてくれます。助けてくれる人に感謝して、人の優しさに感謝して生きて行きたいと思っています。
- 申し訳ないが、「障がい福祉計画」の存在を知らませんでした。7期策定後しっかり周知されることを期待します。
- 記入用紙の記入マークが小さすぎて書きにくかった。複数えらんでよいのかわからず迷うことが多々あった。「知っていたが、利用していない」の意味がつかみづらかった。
- 問の利用区分が理解できない。業界用語が多く分りにくい。
- 町が障がい者に対し、把握して、今後色んなサービスが出てくるかもしれませんが、まずこのアンケートの回答シートの文字の小ささはとても読みづらく、内容についても難しい質問が多かったように思います。（特に福祉サービスについて）
私は精神障害者2級ですが、バスは半額にならないし、あまりメリットが少ないように思います。
- 家族が代理記入しております。今回の調査の回答ですが、回答シートが見ずらい、文字が細かすぎることから視覚障害等お持ちの方には協力することも難しいアンケート調査と思う人が多いと感じましたので、お伝えいたします。
- 「字が小さく見えづらい。」「回答欄が小さく書きづらい。」等、同様の意見が13件ありました。
- 「よりよい生活が送れるよう、これからも支援の程よろしくお願ひします。」「とても感謝しております。」等、同様の意見が8件ありました。
- 「特にありません。」「要望等はありません。」等、同様の意見が21件ありました。

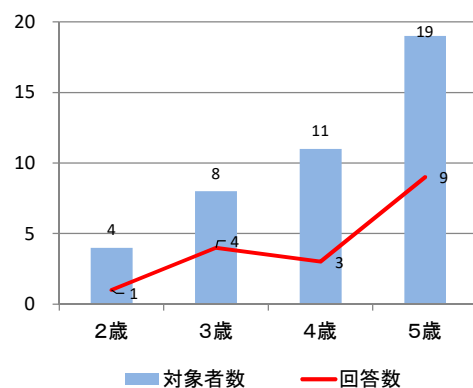
Ⅱ 美幌町子ども発達支援センター通所児童対象 アンケート調査結果について

- 1 アンケート実施期間 令和5年10月18日～令和5年10月31日
- 2 アンケート対象者 令和5年9月に美幌町子ども発達支援センターに通所しているお子さんの保護者（42名）
- 3 アンケート回収率 40.5%（17名）

アンケート調査回収状況

令和5年10月31日現在

区 分	対象者数	回答数	回答率
1 歳	0	0	-
2 歳	4	1	25.0%
3 歳	8	4	50.0%
4 歳	11	3	27.3%
5 歳	19	9	47.4%
6 歳	0	0	-
合 計（実人数）	42	17	40.5%

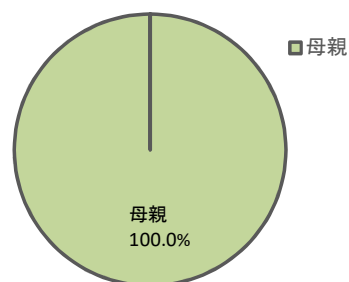


アンケート調査の回答率は、全体で4割、年齢別では2歳と4歳が3割弱、3歳と5歳は5割程度の方にご回答いただきました。

問1 お答えいただくのはどなたですか

回答いただいた方は、全員が母親となっています。

区 分	回答数	構成比
母親	17	100.0%
父親	0	-
祖父母	0	-
その他	0	-
無回答	0	-
計	17	100.0%

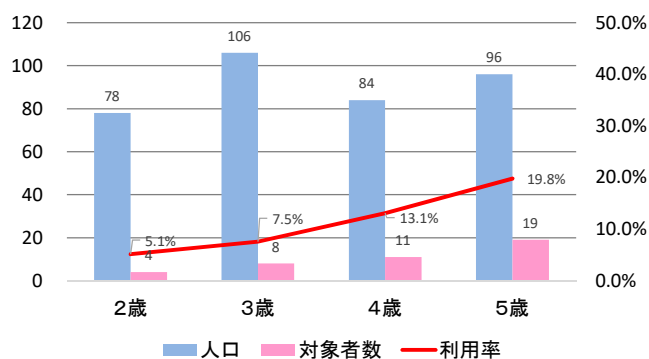


問2 今年^{ことし}の4月1日^{がつ にちげんざい}現在^こ、お子さん^{なんさい}は何歳でしたか

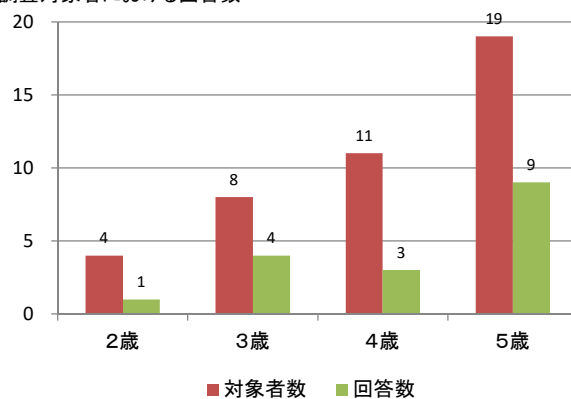
町内の2歳から5歳の人口の1割～2割のお子さんが子ども発達支援センターを利用しており、特に4歳、5歳のお子さんが多く利用されています。

区 分	人口	対象者数	回答数	利用率	構成比
2 歳	78	4	1	5.1%	5.9%
3 歳	106	8	4	7.5%	23.5%
4 歳	84	11	3	13.1%	17.7%
5 歳	96	19	9	19.8%	52.9%
計	364	42	17	11.5%	100.0%

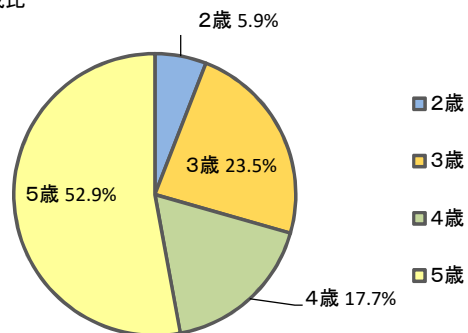
町内の年齢別人口に対する対象者の利用率



調査対象者における回答数



回答者の年齢構成比

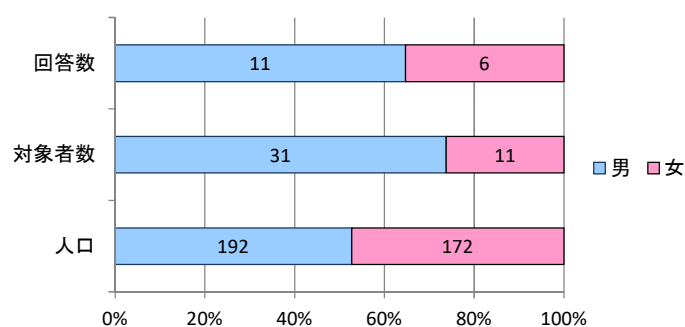


問3 お子さんの性別を教えてください

町内の2歳から5歳の男女の割合は男の子が多く、また、利用している男女別の割合についても男の子が多い傾向となっています。

(人口は2歳から5歳の人口で算出)

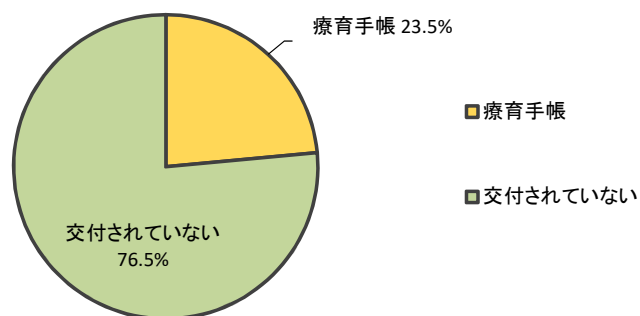
区 分	人口	対象者数	回答数	回答率	構成比
男	192	31	11	35.5%	26.2%
女	172	11	6	54.5%	14.3%
無回答	0	0	25	0.0%	59.5%
計	364	42	42	100.0%	100.0%



問4 交付されている手帳はありますか

回答された方のうち手帳を持っている割合は約2割となっており、交付されていない方が多いことがわかります。

区 分	回答数	構成比
身体障害者手帳	0	0.0%
療育手帳	4	23.5%
交付されていない	13	76.5%
計	17	100.0%

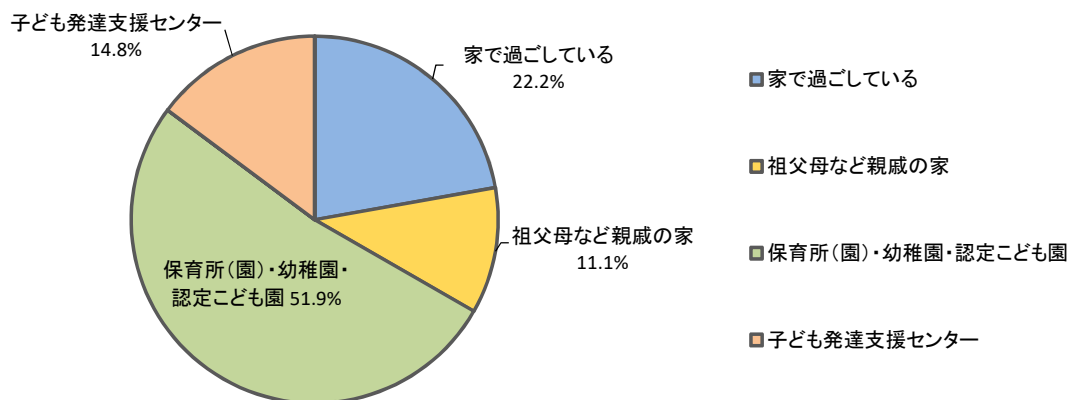


問5 お子さんは、平日の日中をどこで過ごしていますか

保育所（園）、幼稚園、認定こども園に通われている方が多数でした。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
家で過ごしている	6	22.2%
祖父母など親戚の家	3	11.1%
保育所(園)・幼稚園・認定こども園	14	51.9%
未就園児クラス	0	0.0%
子ども発達支援センター	4	14.8%
子育て支援センターなどの福祉施設	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

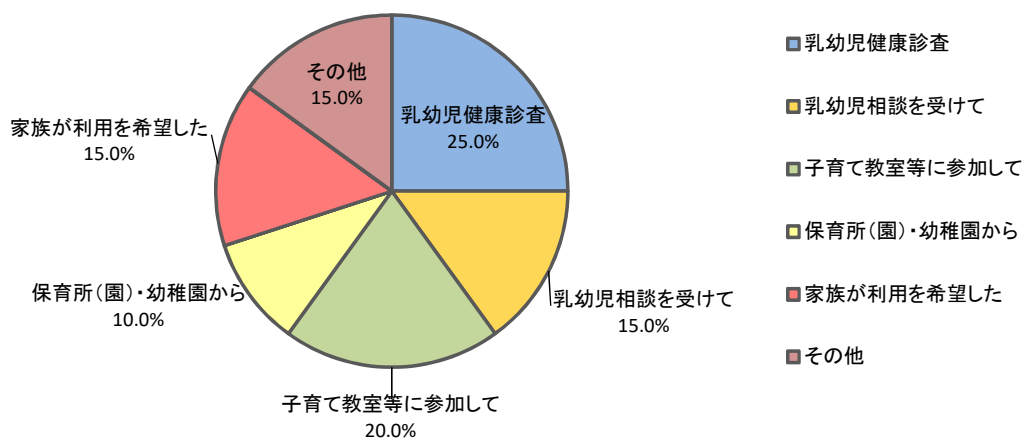


問6 子ども発達支援センターを利用することになったきっかけは何ですか

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
乳幼児健康診査	5	25.0%
乳幼児相談を受けて	3	15.0%
子育て教室等に参加して	4	20.0%
保育所(園)・幼稚園から	2	10.0%
医療機関の診察を受けて	0	0.0%
家族が利用を希望した	3	15.0%
知人から話があった	0	0.0%
その他	3	15.0%
無回答	0	0.0%
計	20	100.0%

乳幼児健康診査を受けての割合が高く約3割、次いで子育て教室や乳幼児相談、家族が利用を希望したが2割程度となっています。

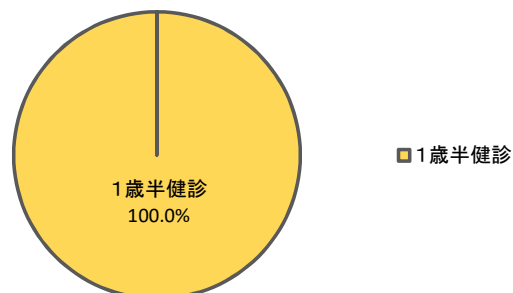


問6 その他の記載内容

- ニコニコキッズ教室
- 姉も通っていたから

問6-2 きっかけとなった乳幼児健康診査時期

区 分	回答数	構成比
10ヶ月健診	0	0.0%
1歳半健診	1	20.0%
3歳児健診	0	0.0%
無回答	4	80.0%
計	5	100.0%

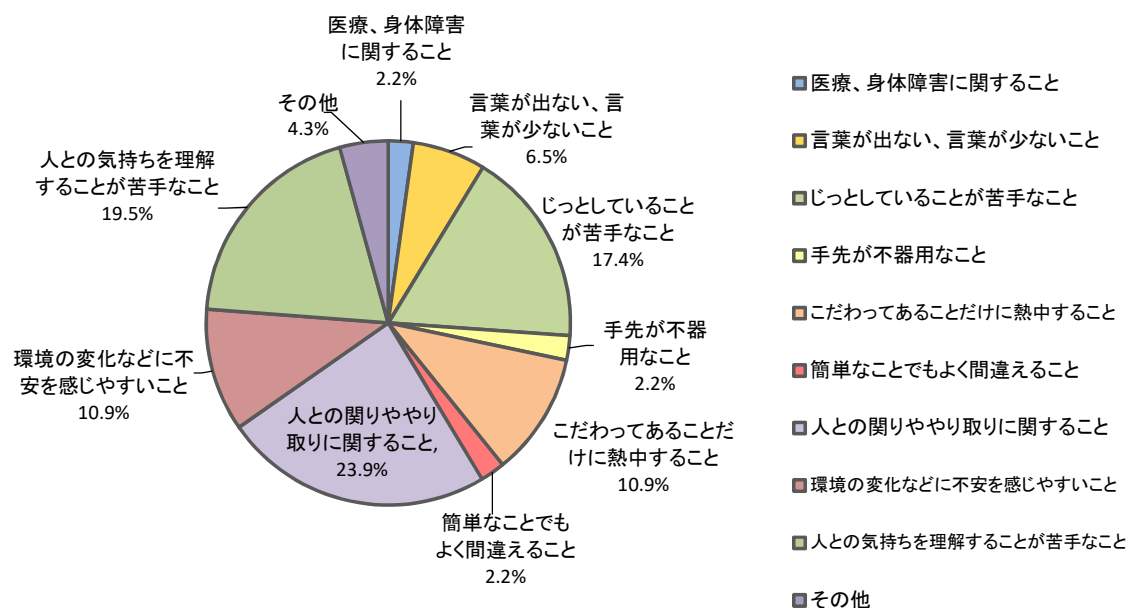


問7 発達・発達についてどのようなことが気になりますか

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
医療、身体障害に関すること	1	2.2%
言葉が出ない、言葉が少ないこと	3	6.5%
じっとしていることが苦手なこと	8	17.4%
手先が不器用なこと	1	2.2%
こだわってあることだけに熱中すること	5	10.9%
簡単なことでもよく間違えること	1	2.2%
人との関りややり取りに関すること	11	23.9%
環境の変化などに不安を感じやすいこと	5	10.9%
人との気持ちを理解することが苦手なこと	9	19.5%
その他	2	4.3%
特になし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	46	100.0%

人との関りややり取り、人の気持ちを理解することやじっとしていることが苦手、環境の変化などに不安を感じやすいことなどが気になるなど、困り感があることで発達支援センターを利用されていることがうかがえます。



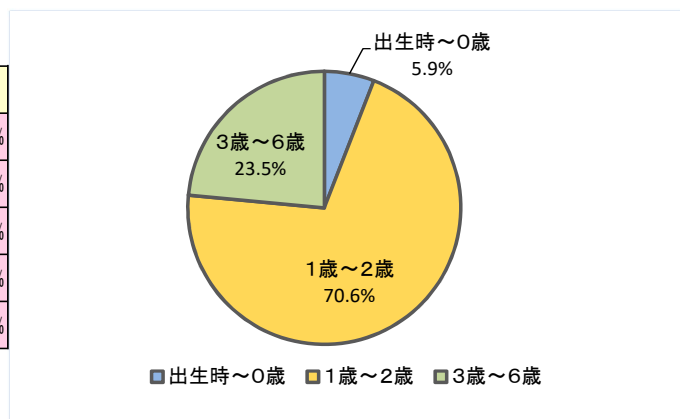
問7 その他の記載内容

- 無視や人見知り

問8 お子さんが何歳の時に初めて気になりましたか

お子さんの発育・発達について気になった時期は、約7割の方が1歳～2歳と回答されています。

区 分	回答数	構成比
出生時～0歳	1	5.9%
1歳～2歳	12	70.6%
3歳～6歳	4	23.5%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%

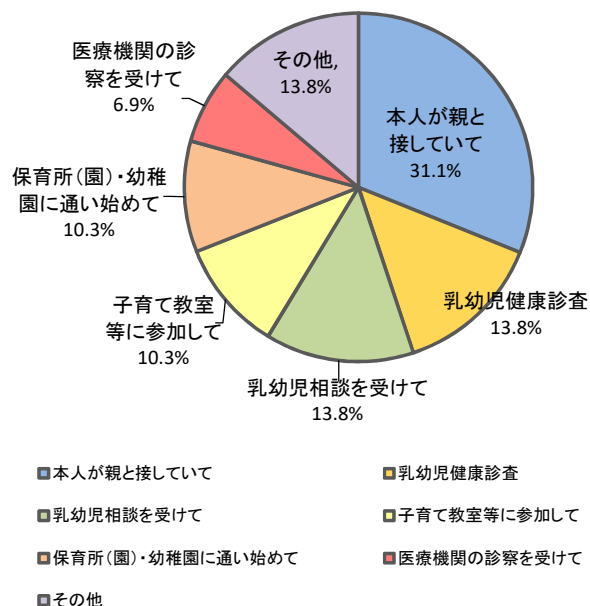


問9 気づいたきっかけは何ですか

約3割の方が本人が親と接していて気付いたとの回答であり、身近に接している方が気付くことが多いことがわかります。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
本人が親と接していて	9	31.1%
乳幼児健康診査	4	13.8%
乳幼児相談を受けて	4	13.8%
子育て教室等に参加して	3	10.3%
保育所(園)・幼稚園に通い始めて	3	10.3%
医療機関の診察を受けて	2	6.9%
その他	4	13.8%
無回答	0	0.0%
計	29	100.0%



問9 その他の記載内容

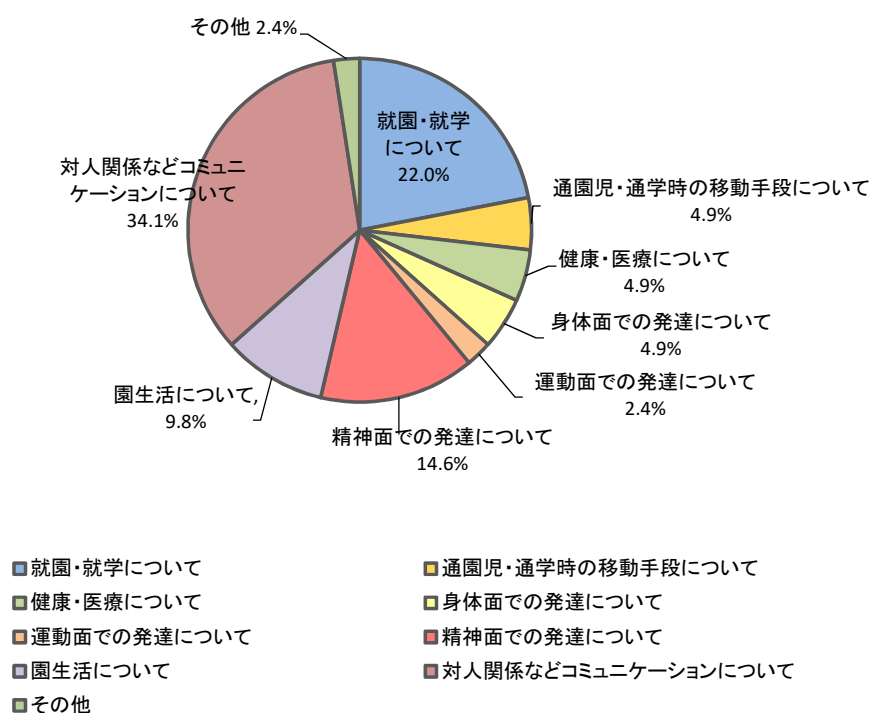
- 同い年のお友達との成長の差を感じて
- 未就園児クラスで

問10 お子さんのことで悩んでいること、心配に思うことはありますか

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
就園・就学について	9	22.0%
通園児・通学時の移動手段について	2	4.9%
健康・医療について	2	4.9%
身体面での発達について	2	4.9%
運動面での発達について	1	2.4%
精神面での発達について	6	14.6%
園生活について	4	9.8%
対人関係などコミュニケーションについて	14	34.1%
その他	1	2.4%
無回答	0	0.0%
計	41	100.0%

対人関係などのコミュニケーション、就園・就学について、精神面での発達についてなどの回答が多くみられました。

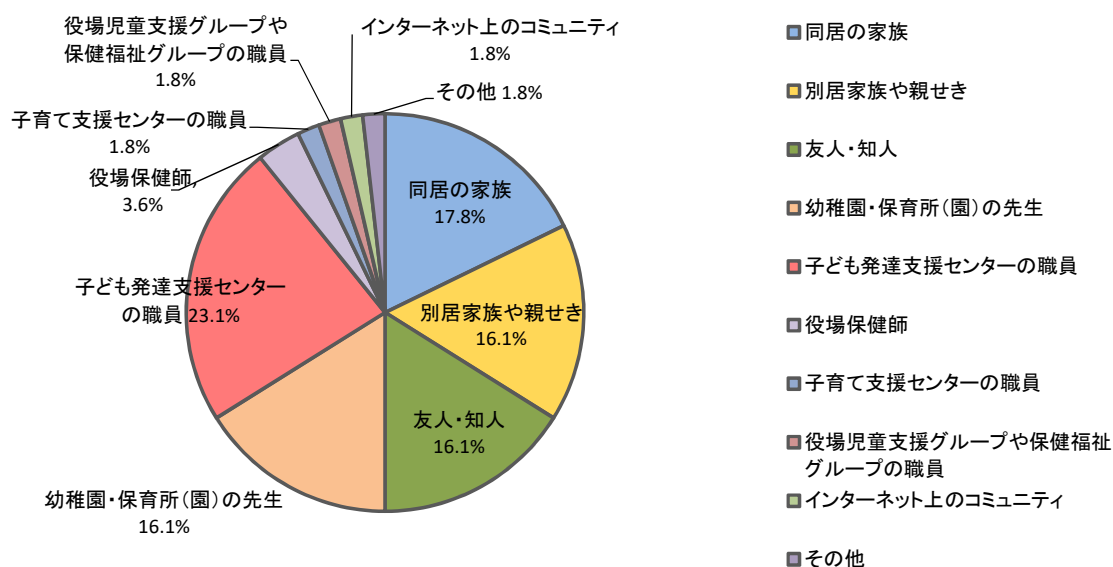


問11 あなたは、普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談していますか

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
同居の家族	10	17.8%
別居家族や親せき	9	16.1%
友人・知人	9	16.1%
近所の人	0	0.0%
幼稚園・保育所(園)の先生	9	16.1%
子ども発達支援センターの職員	13	23.1%
役場保健師	2	3.6%
子育て支援センターの職員	1	1.8%
民生委員・児童委員	0	0.0%
相談支援事業所などの相談窓口	0	0.0%
役場児童支援グループや保健福祉グループの職員	1	1.8%
インターネット上のコミュニティ	1	1.8%
その他	1	1.8%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%

回答が多かったのは、子ども発達支援センターの職員、幼稚園、保育所の先生、家族などで、普段身近に接している人に相談していることが多いことがうかがえます。



問11 その他の記載内容

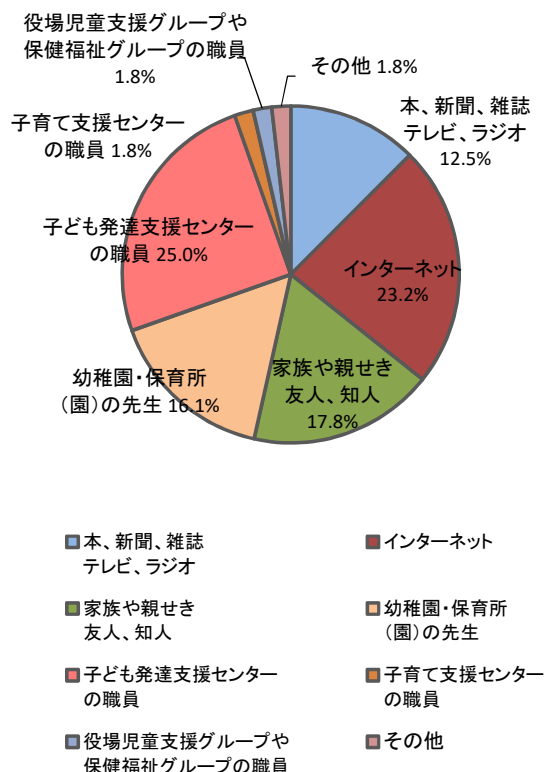
○ 同僚

問 1 2 あなたは、お子さんのことで悩んでいる事、心配に思うことを解決するための情報をどこから知ることが多いですか

インターネット、子ども発達支援センターの職員、幼稚園・保育所の先生などが多く、また、療育病院の先生やスタッフの方から情報を知ることがあることもわかりました。

(複数回答)

区 分	回答数	構成比
本、新聞、雑誌テレビ、ラジオ	7	12.5%
広報誌や町ホームページ	0	0.0%
インターネット	13	23.2%
家族や親せき友人、知人	10	17.8%
幼稚園・保育所(園)の先生	9	16.1%
子ども発達支援センターの職員	14	25.0%
役場保健師	0	0.0%
子育て支援センターの職員	1	1.8%
民生委員・児童委員	0	0.0%
相談支援事業所などの相談窓口	0	0.0%
役場児童支援グループや保健福祉グループの職員	1	1.8%
その他	1	1.8%
無回答	0	0.0%
計	56	100.0%



問12 その他の記載内容

- 療育病院の先生

問13 ご意見・ご要望

- 発達支援センターの職員の方々には大変良くして頂きありがたく思っております。
- 発達支援センターでの講座、検査等でお世話になった療育病院の先生方と、今後(就学後)、関わる事がなくなるのが残念です。もう少し気軽に発達や育児の専門的なお話を聞ける機会があるといいです。又、就学後、急に支援センターの先生の手を離れることも不安です。
- いつも親子共にケアしてもらっています。ありがとうございます。
- 東陽小学校や旭小学校で通級を利用する場合、美幌小学校まで送迎しなければならない、仕事をしていると利用が難しいので、美幌小学校以外にも通級指導教室を作ってほしいです。もしくは学校で送迎していただけると助かります。
- 楽しく通室させていただきありがとうございます。家族への対応も丁寧にしていただき感謝しかありません。

2 美幌町障害者自立支援協議会名簿

区 分	団 体 名	氏 名
保健・医療・福祉	北海道北見保健所	北 山 明 子
	美幌地域訪問看護ステーション	宮 内 美 幸
	美幌療育病院	加 藤 秀 行
学 校 教 育	美幌町小中学校校長会	中 村 厚 志
商 工 ・ 労 働	北見公共職業安定所美幌分室	西 村 英 啓
	美幌商工会議所	伊 藤 健 一
障害福祉施設等	ワークセンターぴぼろ	浦 野 紘 史
	NPO法人マイスペース美幌	下 山 朋 久
	NPO法人美幌えくぼ福祉会	楠 本 孝 子
	しあわせ介護センター	鎌 田 美 智 江
	いなみ介護支援センター	成 田 早 苗
	ヘルパーステーションアメニティ美幌	田 屋 秀 美
	みんと美幌ケアセンター	尾 本 ひ ろ み
	美幌療育病院	中 山 雄 介
障害福祉関係団体	美幌町身体障害者福祉協会	影 山 順 一
	美幌町手をつなぐ連絡協議会	江 本 恵
	美幌町社会福祉協議会	黒 澤 顕
	美幌町民生委員児童委員協議会	矢 葺 恵 子
	美幌手話の会 ピポロ	野 田 茂

事 務 局	美幌町福祉部社会福祉課
	美幌町地域包括支援センター
オ ブ ザ ー バ ー	北見地域基幹相談支援センター ささえーる

※美幌町障害者自立支援協議会は、「美幌町附属機関に関する条例」に基づき設置されている委員会です。

「持続可能な開発目標（SDGs）」について

〔持続可能な開発目標（SDGs）とは〕

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられている17のゴールと169のターゲットのことをいいます。SDGs採択前に取り組まれていたMDGs

（Millennium Development Goals: ミレニアム開発目標）が主に開発途上国における取組であったことに対し、SDGsは先進国を含む全ての国々の取組目標を定めており、全世界共通の目標として、貧困の撲滅など、誰一人取り残さない、包摂的な世界の実現を目指すことを理念に掲げています。



【表 SDGsに係る障害福祉計画の目標】

目標(Goal)		目標意識文（原文）
	3. すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
	4. 質の高い教育をみんなに	すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
	8. 働きがいも経済成長も	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
	10. 人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の格差を是正する
	11. 住み続けられるまちづくりを	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
	16. 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

第 7 期美幌町障がい福祉計画及び
第 3 期美幌町障がい児福祉計画

令和 6 年 3 月

美 幌 町 福 祉 部